

第2部 実行プラン

1 基本的な考え方

第1部将来構想では、2040年頃に福井県として目指す将来像を描きました。

第2部実行プランでは、この将来像を実現するため、最初の5年間（2020～2024年度）で実行する主な政策・施策を示します。

これらの政策・施策を進めるにあたっては、福井の「文化」と「デザイン」の力を活かし、政策の質を向上させます。

〔「文化」と「デザイン」の力〕

福井県では、置県100年（昭和56年（1981年））を機に、「文化のふるさとづくり」を提唱しました。成熟化社会に向かう中、先人によって築き上げられた福井の伝統と文化を活かした、さらにより人間らしい生活のできるふるさとづくりを志向してきました。

ここで言う「文化」は、『学術、芸術等の分野のみではなく、衣食住など身のまわりの文化、生活空間、産業等、県民生活全般』（第4次福井県長期構想（昭和58年）より）に関わる、県民のくらしに深く根差したもの（生活文化）です。

福井には、地理的、歴史的、産業的、あるいは宗教的な背景等により、他県にない、さらには他県に勝る文化力（福井らしさ）が培われており、それらが現在の幸福度の土台でもあると考えられます。

地域間競争が一層厳しさを増し、個性が問われる時代、また、SDGsに象徴されるように経済成長のみを追い求める価値観からの転換が求められる時代に、福井の文化力を再評価し、行政が様々な事業・プロジェクトに文化性を加味することはもとより、県民自らも、その活動に、地域に、「文化力を活かす県づくり」を進めていくことが重要です。

その際、もう一つ重要なことが、「デザイン思考」です。デザイン思考とは、色や形など表面的なデザインのことではなく、問題の本質がどこにあるのかを考え、自由な発想で解決のアイデアを示して、その解決策を分かりやすく設計し表現する手法です。福井県では、かつて「デザイン立県」を掲げ、『デザインがかけはしとなり、生活と産業が一体化して発展するふくい創造』（ふくい21世紀ビジョン、平成9年（1997年））を目指してきました。この考え方を改めて見直し、再び前に進めていくことが必要です。

デザイン思考は、課題の本質を見極め、新たな価値を創造していくために不可欠です。とりわけ、有形・無形の福井の「文化」をくらしや産業等に活かすには、デザインの力が重要です。

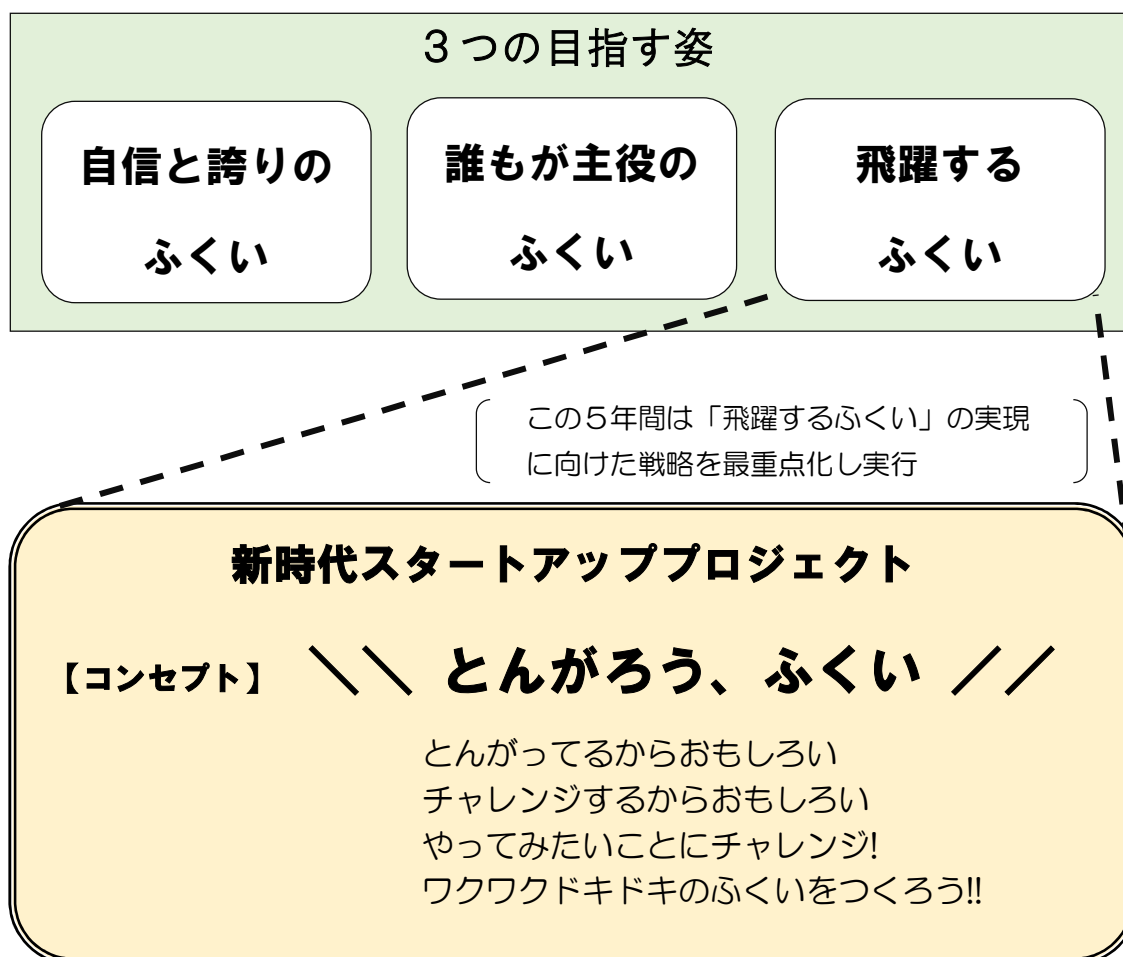
行政においても、デザインの活用領域を様々な政策分野に広げ、政策目的を課題解決型から価値創造型へと転換（政策のデザイン化）していくことはもとより、県内全体でこの考え方を活かす「デザイン思考の地域づくり」を進めていきます。

2 新時代スタートアッププロジェクト

新幹線県内開業等を迎えるこの5年間は、3つの目指す姿のうち、特に『飛躍するふくい』の実現に向けた戦略を「新時代スタートアッププロジェクト」として位置付け、「ふくいエンタメ計画」、「次世代チャレンジ宣言」、「しあわせアクション運動」の3つのプロジェクトを最重点化し実行します。

このプロジェクトは、新幹線開業等を機に外に開いて人を呼び込み、「県民参加」と「市町協働」によって実行する、“行政だけが担うプロジェクト”ではなく、“一人ひとりが参加し育てるプロジェクト”として推進します。

プロジェクトのコンセプトは「とんがろう、ふくい」です。従来の枠にとらわれない発想やチャレンジを応援し、ワクワクドキドキの「もっとおもしろい福井」を創造します。



※「とんがろう、ふくい」には、一人ひとりが個性を発揮し、変化や失敗を恐れず、お互いのチャレンジを応援し合う福井を目指そうという想いを込めました。

新時代スタートアッププロジェクト

「飛躍するふくい」の実現に向けた2020～2024年度の最重点化プロジェクト

【コンセプト】 \ \ とんがろう、ふくい / /

とんがってるからおもしろい
 チャレンジするからおもしろい
 やってみたいことにチャレンジ!
 ワクワドキドキのふくいをつくろう!!

ふくいエンタメ計画

～ふくいの魅力を
とがらせよう～

「ふくいをもっとおもしろく」を
合言葉に。

観光、文化、スポーツ等の
 尖った魅力で多くの人を
 呼び込み、県民も来訪者も、
 誰もが楽しめる場所・機会
 を創出



〔目標〕

ビジット2000

※観光客入込数2,000万人（2024年）

次世代チャレンジ宣言

～チャレンジで
未来をつくろう～

「果敢なチャレンジ」で
ふくいの未来を創造。

「次世代ファースト」
 の観点から、創業支援、
 働き方改革等により若者
 に魅力ある仕事を創り、
 尖った企業・人材を輩出



〔目標〕

スタート3000

※創業・事業承継等の件数3,000件
（2020～2024年度計）

しあわせアクション運動

～一人ひとりが
プレイヤーになろう～

「一人ひとりの小さなアク
ション」がふくいを変える。

それぞれが自分の立場で
 できることを考え、持ち寄
 る「県民総参加」の社会を
 形成



〔目標〕

アクション1000

※県民の主体的な活動応援1,000件
（2020～2024年度計）

新幹線開業等を機に、外に開いて人を呼び込み、「県民参加」と「市町協働」によって、
 “行政だけが担うプロジェクト”ではなく “一人ひとりが参加し育てるプロジェクト” に

新時代スタートアッププロジェクト

（1）ふくいエンタメ計画

～ふくいの魅力をとがらせよう～

「ふくいをもっとおもしろく」を合言葉に。**観光、文化、スポーツ等の尖った魅力で多くの人を呼び込み、
県民も来訪者も、誰もが楽しめる場所・機会をみんなでつくります。****目標 ビジット2000**

※観光客入込数 2,000 万人（2024 年）

○観光・まちづくりに重点投資

ハード・ソフト両面から観光地やまちの魅力を磨き上げ、国内外から多くの人を呼び込みます。

- ・ 4つの新幹線駅を中心とした魅力あるまちづくりとMaaSなど交通ネットワークの充実
- ・ 恐竜博物館のフルモデルチェンジをはじめ、東尋坊、丹南伝統工芸産地、三方五湖、若狭湾など、観光地や宿泊を磨き上げてリゾートエリアを形成
- ・ 越前がに、いちほまれに続く「食のプレミアムブランド」確立と日本一のそばどころふくいの発信
- ・ 恐竜や戦国、食等を活用した観光列車の運行
- ・ 地域に短期滞在し、生活するように福井を楽しむ「微住」の促進
- ・ 福井を舞台とした大河ドラマや朝ドラ、映画等の誘致の促進
- ・ 観光客の宿泊につなげる「イルミネーションエリア」の創出

観光地の磨き上げ
(三方五湖)**○国体レガシーを活かし「アスリートの聖地」へ**

平成30年福井国体・障スポの成果・レガシーを活かし、スポーツが持つ力でたくさんの人を惹きつけます。

- ・ 地域スポーツコミッションによる大規模スポーツ大会の誘致
- ・ 北陸新幹線福井・敦賀開業に向けたフルマラソンの開催検討
- ・ 地元の機運盛り上げによるトップスポーツチームの育成
- ・ サイクルツーリズムなど自然を活かしたイベント、体験プログラムの開発

大規模スポーツ大会誘致
(アスリートナイトゲームズ)**○まちとくらしに音楽・アート**

1500年の歴史を持つ越前和紙や漆器など伝統文化から、音楽やアートなど現代文化まで、福井に根差す「文化」を活かし、まちなかや集落ににぎわいを創出します。

- ・ 音楽・芸術など多彩な「フェス」の通年、県内各地での開催
- ・ 出張美術館など県民がいつでも文化芸術を楽しめる場づくり
- ・ 伝統工芸・クラフト体験に触れながら産地に滞在するクラフトツーリズムの拡大

まちなかでの「フェス」開催
(ONE PARK FESTIVAL2019)

新時代スタートアッププロジェクト

（2）次世代チャレンジ宣言

～チャレンジで未来をつくろう～

「果敢なチャレンジ」でふくいの未来を創造。**「次世代ファースト」の観点から、創業支援、働き方改革等により若者に魅力ある仕事を創り、尖った企業・人材を増やします。****目標 スタート3000**

※創業・事業承継等の件数 3,000 件（2020～2024 年度計）

○新分野チャレンジ「創業するならふくい」

先端技術や新分野への挑戦、国内外でのシェアトップ、新しい働き方など、若者に魅力ある“尖った”企業・産業を育成・応援します。

- ・先輩経営者による助言や投資などによるベンチャー企業の応援強化、将来的な株式上場などモデルとなる福井を代表する企業の創出
- ・後継人材の全国公募や後継者の新分野展開（後継ぎベンチャー）応援等による「事業創継」促進
- ・お金・人・技術等の経営資源が県内で循環する「福井型エコシステム」の構築
- ・スマート農林水産業や食のプレミアムブランド化などによる稼げる農林水産業への進化
- ・社員ファースト企業の拡大、テレワークの導入など、「しあわせ働き方改革」の実行



県内企業の上場例

○次世代を担う人材の輩出

起業家、AI・IT技術者、デザイナー、一次産業経営者、様々な分野の研究者など、次代を担う“尖った”人材を育成・応援します。

- ・農や水産増養殖を学ぶ学科、古生物関係学部など、県内大学における学部・学科の新設・拡充
- ・F A A ふくいアカデミックアライアンスによる大学連携強化、都市圏大学と連携した国内留学や企業・地域と協働したPBLの導入等による「ふくい創生人材」の育成



F A A の設立

○日本一の出会い・子育て応援

将来を担う子どもたちが生まれ、育ちやすい「日本一の出会い・子育て応援社会」をつくります。

- ・新たな婚活サポート拠点開設やマッチングシステム導入等による若者の出会い応援
- ・男性の育休や不妊治療休暇の取得促進など、仕事と妊娠・出産・子育ての両立応援
- ・保育料無償化の第2子以降への拡充や、3人目以降への新たな支援など、子育て応援をさらに強化

（3）しあわせアクション運動

～一人ひとりがプレイヤーになろう～

「一人ひとりの小さなアクション」がふくいを変える。
それぞれが自分の立場でできることを考え、持ち寄る「県民総参加」の社会をつくります。

目標 アクション1000

※県民の主体的な活動応援 1,000件（2020～2024年度計）

○県民の“夢実現”を徹底応援

自らの夢実現や生きがい充実に努力する県民の“アクション”を応援します。

- ・若者ミライ会議や若者ステーション開設等による**若者のチャレンジ応援**
- ・自らの夢を発信し、共感を得て実現を目指す「**夢実現クラウドファンディング**」の推進
- ・健康長寿なシニアによるボランティア活動、短時間就労、創業、文化・スポーツ活動など、それぞれの100年人生充実を応援
- ・「**有償ボランティア**」による県民の地域・社会貢献促進



若者のチャレンジ応援
（プランコンテスト）

○課題解決へ県民アクション

まちづくりや地域課題解決に向けた県民の主体的な活動を広げます。

- ・新幹線開業効果を高める県民主体のプロジェクトの実現応援
- ・住民発の地域課題をITで解決する「**シビックテック**」推進
- ・市民自らまちの将来を考え、行動につなげる「**将来構想ワークショップ**」の開催
- ・「**ソーシャルベンチャー**」（社会起業家）育成による自走可能なまちづくり活動の拡大



市民発のまちづくり活動
（「できるフェス」）

○ローカルチャレンジ「移住するならふくい」

国内外との交流を拡大し、外部の人材による福井応援を促進します。

- ・「河和田アートキャンプ」のような**学生の長期滞在**による地域課題解決・活性化事例の他地域展開
- ・大都市圏からの「**ふるさと兼業**」人材の誘致
- ・子育て世帯を呼び込む**移住支援**を強化
- ・県内サテライトオフィス等での「**テレワーク**」や「**ワーケーション**」※等の推進

※ワーケーション：仕事（work）と休暇（vacation）を組み合わせた造語で、休暇中に旅先で仕事をする新しい働き方



学生の長期滞在
（河和田アートキャンプ）

3 分野別政策

2040年頃の将来像を実現するため「学びを伸ばす（人材力）」、「成長を創る（産業力）」、「楽しみを広げる（創造力）」、「安心を高める（地域力）」、「ともに進める（総合力）」の5分野に分け、5年間（2020～2024年度）に実行する主な政策・施策を示します。

〔目指す姿と5つの分野〕

＜目指す姿＞



SDGs（誰一人取り残さない。持続可能で多様性と包摂性のある社会）の理念に沿いながら、3つの姿を目指す。

<h3>自信と誇りの ふくい</h3> <p>「ふくいらしさ」を大切に。県民が誇りをもって暮らすことにより、さらに多くの人を呼び込む“ふくい”</p> <p>「ふくいらしさ」を伸ばし、外に開いて人を呼び込む。</p>	<h3>誰もが主役の ふくい</h3> <p>すべての人が輝き、互いに支え合い、幸せを実感しながら、将来にわたり安心して暮らせる“ふくい”</p> <p>多様な個性を大事にし、みんなが自分らしく輝く。</p>	<h3>飛躍する ふくい</h3> <p>交通体系の進展や技術革新を活かして、産業の新たな可能性を拓く。創造的で活力ある“ふくい”</p> <p>変化をチャンスに、しごととくらしを創造。</p>
--	--	---

＜5つの分野＞

- 将来像の実現を目指して、次の5分野に分けて具体的な政策を企画・実行
- 福井の「文化」と「デザイン」の力を活かし、政策の質を向上

学びを伸ばす （人材力）	成長を創る （産業力）	楽しみを広げる （創造力）	安心を高める （地域力）	ともに進める （総合力）
ふくいは人が宝。地域を支え、未来を創造する人材の育成	力強い産業基盤の確立。チャレンジできる地域経済の構築	多彩な魅力で交流拡大。交通新時代の活力の創出	人生100年時代の「健康文化」創造。くらしを守る安全・安心	協働による県民主役の県政。外に開き連携強化

5分野の方向性は次のとおりです。この5分野に18の政策の柱を立て、それぞれの政策を構成する施策・取組みを示すとともに、政策ごとにこの5年間で特に重視し実行する「重点施策」を掲げます。

〔5分野の方向性〕

分野	方向性
<p>学びを伸ばす （人材力）</p> <p>ふくい人が宝。 地域を支え、未来を創造する 人材の育成</p>	<p>福井の人材力を最大の武器に。心豊かで個性にあふれ、ふるさとを愛する、福井の次代を担う人材を育成します。また、誰もが様々なことにチャレンジでき、自分らしさを発揮できる、多様性が魅力の社会を目指します。</p>
<p>成長を創る （産業力）</p> <p>力強い産業基盤の確立。 チャレンジできる 地域経済の構築</p>	<p>新たなことに挑戦し、可能性が広がる地域経済に。新産業育成や新事業創出などに積極的に挑戦し、若者が魅力を感じる、活気と好循環の地域経済を目指します。</p>
<p>楽しみを広げる （創造力）</p> <p>多彩な魅力で交流拡大。 交通新時代の 活力の創出</p>	<p>人が人を呼び込み、交流拡大を地域の力に。深みのある歴史・文化や自然を活かし、多様な魅力・楽しみを創り出し、すべての世代が誇りを持ち、ワクワク・ドキドキする、個性と活力にあふれるまちを目指します。</p>
<p>安心を高める （地域力）</p> <p>人生100年時代をリードする 「健康文化」の創造。 くらしを守る安全・安心</p>	<p>人生100年時代を健康・安心に。新たな高齢者観を構築し、子どもからシニアまで生涯健康であることを志向する「健康文化」を育みます。また、医療・福祉・防災等を充実させ、安心して暮らせる地域を目指します。</p>
<p>ともに進める （総合力）</p> <p>協働による県民主役の県政。 外に開き連携強化</p>	<p>徹底現場主義による県民主役の県政実現。県民・企業・団体・市町など「チームふくい」が一丸となり行動するとともに、県境を越える広域連携を強化し、将来像の実現を目指します。</p>

〔各分野の政策・重点施策〕

分野	政策	重点施策
学びを伸ばす （人材力）	1 夢と希望を持ち、 ふくいを愛する子どもの育成	個性を引き出し、学びを楽しむ教育 プロジェクト
	2 ふくいの産業・社会を支える 人づくり	「ふくい創生人材」育成プロジェクト
	3 多様な価値観を認め合う 「共生社会」の実現	みんなが主役「ワンチームふくい」 プロジェクト
	4 希望が叶う 「結婚・出産・子育て」応援	子たくさんふくいプロジェクト
成長を創る （産業力）	5 農林水産業の力で ふくいをブランドアップ	稼げる農林水産業創出プロジェクト
	6 地域経済のイノベーション	お金・人・技術の地域内循環・拡大 プロジェクト
	7 Society5.0 時代の新産業創出	ものづくり産業の新市場挑戦 プロジェクト
	8 拡大する世界市場を ふくいの成長へ	世界市場チャレンジプロジェクト
楽しみを 広げる （創造力）	9 100年に一度のまちづくり	新幹線ゲートウェイ開発プロジェクト
	10 北陸新幹線開業効果を最大化	観光リゾートエリア形成プロジェクト
	11 人が人を呼ぶ、移住・定住新戦略	関係人口拡大プロジェクト
	12 文化・スポーツがふくいの活力	文化・スポーツによる「エンタメ福井」実現 プロジェクト
安心を高める （地域力）	13 人生100年時代の 健康ライフスタイル	ふくい発「健康文化」創造プロジェクト
	14 いつでもどこでも 安心の医療・介護・福祉	次世代包括ケアシステム推進 プロジェクト
	15 ふるさとの暮らしと風景の維持	持続可能な次世代コミュニティ創出 プロジェクト
	16 防災・治安先進県ふくいの実現	安心の防災基盤強化プロジェクト
ともに進める （総合力）	17 「チームふくい」の行政運営	市町協働による行政サービス向上 プロジェクト
	18 広域パートナーシップの強化	地方連携による基盤整備・交流拡大 プロジェクト

I 学びを伸ばす（人材力）

～ふくい人が宝。地域を支え、未来を創造する人材の育成～

人口減少・高齢化や長寿命化、AI等の技術革新など、社会情勢が大きく変化する中、福井の未来を拓くには、地域を支え変化に挑戦する人づくりが最も重要です。

そのため、福井の高い教育力を土台に、一人ひとりが生涯にわたって、自ら学び、新たな可能性に挑戦する、創造性豊かな人材を育成します。

また、多様な個性や価値観を認め合い、女性や若者、高齢者、障がい者、外国人など、一人ひとりが自分らしさを発揮できる「全員参加型」の共生社会の実現を目指します。

〔実行する政策〕

政策1 夢と希望を持ち、ふくいを愛する子どもの育成

- 【施策1-1】個性や主体性を育む探究的な学びの推進
- 【施策1-2】一人ひとりの多様性を認め合う教育の充実
- 【施策1-3】ふるさとへの誇りと愛着を育む教育の推進
- 【施策1-4】新たな時代を見据えた教育環境の整備
- 【施策1-5】私立学校の振興

政策2 ふくいの産業・社会を支える人づくり

- 【施策2-1】若者に魅力的な大学づくり
- 【施策2-2】産学官連携による地域人材の輩出
- 【施策2-3】多様な人生設計を支える学びの充実

政策3 多様な価値観を認め合う「共生社会」の実現

- 【施策3-1】男女が互いに尊重しあう「男女共生社会」の実現
- 【施策3-2】若者・シニアのチャレンジ応援
- 【施策3-3】社会貢献活動の参加拡大
- 【施策3-4】多様な人材が活躍する「ダイバーシティ地域経営」の推進
- 【施策3-5】認知症の人やがん患者が自分らしい生活を送れる社会の実現

政策4 希望が叶う「結婚・出産・子育て」応援

- 【施策4-1】若者の出会いと結婚応援
- 【施策4-2】安心して出産・子育てできる環境の整備
- 【施策4-3】待機児童ゼロの実現
- 【施策4-4】社会全体で子育てを応援する仕組みづくり

政策1 夢と希望を持ち、ふくいを愛する子どもの育成

学力・体力全国トップクラスの高い基礎力をもとに、子ども自身の個性を「引き出す教育」、好奇心や探究心を持って学びを「楽しむ教育」を推進し、自らの可能性に挑戦し、一人ひとりの個性が輝く福井の子どもを育成します。



【重点施策】

個性を引き出し、学びを楽しむ教育プロジェクト

ICT等の技術革新の急速な進展や、児童生徒数の減少による小規模校の増加に伴い、一人ひとりの能力や特性に応じた学習に移行していくことを見据えて、主体的・協働的な学びや、適性や興味関心に応じたスポーツ・文化芸術活動を通じ、個性を發揮し、福井の未来を担う子どもを育成します。

○子どもの個性を引き出すきめ細かな教育の推進

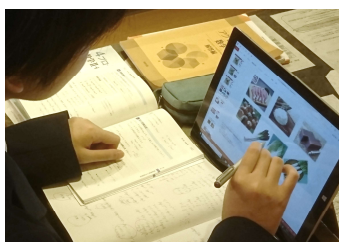
- ・学級編制基準の見直しによる少人数学級や習熟度別指導の充実、小学校への英語教科担任制の導入、タブレット等のICT機器を活用した授業改善や学習支援を推進
- ・普通科系高校における国内外の高校生とともに探究する授業など魅力ある学校づくりの推進、職業系高校における最先端技術（AI・IoT等）を学ぶカリキュラムの充実や地域企業等との連携強化
- ・特別支援学校における農業体験実習の拡大および新たな就職先の開拓
- ・子どもと向き合う時間を確保するため、学校における働き方改革を推進 など

○ふるさとを愛する心と社会に貢献する志の育成

- ・ふるさと学習の成果や地域の伝統文化を発表し、交流する「福井ふるさと教育フェスタ」の開催、小・中学校の校外学習や放課後子どもクラブにおけるエネルギー環境教育・座禅など嶺南・嶺北を交流する体験活動の充実
- ・様々な企業等から講師を招いたキャリア講座を開催し、全校に配信 など

○適性や興味関心に応じたスポーツ・文化芸術活動の充実

- ・国体での継続的な上位入賞に向けた「スポジョブふくい」による有望選手の確保やお家芸競技の育成を推進するとともに、市町教育委員会等と運動部活動のあり方を検討
- ・吹奏楽推進校の拡大など文化部活動の充実、授業や部活動への演奏家・芸術家等の派遣 など



タブレットを使用した学習








吹奏楽推進校での講習会

政策1 夢と希望を持ち、ふくいを愛する子どもの育成

【施策1-1】個性や主体性を育む探究的な学びの推進

子どもの意欲や能力を最大限に引き出す教育や、幼児教育と小学校教育とのスムーズな接続、豊かな感性やチャレンジする力を育む文化芸術・スポーツ活動などを充実し、一人ひとりが個性を発揮し挑戦する人材を育成します。

No.	主な取組み	SDGs
①	<p>確かな学力の育成</p> <p>タブレット等を活用した一人ひとりの能力・特性に応じた学習の推進や、学級編制基準の見直しによる少人数学級（小学校）や習熟度別指導など（中学校）を充実します。</p> <p>また、探究的な学習を通じ、学んだ知識・技能を活用する力を育成します。</p>	<p>(4教育)</p> 
②	<p>魅力ある県立学校づくりの推進</p> <p>授業時数の見直しによる補習や地域連携活動など学校独自の取組みの推進、普通科系高校における国内外の高校生とともに探究する授業や教科横断型授業の導入など、県立高校の活性化・特色化を図ります。</p>	<p>(4教育)</p> 
③	<p>幼児教育の推進</p> <p>幼児教育支援センターによる幼児教育の質の向上や、幼児教育と小学校教育との接続の推進、新たな家庭教育支援講座の開催等による子育て支援の充実など、幼児教育を推進します。</p>	<p>(4教育)</p> 
④	<p>文化芸術活動の充実</p> <p>大型楽器の購入や合同練習会への講師派遣など吹奏楽推進校の取組みの拡大や、授業や部活動への演奏家・芸術家等の派遣による鑑賞や実技指導の機会提供などを行います。</p> <p>また、文化施設を活用して文化芸術に触れる機会を充実します。</p>	<p>(4教育)</p> 
⑤	<p>トップアスリートの養成</p> <p>小・中学生の競技特性に沿った体験会による有望選手発掘や、「スポジョブふくい」やオリンピックに挑戦する選手の雇用支援によるUターン促進、地域に根差したお家芸競技の育成など、国体や全国大会などに向けた選手や指導者を育成します。</p>	<p>(4教育)</p> 

政策1 夢と希望を持ち、ふくいを愛する子どもの育成

【施策1-2】一人ひとりの多様性を認め合う教育の充実





誰もが主役の共生社会を目指し、子どもたちから一人ひとりの多様な存在や価値観を認め合い、協働して課題を解決する人材を育成します。

No.	主な取組み	SDGs
①	<p>お互いを尊重し豊かな心を育む教育の推進 親子で学ぶ道徳講座など道徳の授業を充実するとともに、性的マイノリティ（LGBT）や外国人など様々な課題に対応した人権教育を推進します。 また、図書館司書等による推奨図書を選定など学校や県立図書館などにおける読書活動を推進します。</p>	(4教育) 
②	<p>たくましく健やかな体を育む教育の推進 ICT機器を活用した授業改善など学校体育の充実や健康教育・食育を推進します。 また、市町教育委員会や中・高体連と連携して運動部活動のあり方を検討するなど、持続可能な運動部活動の運営体制を整備します。</p>	(4教育) 
③	<p>グローバル化に対応した教育の推進 給付型奨学金の充実等による海外留学の促進やグローバルキャンプの実施など海外の生徒等との交流を充実します。 また、小学校における英語教科担任制の導入や中学・高校を通じた外部検定試験の活用等により、4技能（聞く・読む・話す・書く）を育成します。</p>	(4教育) 
④	<p>特別支援教育の推進 特別支援教育センターによる巡回相談など障がいのある幼児児童生徒への指導・支援を充実するとともに、特別支援学校におけるタブレット等を活用した学習支援やキャリア形成支援を行います。 また、看護職員の配置など医療的ケアの実施体制を強化します。</p>	(4教育) 
⑤	<p>いじめ・不登校対策の充実 SNS等を活用した相談窓口の開設やスクールロイヤーによる法律相談体制の構築など、いじめの未然防止・早期発見に向けた取組みや、不登校対策、高校中途退学防止対策、教育相談体制を充実します。</p>	(4教育) 
⑥	<p>外国人児童生徒等に対する教育環境の整備 外国人児童生徒等の学校生活への円滑な適応を図るため、支援員の配置や多言語翻訳機導入への支援等を行うほか、全日制県立高校において特別入試枠を設置するなど、外国人生徒等の高校進学を促進します。</p>	(4教育) 
⑦	<p>家庭環境や地域に左右されない教育環境の確保 AI教材やオンラインによる遠隔授業・研修システムなどを活用した教育を充実するほか、「福井県きぼう応援奨学金」制度の実施など経済的に困難な子どもの修学支援を充実します。</p>	(4教育) 

政策1 夢と希望を持ち、ふくいを愛する子どもの育成

【施策1-3】ふるさとへの誇りと愛着を育む教育の推進

地域の人々とふれあいながら、郷土について学び発信する教育や地域課題を発見・解決する教育等を推進し、ふるさとや自然を愛し、社会や地域に貢献する人材を育成します。

No.	主な取組み	SDGs
①	<p>ふるさと教育の推進</p> <p>小・中学校の校外学習や放課後子どもクラブにおいて嶺南・嶺北を交流する体験活動を充実するほか、小・中学生がふるさと学習の成果や地域の伝統文化を発表し、交流する教育フェスタの開催など、地域への理解を深め、社会に貢献する志を育むふるさと教育を充実します。</p>	<p>(④教育)</p> 
②	<p>社会や地域を担う人材の育成</p> <p>県立高校において、様々な企業等から講師を招いたキャリア講座を開催するなどキャリア教育を推進します。</p> <p>また、企業の技術者を招きAI・IoT等の最先端技術を学ぶなど職業系高校における産業教育のほか、主権者教育等を推進します。</p>	<p>(④教育)</p> 
③	<p>文化財の保存・継承</p> <p>文化財パトロール制度の拡充など適正な維持管理を推進するとともに、小・中学校における出前授業や公民館等における講座開催などにより、ふるさとへの愛着や文化財保護意識の醸成、維持管理の担い手育成を推進します。</p>	<p>(④教育)</p> 
④	<p>生涯学習の推進</p> <p>子どもたちが大人になっても引き続き郷土について愛着を持ち続けていけるよう、生涯学習センターにおいて多様な学習機会を提供するとともに、社会教育の振興や、県立図書館等の機能を充実します。</p>	<p>(④教育)</p> 

政策1 夢と希望を持ち、ふくいを愛する子どもの育成



【施策1-4】新たな時代を見据えた教育環境の整備

学校における働き方改革や教職員の資質・能力の向上、地域・家庭・学校の連携・協働を進めるとともに、学校の安全・安心対策を充実します。

No.	主な取組み	SDGs
①	<p>学校における働き方改革の推進</p> <p>「福井県学校業務改善方針」に基づき、市町教育委員会等と連携し学校運営体制の整備や教員の意識改革を進めるとともに、中学校の部活動を教員数のおおむね2分の1として指導の負担を軽減するなど働き方改革を推進し、教員が子どもと向き合う時間を確保します。</p>	<p>(8) 成長・雇用</p> 
②	<p>教職員の資質・能力の向上</p> <p>教職の魅力発信や教員採用試験の見直しなどにより優れた教職員を確保するとともに、教員研修を充実します。</p> <p>また、学びを楽しむ授業や、子どもの好奇心を刺激するクラブ活動を実践する教員の活動を支援します。</p>	<p>(4) 教育</p> 
③	<p>地域との連携・協働の推進</p> <p>放課後子ども教室や放課後児童クラブの設置および両事業の連携による放課後の安全・安心な居場所づくりを進めます。</p> <p>また、学習支援や登下校の安全確保など保護者や地域住民によるボランティア活動等を推進し、子どもの学びや育ちを支える取組みを充実します。</p>	<p>(4) 教育</p> 
④	<p>家庭教育支援の充実</p> <p>家庭教育アドバイザーによる出前講座など保護者に対する学習機会を提供するとともに、子育て経験者や教員OB等による訪問型の支援など家庭教育相談体制を充実します。</p>	<p>(4) 教育</p> 
⑤	<p>安全・安心な学校づくり</p> <p>「県立学校施設の長寿命化計画」を踏まえ、施設の安全確保や機能向上等を推進します。</p> <p>また、魅力を高め、選ばれる県立学校にするため新たな校舎のあり方を検討するとともに、防犯・交通安全教育や防災教育を推進します。</p>	<p>(4) 教育</p> 

【施策1-5】私立学校の振興

私立学校の特色ある教育を支援し、福井の将来を担う人材を育成します。






No.	主な取組み	SDGs
①	<p>私立高校や専門学校などの特色ある教育の充実</p> <p>学力・スポーツ・文化など様々な分野の活動を支援するなど私立学校の魅力ある学校づくりを支援するほか、職業系学科・コースの充実や地元企業でのインターンシップなど地元定着を推進する取組みを支援します。</p>	<p>(4) 教育</p> 
②	<p>私立高校の授業料無償化</p> <p>私立高等学校の授業料について、国の就学支援金制度の拡充にあわせ、福井県独自に授業料無償化を拡充し、公私間の保護者負担の格差を解消します。</p>	<p>(4) 教育</p> 

政策1 夢と希望を持ち、ふくいを愛する子どもの育成

〔政策目標〕

- 一人ひとりが個性を発揮し、自らの可能性に挑戦する人材が育成されていること
- 多様な人々と協働し新たな価値を創出する人材が育成されていること
- ふるさとや自然を愛し、社会や地域に貢献する人材が育成されていること

〔KPI（重要業績評価指標）〕

指標	現状	目標	SDGs
将来の夢や目標を持っている児童生徒の割合 （全国学力・学習状況調査） （高校生学習状況調査）	小学校 88.4% 中学校 74.2% 高校 73.5% （2019）	小学校 90.0% 中学校 75.0% 高校 75.0% （2024）	④教育 4 質の高い教育をみんなに 
課題の解決に向け、自分で考え、自分から取り組む児童生徒の割合 （全国学力・学習状況調査）	小学校 80.5% 中学校 78.2% （2019）	小学校 85.0% 中学校 80.0% （2024）	④教育 4 質の高い教育をみんなに 
学校に行くのは楽しいと思う児童生徒の割合 （全国学力・学習状況調査）	小学校 88.4% 中学校 84.9% （2019）	小学校 90.0% 中学校 85.0% （2024）	④教育 4 質の高い教育をみんなに 
地域や社会をよくするために何をすべきかを考えることがある児童生徒の割合 （全国学力・学習状況調査）	小学校 58.7% 中学校 44.7% （2019）	小学校 60.0% 中学校 45.0% （2024）	④教育 4 質の高い教育をみんなに 
競技スポーツの全国大会での上位入賞数（1～3位） （福井県調べ）	290件 （2018）	100件/年を維持 （2020～2024）	④教育 4 質の高い教育をみんなに 3 働きがい、経済成長、社会の持続可能性 

〔関連する主な計画等〕

教育に関する大綱、福井県教育振興基本計画、福井県スポーツ推進計画
福井県文化財保存活用大綱、第3次福井県子どもの読書活動推進計画

しあわせアクション ～目標達成への小さな行動（例）～

- 地域の伝統行事やボランティア活動に積極的に参加
- スポーツや文化芸術など様々な活動を子どもと一緒に体験
- 子ども達を対象とした学習支援や登下校の安全確保に協力
- 子どもに読み聞かせを行うなど、家庭での読書に親しむ機会をつくる
- 家庭での食事を通し、子どもと一緒に食への関心を高める

政策2 ふくいの産業・社会を支える人づくり

産学官連携による福井の産業や自然を活かした教育・研究を推進し、若者に魅力的な学びの場を創出するとともに、人生100年時代のリカレント教育を充実し、生涯活躍・成長を続ける人材を育成します。



【重点施策】

「ふくい創生人材」育成プロジェクト

人口減少社会が到来する中、魅力的な大学づくりによる県内高校生の県内進学促進や、産業界・市町との協働による学生と県内企業・地域との結び付き強化を図り、福井の未来を創生する人材を育成・輩出します。

○魅力的な大学づくりによる県内進学促進

- ・ 高校生の県内大学進学割合を現在の3分の1から2分の1に高めるため、県内の大学と高校等との連携を強化
- ・ 県内大学に、農や水産増養殖を学ぶ学科や古生物関係の学部など福井の特色を活かした新学部・学科を創設し、各大学の強みを磨き上げ
- ・ 県立大学に、福井県の産業・歴史・健康等に関する基礎的研究や政策的課題等について、調査・研究・提言を行うシンクタンク機能を整備
- ・ 都市部の大学と協定を締結し、学生が相互に行き来する国内留学制度を導入 など

○県内企業や地域と協働したPBL（Project-Based Learning）※・共同研究の強化

- ・ コーディネーターを配置し、若者ならではの斬新な発想や行動力を活かした商品開発、店舗改装などを通じ、中小企業等と学生をマッチング
 - ・ 現場の社員と連携し、現実の企業課題を題材とするなど実践力を養う学習を促進 など
- ※ PBL（Project-Based Learning）：学生が地域や企業に関わる課題解決型学習

○「FAA ふくいアカデミックアライアンス」による県内大学の連携強化

- ・ 複数の大学教員が分担するオムニバス講義の開講など、大学連携センターの講義内容を見直し、発展的に継続
- ・ 地元定着につながるリカレントプログラムを実施し、Uターン希望の社会人と県内大学との橋渡しや、プロジェクト受講者に対する地元企業への就職仲介、移住支援 など



Fスクエア（実践恐竜学）の講義風景






学生によるPBLの成果発表

政策2 ふくいの産業・社会を支える人づくり

【施策2-1】若者に魅力的な大学づくり






F A A ふくいアカデミックアライアンスと連携し、福井の特色を活かした新学部・学科を創設するなど、県内外から学生を呼び込む学びの場を創出します。

No.	主な取組み	SDGs
①	<p>新学部・学科の創設</p> <p>地場産業の振興・地域の持続性を担える実力を備え、地域の課題解決に貢献できる人材を育成するため、広く農を学ぶ「創造農学科」、水産増養殖を中心に学ぶ学科等を新設します。</p>	<p>(④教育)</p> 
②	<p>世界的な学術研究拠点の創出</p> <p>恐竜学研究所の学術成果や大学院の教育研究実績を活かし、国内外の研究機関等との共同研究を推進するとともに、恐竜などの古生物を中心に、年縞に関する古気候学等も取り入れた古生物関係の学部の開設を検討します。</p>	<p>(④教育)</p> 
③	<p>県立大学にシンクタンク機能を整備</p> <p>県立大学に、福井県の産業・歴史・健康等に関する基礎的研究や政策的課題等について、調査・研究・提言を行うシンクタンク機能を整備します。</p>	<p>(④教育)</p> 
④	<p>若者に魅力ある学びの場の創出</p> <p>海外での長期インターンシップ制度創設や、大学連携センターにおける各大学の専攻分野を組み合わせた講義の開講、オンライン授業の充実、都市部の大学と学生が相互に行き来する制度の導入等により、若者のニーズや地域・社会の要請に応え、学びの質を向上します。</p>	<p>(④教育)</p> 
⑤	<p>留学生の受入れ・定着の促進</p> <p>授業料の減免や住環境の整備に対する支援を行うとともに、国内外において県内大学の魅力をPRするなど、留学生の受入れを拡大します。また、留学生と県内企業とのマッチングを強化し、卒業後の県内定着を促進します。</p>	<p>(④教育)</p> 

政策2 ふくいの産業・社会を支える人づくり

【施策2-2】産学官連携による地域人材の輩出




県内の大学や企業、自治体などとの連携により、地域に根差した教育・研究を推進し、福井を支える人材育成を強化します。

No.	主な取組み	SDGs
①	<p>県内大学等の連携強化</p> <p>F A A ふくいアカデミックアライアンスを中核に県内大学等が協働し、地域の大学としての魅力向上や機能強化を図るとともに、県内高校等との連携を強化し高校生の県内大学進学割合を現在の3分の1から2分の1に高めることを目指します。</p>	<p>(④教育)</p> 
②	<p>現場の学びを通じた実践力の強化</p> <p>産業界・市町と協働したPBL※・共同研究の実施により企業現場での学生の実習機会の拡大や地域の課題解決への参画を強化し、本県の次世代を担う人材を育成します。</p> <p>※PBL (Project-Based Learning)：学生が地域や企業に関わる課題解決型学習</p>	<p>(④教育)</p> 
③	<p>大学連携センター「Fスクエア」の充実</p> <p>福井の特色を学ぶ共通講義や「ふくい地域創生士」制度、キャリアナビセンターの就職相談機能など、Fスクエアを発展的に継続するとともに、教養教育の共同化に向けた検討を行います。</p>	<p>(④教育)</p> 
④	<p>地域産業を担う人材の育成</p> <p>「越前若狭 田んぼ道場」や「園芸・林業・水産カレッジ」、「伝統工芸職人塾」など、各産業分野における人材育成を充実し、未来の地域産業を支える人材を輩出します。</p>	<p>(④教育)</p> 
⑤	<p>共同研究の充実</p> <p>「ふくいオープンイノベーション推進機構 (FOIP)」が持つ大学、企業等とのネットワークを活かした共同研究の実施や新分野展開への支援により、技術革新へ対応する産業人材を育成します。</p>	<p>(④教育)</p> 

政策2 ふくいの産業・社会を支える人づくり

【施策2-3】多様な人生設計を支える学びの充実

長寿命化やAI・IoT等の技術革新などに対応する複線型・キャリア向上型の多様な生き方・働き方が可能となるよう、リカレント教育などを充実します。




No.	主な取組み	SDGs
①	<p>「リカレント教育総合支援センター」の設置</p> <p>中小企業産業大学校に「リカレント教育総合支援センター」を開設し、企業内のキャリア形成や長期的視点に立った人材育成を支援するコンサルタントを配置するなど、個人・企業の学び直しを総合的に支援します。</p>	<p>(④教育)</p> 
②	<p>リカレント教育の充実</p> <p>大学連携センターや県内大学において新たな講座を開設するなど、社会人を対象としたリカレント教育を充実します。</p> <p>また、地域企業の人材ニーズに応じたプログラムを設計するなど地元定着につながるリカレント教育を実施し、Uターン希望の社会人と県内大学との橋渡しや地元企業への就職支援を行います。</p>	<p>(④教育)</p> 
③	<p>生涯学習の推進</p> <p>県民が生涯を通じて活躍し、より豊かな人生を送るため、生涯学習センターや青少年教育施設等において、生きがいを見つけたり地域の魅力を発見するなど、ニーズにあわせた学びや交流の場を提供します。</p>	<p>(④教育)</p> 

政策2 ふくいの産業・社会を支える人づくり

〔政策目標〕

- 高校生の県内大学進学率が向上するとともに、大学生等の県内企業就職が増加していること
- 大学等における地域や社会のニーズに応える教育が充実し、福井の産業・社会を支える人材が輩出されていること

〔KPI（重要業績評価指標）〕

指標	現状	目標	SDGs
県内高校卒業生の 県内大学進学率 (福井県調べ)	35.8% (2018年度卒)	40% (2024年度卒)	(11)まちづくり 
県内大学等卒業者の 県内就職内定率 (福井県調べ)	60.6% (2018年度卒)	65% (2024年度卒)	(11)まちづくり 
PBL・学生が参加 する共同研究数 (福井県調べ)	40件 (2018)	100件 (2024)	(4)教育 
県内大学の学部・学科・コ ースの見直し (福井県調べ)	— (2018)	7件 (2020～2024計)	(4)教育 
Fスクエアにおける 社会人受講者数 (福井県調べ)	— (2018)	150人 (2024)	(4)教育 
キャリアアップに係る支援 制度を新たに設けた企業数 (福井県調べ)	— (2018)	150社 (2020～2024計)	(4)教育 

〔関連する主な計画等〕

福井県立大学第3期中期計画、ふくい創生・人口減少対策戦略、福井経済新戦略、新ふくいの農業基本計画、ふくいの水産業基本計画、ふくいの森林・林業基本計画

しあわせアクション ～目標達成への小さな行動(例)～

- 家庭において福井で働くことの魅力や楽しさを子どもに話す
- 地域の高校生や大学生に地元の大学や企業の魅力を伝える
- 職場において、学生が参加するPBL・共同研究の場を提供
- 実務で培った知識・技能・経験を基に、学生の実践的な教育に協力
- リカレント教育プログラムに積極的に参加

政策3 多様な価値観を認め合う「共生社会」の実現

女性、若者、高齢者など、性別や年齢に関わらず、誰もが様々なことに挑戦できる共生社会を実現します。また、障がい者、外国人など、障がいの有無や国籍等に関わらず多様な人材が活躍する「ダイバーシティ地域経営」を推進します。



【重点施策】

みんなが主役「ワンチームふくい」プロジェクト

女性や若者、高齢者、障がい者、外国人など、それぞれの個性や価値観が尊重されながら、「チームふくい」の一員として様々なことに挑戦し活躍できる、誰もが主役の共生社会を実現します。

○性別、年齢に関わらず誰もが挑戦できる社会の実現

- ・ 固定的な性別役割分担意識をなくし、生活スタイルを転換する「共働き方改革」により、女性の負担軽減と多様な活躍が可能な「男女共生社会」を実現
- ・ 家族みんなで家事・育児を楽しむ「共家事（トモカジ）」の促進や短時間勤務やテレワークなど女性が働きやすく暮らしやすい職場・生活環境の整備
- ・ 「ふくい若者ミライ会議」の開催や地域の交流・活動拠点「ふくい若者ステーション」の設置によるネットワークの拡大など、若者の新たなチャレンジを応援
- ・ 多様な働き方の普及や地域での有償ボランティアへの参加など、シニアの社会貢献と自己実現を促進
など

○障がい者、外国人など多様な人材が活躍する社会の実現

- ・ 日常生活の中で、共生社会を身近に実感できるよう、障がい者へのサポート内容を表明する商業・医療施設の拡大やカーポートパーキング（屋根付き駐車場）の設置を促進
- ・ 企業における短期の就労体験の実施などにより、障がい者の就労を支援
- ・ 外国人労働者の就業・生活環境の向上を目指す企業への支援を行うとともに、建設分野における生活支援や介護分野における現地での人材育成等を支援する仕組みを構築
- ・ 支援員の配置や多言語翻訳機導入への支援、全日制県立高校特別入試枠設置など、外国人児童生徒等の教育環境整備のほか、外国人留学生に対する授業料減免や住環境支援を実施
など



共家事イベント







外国人児童への個別指導

政策3 多様な価値観を認め合う「共生社会」の実現


【施策3-1】男女が互いに尊重しあう「男女共生社会」の実現






家族みんなで家事・育児を楽しむ「共家事（トモカジ）」や女性が働きやすい職場・生活環境づくりなど、「共働き方改革」により生活スタイルを転換し、男女が性別に関わりなく多様な活躍ができる真の「男女共生社会」を実現します。

No.	主な取組み	SDGs
①	「共家事（トモカジ）」の促進 夫婦や家族と一緒に買い物や料理を楽しむ「共家事（トモカジ）」運動や男性の育児休暇取得の促進、家事の省力化など、女性の負担を軽減し、家族みんなで家事・育児を楽しむスタイルへの転換を推進します。	(5)ジェンダー 
②	働く女性の活躍支援 中小企業を対象に専門家によるコンサルティングを実施するほか、「ふくい女性活躍推進企業」への登録促進や先進企業の表彰、働き方改革やテレワーク導入への支援など、女性が働きやすい職場環境を整備します。	(5)ジェンダー 
③	女性のキャリアアップ支援 お茶の水女子大学と連携した女性リーダー育成研修や創業支援、「ふくい女性活躍支援センター」によるキャリア相談、講座・セミナーの開催など、意欲ある女性のキャリア向上を応援します。	(5)ジェンダー 
④	女性が福井で多様な夢を実現できる環境づくり 地域おこしや社会貢献、起業など、本県の女性の多様な夢を県民と共有し、県全体で応援する機運を醸成します。 また、お茶の水女子大学と連携し、女性の夢の実現や幸福実感に向けた新たな政策を提案します。	(5)ジェンダー 

【施策3-2】若者・シニアのチャレンジ応援




自由な発想や活動の多様性が広がるよう、若者の活動を「ちょい足し」応援します。また、就労や社会貢献など、シニアの経験や知識・技能を活かす活躍の場を拡大し、人生100年時代の生涯活躍を応援します。

No.	主な取組み	SDGs
①	若者の交流拡大 地域で活躍する若者が一堂に会し、交流を図るとともに福井の未来に向けた意見交換を行う「ふくい若者ミライ会議」を開催するなど、若者同士のネットワーク拡大と福井の活性化につながる活動を促進します。	(17)パートナーシップ 

②	<p>若者拠点の設置 県内各地域の共同オフィス等に「ふくい若者ステーション」を設置し、交流・活動拠点を「見える化」することにより、にぎわいを創出するとともに、地域における若者活動への参加拡大を図ります。</p>	(17) パートナリーシップ 17 パートナリーシップで目標を達成しよう 
③	<p>若者の主体的な活動を応援 福井の活性化につながる若者の新たな「ワクワクチャレンジ」を応援するほか、若者自ら未来を考え、行動につなげる「将来構想ワークショップ」の開催や「ソーシャルベンチャー（社会起業家）」の育成など、県民の主体的なアクションを応援します。</p>	(17) パートナリーシップ 17 パートナリーシップで目標を達成しよう 
④	<p>ふるさと納税を活用したチャレンジ応援 クラウドファンディングにより寄付を全国から募るなど、起業や商品開発、イベント開催等の地域活性化につながる県民のチャレンジを、ふるさと納税を活用し応援します。</p>	(17) パートナリーシップ 17 パートナリーシップで目標を達成しよう 
⑤	<p>社会参加を通じた「生涯活躍」の推進 経験や知識・技能を活かした地域貢献や新たな社会参加を促すとともに、有償ボランティアとして生活支援などの活動に参加できる仕組みを整え、元気な高齢者の活躍の場を拡大します。</p>	(10) 不平等 10 人や国の不平等をなくそう 
⑥	<p>シニア人材活躍支援センターによる就業促進 シニア人材活躍支援センターに配置したキャリアアドバイザーと求人開拓員による就業意欲の喚起と企業の求人開拓など、高齢者のニーズを踏まえた多様な就業機会の確保を進めます。</p>	(8) 成長・雇用 8 働きがいも経済成長も 

【施策3-3】社会貢献活動の参加拡大

すべての世代の県民、企業、団体等が、もっと気軽に、楽しみながら、社会貢献活動ができるよう、参加しやすい環境づくりと活動の意欲向上を推進します。

No.	主な取組み	SDGs
①	<p>社会貢献活動に参加しやすい環境づくり 社会貢献支援ネットによるボランティア団体と参加希望者とのマッチング支援やふくい県民活動・ボランティアセンターにおけるNPO法人の運営支援などにより、県民のボランティア参加を拡大します。</p>	(17) パートナリーシップ 17 パートナリーシップで目標を達成しよう 
②	<p>社会貢献活動の活性化や有償性導入による参加者層の拡大 新たな地域貢献活動に取り組むNPO等を「ちょい足し」応援するとともに、有償性を取り入れたボランティア活動を支援することにより、やりがいや持続性の向上を図り、若者など参加者層を拡大します。</p>	(17) パートナリーシップ 17 パートナリーシップで目標を達成しよう 
③	<p>災害ボランティア活動の推進 訓練の実施や研修会の開催などにより、平常時から備えるとともに、災害時には、活動拠点の設置・運営やボランティアバスを運行するなど、県民や市町等と協働し災害ボランティア活動を推進します。</p>	(17) パートナリーシップ 17 パートナリーシップで目標を達成しよう 

政策3 多様な価値観を認め合う「共生社会」の実現

【施策3-4】多様な人材が活躍する「ダイバーシティ地域経営」の推進





県民の多様性への理解を促進するとともに、障がい者や外国人等が、住みやすく働きやすい環境を整備します。

No.	主な取組み	SDGs
①	県民の共生社会への意識の醸成 商業施設や医療機関等の設置者が、障がい者への配慮事項やサポート内容を表明する取組み（出入口へのマーク表示）の普及や、障がい者や高齢者等が雨天時等も利用しやすいカーポートパーキング（屋根付き駐車場）の整備促進など、日常生活の中で共生社会を身近に実感できる取組みを推進します。	(10 不平等) 10 人や国の不平等をなくそう
②	障がい者の就労支援 企業での短期の就業支援、セルフケアや優先発注等の販路拡大や、農業など新しい分野への進出支援を行い、障がい者が適性に応じて働くことができる環境を構築します。また、特別支援学校において、校外での農業体験実習の拡大等により生徒の職業スキル向上を図るとともに就職先を開拓し、就業を促進します。	(8 成長・雇用) 8 働きがいも経済成長も
③	障がい者スポーツ・アートの推進 障がいのある人となない人がともにスポーツに親しむ機会の創出や障がい者スポーツ選手の育成などユニバーサルスポーツを推進するとともに、展覧会の開催など障がい者による文化芸術活動を応援します。	(10 不平等) 10 人や国の不平等をなくそう
④	外国人が安心して快適に暮らし、働くことができる環境の構築 外国人との共生社会の実現に向けた多文化共生プランを策定し、企業の就業・生活環境の整備に対する支援や、外国人コミュニティリーダーによる地域住民との橋渡し、生活に必要な情報や日本語学習機会の提供など、外国人も自助・共助を担う、安心して暮らせる環境づくりを進めます。	(10 不平等) 10 人や国の不平等をなくそう
⑤	外国人材の活躍促進 外国人雇用に関する相談窓口の機能強化や海外向けに本県の魅力のPR等を行うとともに、建設分野における生活支援や介護分野における現地での人材育成等を支援する仕組みを構築します。	(8 成長・雇用) 8 働きがいも経済成長も
⑥	外国人児童生徒等に対する教育環境の整備 支援員の配置や多言語翻訳機導入への支援、全日制県立高校における特別入試枠の設置、教員採用試験におけるポルトガル語等の検定資格に対する加点制度の導入など、外国人児童生徒等の教育環境整備を推進します。	(4 教育) 4 質の高い教育をみんなに
⑦	留学生の受入れ・定着の促進（再掲） 授業料の減免や住環境の整備に対する支援を行うとともに、国内外において県内大学の魅力をPRするなど、留学生の受入れを拡大します。また、留学生と県内企業とのマッチングを強化し、卒業後の県内定着を促進します。	(4 教育) 4 質の高い教育をみんなに
⑧	人権意識の啓発 一人ひとりが互いの尊厳を認識し、尊重し合う社会をつくるため、性的マイノリティ（LGBT）や部落差別問題など様々な人権問題について、福井県人権センターを中心に教育・啓発などの取組みを推進します。	(10 不平等) 10 人や国の不平等をなくそう
⑨	人と動物が幸せに暮らす社会の実現 いきものの「命」を大切にする「動物愛護のこころ」を醸成し、人と動物がともに幸せに暮らす社会を実現するため、動物とのふれあいや保護動物の譲渡活動を実施します。	(11 まちづくり) 11 気候変動に脅かされるまちづくり

政策3 多様な価値観を認め合う「共生社会」の実現

【施策3-5】認知症の人やがん患者が自分らしい生活を送れる社会の実現

認知症やがん等の病気に関する正しい知識や理解を醸成し、誰もが安心して自分らしく暮らせる社会の整備を進めます。








No.	主な取組み	SDGs
①	<p>認知症フレンドリー社会の実現</p> <p>認知症の人やその家族・専門家等で構成する「認知症フレンドリー100人会議」を設け、認知症に対する必要な取組みについて検討を進めます。</p> <p>また、認知症の人同士が支え合うピアサポート活動を拡大するとともに、若年性認知症相談窓口と企業等の連携を強化し、就労継続を支援します。</p>	<p>(10 不平等)</p> 
②	<p>認知症サポーターの養成促進</p> <p>学生など若年層や企業を対象とした認知症サポーター養成を強化するとともに、認知症サポーターを中心として、見守り・声かけ活動や外出支援など、本人や家族のニーズに合った支援を行う体制（チームオレンジ）を整備します。</p>	<p>(10 不平等)</p> 
③	<p>がんに関する正しい知識の普及</p> <p>学校等でのがん教育を推進するため、教材の作成、外部講師のリスト化を行うとともに、県民を対象としたがん患者との交流の場を創出します。</p>	<p>(4 教育)</p> 
④	<p>がん患者の社会活躍を応援</p> <p>治療と仕事の両立支援のため、がん患者の病状や勤務中の配慮事項を職場へ伝える仕組みを整備します。</p> <p>また、生殖機能温存に対する治療費助成など、AYA世代（思春期・若年成人）のがん患者を支援します。</p>	<p>(10 不平等)</p> 

政策3 多様な価値観を認め合う「共生社会」の実現

〔政策目標〕

- 就業やボランティアなど、年齢や性別、国籍、障がいの有無等に関わらず一人ひとりの適性や希望に沿った活動が活発になっていること
- 多様な存在や価値観を認め合い、誰もがチャレンジできる社会が築かれていること

〔KPI（重要業績評価指標）〕

指標	現状	目標	SDGs
有業者における男女の家事・育児時間の差 （社会生活基本調査）	2時間24分 （2016）	2時間 （2021）	(5)ジェンダー 
企業における女性管理職の割合 （福井県勤労者就業環境基礎調査）	15.4% （2018）	20.0% （2024）	(5)ジェンダー 
地域活性化に取り組む若者グループ数 （福井県調べ）	102グループ （2018）	160グループ （2024）	(17)パートナーシップ 
働く意欲のある高齢者の有業率 （就業構造基本調査）	全国3位（27.8%） （2017）	全国1位 （2022）	(8)成長・雇用 
ボランティア行動者率 （社会生活基本調査）	32.2% （2016）	34.0% （2021）	(17)パートナーシップ 
障がい者雇用率 （障害者雇用状況）	2.35% （2019）	2.50% （2024）	(10)不平等 
カーポートパーキングの整備箇所数 （福井県調べ）	—	100箇所 （2024）	(10)不平等 
外国人コミュニティリーダーの設置人数 （福井県調べ）	—	60人 （2024）	(10)不平等 
企業・職域型の認知症サポーター養成数 （福井県調べ）	—	34,000人 （2024）	(10)不平等 

政策3 多様な価値観を認め合う「共生社会」の実現

〔関連する主な計画等〕

- 第3次福井県男女共同参画計画、福井県県民社会貢献活動推進計画（改定版）
- 第6次福井県障がい者福祉計画、福井県人権施策基本方針
- 第7期福井県老人福祉計画および介護保険事業支援計画
- 第3次福井県がん対策推進計画、福井経済新戦略

しあわせアクション ～目標達成への小さな行動（例）～

- 会社において女性の採用・育成・登用を進めるとともに、柔軟な働き方を可能とするなど社員のワークライフバランスを推進
- パートナーや子どもといっしょに楽しみながら家事・育児を行う
- 地域を活性化する若者の新たなチャレンジを温かく見守り応援
- 時間を見つけ、ボランティアや地域貢献活動に積極的に参加
- 高齢者や障がい者、外国人など様々な人材が活躍できるよう職場環境を整備
- 地域に溶け込めるよう相談に乗るなど外国人と積極的に交流
- 認知症の人と地域でともに暮らしていくため、見守りや声かけ活動など自分のできることを見つけ実践

政策4 希望が叶う「結婚・出産・子育て」応援

「次世代ファースト」の考え方のもと、将来を担う子どもたちを産み育てる若い世代を社会全体で支える仕組みを拡充し、結婚・出産・子育ての希望が叶う「日本一の出会い・子育て応援社会」をつくります。



【重点施策】

子だくさんふくいプロジェクト

「子育て先進県ふくい」のさらに一步先を行く「子だくさんふくいプロジェクト」として、多子世帯への保育料無償化の拡充や、これまで支援のなかった在宅育児への新たな応援をスタートさせることにより、様々な子育て世帯へのよりきめ細やかな応援を市町とともに強化し、日本一の子育て環境をレベルアップします。

○2人目からの経済的支援

- ・ 3歳未満児の第2子保育料について、経済的状況に応じ段階的な無償化を実施
- ・ 第3子以降を対象に実施している病児保育や一時預かり利用料等の無償化について、支援対象を第2子まで拡大
- ・ 3人目からの出産・育児への新たな支援など第3子以降への応援を強化 など

○低年齢児の在宅育児を応援

- ・ 第2子以降の3歳未満の児童を家庭で子育てする世帯の経済的状況に応じた手当を支給 など

○保育の受け皿の強化

- ・ 潜在保育士の就職支援や高校生の保育就労体験など、保育人材センターにおいて保育人材の確保を促進 など



認定子ども園での保育活動








保育人材センターでの相談

政策4 希望が叶う「結婚・出産・子育て」応援

【施策4-1】若者の出会いと結婚応援

結婚を望む県民の希望を叶えるため、若い世代が求める「自然な出会い」の環境づくりを行うなど、日本一の結婚応援を次のステージに引き上げます。

No.	主な取組み	SDGs
①	<p>オールふくい体制による新たな出会い応援 「ふくい結婚応援協議会（仮称）」を新たに設け、県、市町、企業が連携し、オールふくいで県民の結婚を応援する体制を整備します。 また、京都事務所（新設）等を活用し、関西圏からも参加者を募る広域的な婚活イベントを開催するなど、出会いの機会の拡大を図ります。</p>	 (3)健康・福祉 3 すべての人に健康と福祉を
②	<p>若い世代のニーズに合った婚活サポートの充実 「ふくい婚活サポートセンター（仮称）」を開設するとともに、AIを活用し、独身者が自ら検索してお見合い相手を探せるマッチングシステムを整備するなど、若い世代のニーズに合った新たな婚活サービスを提供します。</p>	 (3)健康・福祉 3 すべての人に健康と福祉を
③	<p>自然な出会いの環境づくり 従業員の出会いと結婚を応援する「ふくい結婚応援企業」や従業員をサポートする「職場の縁結びさん」を設置するとともに、「企業間交流婚シェアリング」が企業間交流会の開催をサポートします。 また、働く若い世代の人脈拡大・交流を目的としたイベント等の開催サポートや、若者の趣味やスポーツ等の余暇活動への応援など、自然な出会いを創出します。</p>	 (3)健康・福祉 3 すべての人に健康と福祉を
④	<p>人の手によるあたたかな出会いのサポート 「地域の縁結びさん」や結婚相談員によるきめ細やかな結婚相談を行い、地域のつながりを活かした縁結びを推進します。</p>	 (3)健康・福祉 3 すべての人に健康と福祉を
⑤	<p>結婚観・家族観の醸成 県内大学等において、結婚や子育てを含めた自分の将来について、具体的に考えるためのセミナーを開催するなど、ライフプラン教育を実施し、若い世代における結婚観・家族観を醸成します。</p>	 (4)教育 4 質の高い教育をみんなに

政策4 希望が叶う「結婚・出産・子育て」応援

【施策4-2】安心して出産・子育てできる環境の整備



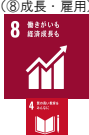
初めての妊娠や育児に対する不安の解消、産後の心身のケアなど、妊娠・出産前後からの切れ目ない支援体制を強化し、共働き日本一の福井において、誰もが安心して出産・子育てできる環境を整備します。

No.	主な取組み	SDGs
①	仕事と妊娠・出産の両立支援の推進 男性の育児休業や育児短時間勤務、不妊治療のための休暇制度等の取得を支援するなど、働きながら安心して妊娠・出産できる職場環境づくりに取り組む県内企業を拡大します。	(5)ジェンダー 5 ジェンダー平等を 3 すべての人に健康と福祉を 8 豊かさを
②	不妊検査・治療への支援 夫婦そろって受ける不妊検査により早い段階での適切な治療を促すとともに、治療に要する費用を支援するなど、子どもを持ちたいという希望の実現を応援します。	(3)健康・福祉 3 すべての人に健康と福祉を 5 ジェンダー平等を
③	妊娠期から子育て期までの切れ目ない支援体制の強化 すべての市町に設置する子育て世代包括支援センターを拠点として、妊娠期から子育て期にわたり、妊娠・出産・子育てに関する相談に応じるとともに、養育に困難を抱える家庭に対する支援を強化します。	(3)健康・福祉 3 すべての人に健康と福祉を 5 ジェンダー平等を 16 公平な
④	2人目からの経済的支援 3歳未満児の第2子保育料について、経済的状況に応じ段階的な無償化を実施するとともに、第3子以降を対象に実施している病児保育や一時預かり利用料等の無償化について、支援対象を第2子まで拡大し、子育て家庭に対する経済的支援を強化します。	(3)健康・福祉 3 すべての人に健康と福祉を
⑤	3人目からの支援の強化 3人目からの出産・育児への新たな支援など、第3子以降を出産しやすい環境をつくれます。	(3)健康・福祉 3 すべての人に健康と福祉を
⑥	在宅育児への応援 第2子以降の3歳未満の児童を家庭で子育てする世帯の経済的状況に応じ手当を支給し、家庭での子育てを望む世帯が安心して育児できる環境を整備します。	(3)健康・福祉 3 すべての人に健康と福祉を
⑦	子ども医療費助成による経済的負担の軽減 子ども医療費について、市町とともに所得制限を設けず助成し、子育て世帯の経済的負担を軽減します。	(3)健康・福祉 3 すべての人に健康と福祉を

政策4 希望が叶う「結婚・出産・子育て」応援

【施策4-3】待機児童ゼロの実現

必要な人が必要な時に保育所等を利用できる受け皿整備を進め、待機児童ゼロを実現します。

No.	主な取組み	SDGs
①	<p>子育て・保育の受け皿整備 保育所や認定こども園等において、保育ニーズに柔軟に対応できる受入れ体制を充実するとともに、小学生の居場所づくりとして放課後児童クラブの施設整備を行う市町を支援します。</p>	<p>(④教育)</p> 
②	<p>保育人材の確保 保育人材センターにおいて、潜在保育士への就職支援や保育士の就業相談、高校生の保育就労体験を実施するなど、保育人材の確保を進めます。</p>	<p>(④教育)</p> 
③	<p>保育の仕事の魅力向上 保育士の給与改善やキャリアアップに対する支援と、保育補助者の配置等による業務負担の軽減を一体的に進め、保育士の働く環境を改善します。</p>	<p>(⑧成長・雇用)</p> 

政策4 希望が叶う「結婚・出産・子育て」応援

【施策4-4】社会全体で子育てを応援する仕組みづくり

核家族・共働き家庭や移住者世帯が増加するなか、男性の育児・家事参加をさらに進めるとともに、地域の高齢者や学生等の子育て参加や企業による子育て世帯の応援など、子どもの健全な成長を社会全体で支える仕組みづくりを進めます。

No.	主な取組み	SDGs
①	<p>育児での男性活躍社会</p> <p>母親のワンオペ育児をなくし、夫婦が等しく子育てを担い、楽しめるよう、「父親の家事・育児応援スクール」の開催など、男性の家事・育児参加を促進します。</p>	<p>(5)ジェンダー</p> 
②	<p>企業による子育て世帯の支援</p> <p>社員のイクメン宣言の推進や男性の育児休暇の取得など、子育てをしやすい職場づくりを進める企業を支援するとともに、協賛企業等による子ども連れ家族対象の優待サービスを拡充します。</p>	<p>(5)ジェンダー</p> 
③	<p>子育てにやさしい地域づくり</p> <p>学習支援、子ども食堂など、地域の高齢者やシニア世代、学生等が子育てに参加するきっかけや仕組みをつくり、地域社会全体で子どもを支える社会を実現します。</p>	<p>(4)教育</p> 
④	<p>困難な環境にある子どもへの支援</p> <p>児童虐待に適切に対応するため、児童相談所の体制を強化するとともに、里親等による家庭養育を推進します。また、養育に困難を抱える家庭を早期に発見するとともに、保護者への適切な指導・支援を行います。</p>	<p>(4)教育</p> 
⑤	<p>ひとり親家庭等が自立して暮らすことができる環境づくり</p> <p>ひとり親家庭等における貧困の実態を把握するとともに、子どもの学力向上や生活向上を目指す学習支援、地域の居場所づくりを支援します。</p>	<p>(4)教育</p> 
⑥	<p>児童の健全育成</p> <p>子ども達の豊かな心と健やかな体、科学等の多様な学びの関心を育てるため、こども家族館や児童科学館等の充実を図ります。</p>	<p>(4)教育</p> 

政策4 希望が叶う「結婚・出産・子育て」応援

〔政策目標〕

- 将来を担う子どもたちを産み育てる若い世代を社会全体で支える仕組みが拡充されていること
- 「日本一の出会い・子育て応援社会」および希望出生率の実現に向け、合計特殊出生率が上昇していること

〔KPI（重要業績評価指標）〕

指標	現状	目標	SDGs
合計特殊出生率 （人口動態統計調査）	1.67 （2018）	1.80（※） （2030）	③健康・福祉 
県・市町の結婚応援事業を きっかけとする婚姻数 （福井県調査）	163件 （2018）	200件 （2024）	③健康・福祉 
保育所等の待機児童 （保育所等関連状況取りまとめ）	10人 （2019.4.1 現在）	待機児童ゼロ （2020～）	④教育 
保育人材センターによる保 育士就職者数 （福井県調べ）	—	150人 （2020～2024 計）	④教育 
地域の子育てを応援する高 齢者やシニア世代の養成数 （福井県調べ）	—	2,000人 （2020～2024 計）	④教育 
ひとり親家庭等の児童向け 学習支援箇所数 （福井県調べ）	39箇所 （2018）	60箇所 （2024）	④教育 

（※）国の「まち・ひと・しごと創生総合戦略」の目標値および目標年度に準拠

政策4 希望が叶う「結婚・出産・子育て」応援

〔関連する主な計画等〕

ふくい創生・人口減少対策戦略、福井県子ども・子育て支援計画
福井県社会的養育推進計画、第4次福井県ひとり親家庭自立支援計画

しあわせアクション ～目標達成への小さな行動（例）～

- 独身従業員の出会いの機会につながるよう、企業間の交流会等を積極的に開催
- 高齢者が地域において、若い世代の子育て支援に参加
- 子育て中や不妊治療を受けている人の柔軟な働き方を応援
- 家族の中での家事分担を見直し、男性も積極的に家事・育児に参加
- 児童虐待かなと感じたら、児童相談所全国共通3桁ダイヤル189（いちはやく）に電話

II 成長を創る（産業力）

～力強い産業基盤の確立。チャレンジできる地域経済の構築～

本県の質の高い暮らしを将来世代に引き継ぐためには、技術革新や産業構造の変化、グローバル化などに対応する力強い経済基盤を確立させる必要があります。

そのため、農林水産業やものづくりなど福井の地場産業を、新技術やデザインの力を活用しながら革新し、若者が魅力を感じる持続可能な産業へと発展させます。

また、航空・宇宙、ヘルスケアなど成長産業や拡大する世界市場への進出、新技術の活用による付加価値創造、新規創業など、県内企業の様々な挑戦を応援し、活気と好循環の地域経済へと飛躍させます。

〔実行する政策〕

政策5 農林水産業の力でふくいをブランドアップ

- 【施策5-1】 夢のある次世代の農業を推進
- 【施策5-2】 「ふくいの食」のトップブランド化
- 【施策5-3】 農山漁村の魅力創出・交流人口の拡大
- 【施策5-4】 県産材の需要・供給の拡大と林業の活性化
- 【施策5-5】 ふくいの水産業のステップアップ
- 【施策5-6】 農山漁村地域の基盤づくり

政策6 地域経済のイノベーション

- 【施策6-1】 「福井型エコシステム」の構築
- 【施策6-2】 デザインの力で魅力あるものづくり産地を創出
- 【施策6-3】 暮らしに根差した小さな企業の応援
- 【施策6-4】 地域企業の生産性向上・人材確保
- 【施策6-5】 働く人のための「しあわせ働き方改革」を実行

政策7 Society5.0 時代の新産業創出

- 【施策7-1】 成長産業へのチャレンジ応援
- 【施策7-2】 AI・IoTなど技術革新を活かした新サービスの創出
- 【施策7-3】 多様な企業誘致の推進
- 【施策7-4】 嶺南Eコーストの実現

政策8 拡大する世界市場をふくいの成長へ

- 【施策8-1】 海外ネットワークの新展開
- 【施策8-2】 福井の文化や食を活かした海外売り込みの強化
- 【施策8-3】 国際交流の推進

政策5 農林水産業の力でふくいをブランドアップ

福井の生活・文化を形づくってきた農林水産業を大切に守り、次世代に引き継いでいくとともに、その魅力を福井の発信に最大限活用します。さらに、新技術の活用などにより、ふくいの農林水産業を力強い成長産業にレベルアップします。



【重点施策】

稼げる農林水産業創出プロジェクト

熟達者の技と先端技術の融合により、超省力・高品質生産を実現する稼げる農林水産業を目指すとともに、他産業との連携によるプラットフォーム（総合基盤）形成により、人を呼び込み、地域の活力創出に貢献する産業への発展を目指し、大規模な法人から小規模な農林漁家、農山漁村に暮らす女性や高齢者まで、すべての人々が活躍できる新時代を築きます。

○活力ある「新ふくいの農林水産業」の実現

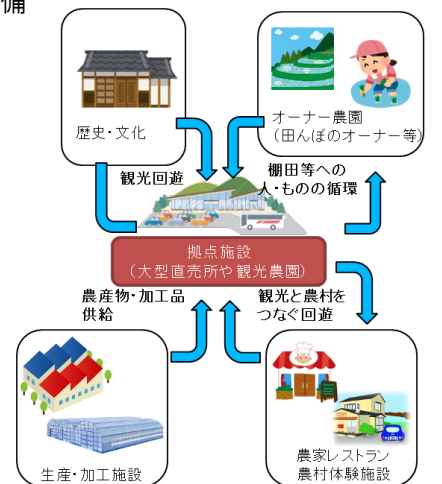
- ・最新のスマート技術の活用により、若者に魅力のある稼げる農林水産業を確立
自動走行トラクタ、GPS 田植機、自動環境制御の園芸ハウス、航空レーザによる森林計測、養殖の ICT 自動給餌装置、定置網の魚群探知機 など
- ・農・林・水産業のカレッジや「越前若狭 田んぼ道場」、県立大学新学科との連携により、即戦力となる若者や地域を支える人を育成
- ・「いちほまれ」、「越前がに」に加え、新しいプレミアムブランド（ふくいそば、若狭ぐじ、越のルビー等）の確立により、「ふくいの食」の魅力を国内外に発信 など

○食文化・産業（加工・観光等）と結び付けるプラットフォームの形成

- ・女性や高齢者の知恵を活かした魅力的な商品づくり
- ・農林漁家の創意工夫による「知る・つくる・買う・癒す」の体験メニューを充実
- ・観光農園や直売所、地魚料理を楽しむレストラン等を整備
- ・観光名所や体験メニュー等のコンテンツをつなげ、「ふるさと農の駅」（直売所）を中心に、地域内外の人との交流を促進するにぎわいのある農山漁村を創出 など



ふくい園芸カレッジ研修



「ふるさと農の駅」を中心とした周遊イメージ

政策5 農林水産業の力でふくいをブランドアップ

【施策5-1】夢のある次世代の農業を推進

新技術を活用したスマート農業を普及するとともに、水田経営における大規模法人の育成、水田園芸や施設園芸の大規模化を推進することにより生産力を高め、農家所得の最大化を図ります。

No.	主な取組み	SDGs
①	水田経営の大規模法人の育成 自動走行農機やドローン等を活用したスマート農業を普及するとともに、集落営農組織等の合併や広域化による大規模法人の育成を推進します。 あわせて、スマート農業の効果を最大限発揮する基盤整備（大区画化、ターン農道等）を推進します。	(8)成長・雇用 8 働きがいも経済成長も 
②	大規模水田園芸の推進 排水柵の設置や大規模化に必要な機械の導入支援など、農地の集約化と生産基盤の整備にあわせ、大規模水田園芸に取り組む農家の定着を図ります。	(8)成長・雇用 8 働きがいも経済成長も 
③	大規模施設園芸の全県展開 気化熱を利用した冷房技術による夏越し栽培や収益性の高い新たな品目を導入することにより、大規模施設園芸を全県に展開し、園芸生産額を拡大します。	(8)成長・雇用 8 働きがいも経済成長も 
④	儲かる畜産経営の展開 自動給餌機やエサ寄せロボットなどによる省力化や増頭による規模拡大、6次産業化（加工・直売等）など収益向上を図ります。 また、飼養衛生管理基準の遵守により家畜伝染病の防止対策を強化し、後継者に引き継ぐ畜産経営を実現します。	(8)成長・雇用 8 働きがいも経済成長も 
⑤	植物工場の拡大 安価な電力の活用等により、植物工場の県内への誘致を推進し、レタス等の生産量を拡大します。	(8)成長・雇用 8 働きがいも経済成長も 
⑥	次世代の農業を担う人材育成 「越前若狭 田んぼ道場」において、水稻・麦などの栽培研修や圃場での機械操作実習を通して人材を育成します。 また、「園芸カレッジ」では、知識習得の研修とあわせ、生産から販売まで行う経営研修を行い、即戦力となって活躍できる人材を育成します。	(4)教育 4 質の高い教育をみんなに 
⑦	生産・販売の拡大を目指した試験研究の推進 ミディトマトに加え、ブドウ、イチゴ、水稻など、市場性の高い本県オリジナルの品種の開発や有機・無農薬栽培技術の確立、園芸施設の自動環境制御技術を開発します。	(9)イノベーション 9 産業と技術革新の基盤をつくろう 

政策5 農林水産業の力でふくいをブランドアップ

【施策5-2】「ふくいの食」のトップブランド化


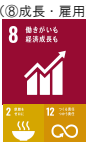



米やそば、地酒、トマト、かに、地魚など、美味しい「ふくいの食」の認知度を高め、県外からの誘客にもつながる食のトップブランド化を進めます。

No.	主な取組み	SDGs
①	いちほまれを全国トップのブランドに確立 いちほまれの安定した高品質、高収量を確保する生産技術を確立するとともに、県とJAでつくる「いちほまれ販路開拓チーム」の営業強化により、バイヤーや消費者の認知度を高め、高い評価に見合う価格帯で販売します。	⑧成長・雇用 8 働きがいも経済成長も 2 質の高い雇用 12 持続可能な消費
②	「ふくいそば」のブランド確立 PR動画や首都圏でのイベント出店により、「ふくいそば」のおいしさを全国に発信するほか、本県で開催している「全日本素人そば打ち名人大会」を継続的に実施することにより、日本一のそばどころふくいのイメージを定着させ、県産そばの消費・生産の拡大を図ります。	⑧成長・雇用 8 働きがいも経済成長も 2 質の高い雇用 12 持続可能な消費
③	地魚の戦略的販売 「越前がに極」に相当するプレミアムブランドを「若狭ぐじ」や「越前がれい」にも創出し、本県水産物の認知度向上と販路拡大を進めます。	⑧成長・雇用 8 働きがいも経済成長も 12 持続可能な消費 14 海の豊かさを守ろう
④	ふくいオリジナル地酒の商品化 本県が開発した酒米「さかほまれ」を使用し、「米、酵母、水」すべてが福井県産のオリジナル地酒を商品化します。 また、イベントや飲食店・小売店向けの試飲会を通して、販売を促進し、米どころ、酒どころとして本県をPRします。	⑧成長・雇用 8 働きがいも経済成長も 2 質の高い雇用 12 持続可能な消費
⑤	ふくいの畜産ブランドの確立 各種イベントを通じて、三ツ星若狭牛や福地鶏などの本県畜産ブランドを県内外にPRし、認知度向上と消費拡大を図ります。	⑧成長・雇用 8 働きがいも経済成長も 2 質の高い雇用 12 持続可能な消費
⑥	美味しい「ふくいの食」の認知度向上で販売拡大 都市圏からのバイヤー招へいや産地視察とあわせ、都市圏のアンテナショップや飲食店での福井フェアの開催、都市圏での食の展示会への出展により、地域特産物を含め「ふくいの食」をPRします。 (越のルビー、里いも、らっきょう、とみつ金時、福井梅、越前水仙等)	⑧成長・雇用 8 働きがいも経済成長も 2 質の高い雇用 12 持続可能な消費
⑦	「ふくいの食」の輸出拡大 県内事業者の輸出を拡大するため、営業代行の設置や商談会の開催により、アジア諸国を中心に福井の食や食文化を発信し、新たな販路を開拓します。	⑧成長・雇用 8 働きがいも経済成長も 2 質の高い雇用 12 持続可能な消費

政策5 農林水産業の力でふくいをブランドアップ

【施策5-3】農山漁村の魅力創出・交流人口の拡大

大型直売所などの拠点施設（ふるさと農の駅）を中心に、農山漁村の風景やくらし、食文化、観光等を結びつけるプラットフォーム（総合基盤）を形成することにより、地域内外の人との交流を促進し、にぎわいのある農山漁村を創出します。

No.	主な取組み	SDGs
①	<p>農山漁村を満喫する「農遊地域」づくりで交流人口を倍増</p> <p>観光農園や農家漁家レストラン・民宿、伝統野菜や旬の野菜・果物・山菜等が並ぶ魅力的な直売所などの整備を促進し、観光地や体験メニュー等のコンテンツをつなげ、農山漁村を回遊する仕組みにより、交流人口の増加を促します。</p>	<p>(8)成長・雇用</p> 
②	<p>「知る」、「つくる」、「買う」による食育・地産地消の推進</p> <p>直売所や量販店等において、旬の地域食材を利用した料理方法や伝統野菜、郷土の食文化について情報発信するほか、家族や職場仲間が気軽に学べる食育クッキング教室や地場産食材購入促進キャンペーンを開催するなど、食育・地産地消を推進します。</p>	<p>(8)成長・雇用</p> 
③	<p>小規模農家等の生産意欲とチャレンジ活動を応援</p> <p>農村に暮らす女性や高齢者等が新たにチャレンジする直売所向けの珍しい野菜・果樹の生産や加工品開発のほか、中山間地域の小規模な集落営農組織等が意欲をもって営農を継続する活動を支援し、様々な人々が活躍する農村の地域力を向上させます。</p>	<p>(2)飢餓・食料</p> 
④	<p>農業で魅力のある田園風景を維持</p> <p>ひまわりやコスモス等の景観植物の植栽、若狭牛の放牧などにより、魅力のある田園風景を維持し、都市と農村の交流を促進します。</p>	<p>(11)住み続けられるまちづくりを</p> 
⑤	<p>鳥獣害に負けない体制づくりの強化</p> <p>農作物の鳥獣被害を減らすとともに、高齢化や人口減少が著しい地域においては、侵入防止柵の設置や維持管理について、複数集落が連携して取り組む地域をモデル地区とするなど、共助による集落を越える広域的な取組みを推進・拡大します。</p>	<p>(11)住み続けられるまちづくりを</p> 

政策5 農林水産業の力でふくいをブランドアップ

【施策5-4】県産材の需要・供給の拡大と林業の活性化





利用可能な森林資源が増えている中、県産材の需要と供給を拡大し、林業の成長化を図ります。

No.	主な取組み	SDGs
①	<p>間伐の加速化と主伐の促進による循環型林業経営を推進</p> <p>森林のゾーニング（資源循環の森、環境保全の森）を行い、航空レーザ計測等の新技術を活用した計画的な間伐を進めるとともに、主伐による森林資源の活用や再造林による森林の若返りを促進し、持続可能な林業経営を目指します。</p>	<p>(15陸上資源)</p> 
②	<p>新たな手法の導入による施業集約化の促進</p> <p>集落単位での施業集約化（コミュニティ林業）を拡大するとともに、小規模・分散的な山の所有地の構造を改善し、交換分合等により林地の集積を促進します。</p> <p>あわせて、プロセッサなどの高性能林業機械を活用し、生産性を向上します。</p>	<p>(15陸上資源)</p> 
③	<p>森林経営・管理を担う人材育成</p> <p>林業カレッジにおける早期就業希望者向けの短期コースの新設、機械化や安全装備の充実による生産性向上と労働環境の改善により、若者や女性が活躍できる環境を整備し、人材および林業事業体を育成します。</p>	<p>(4教育)</p> 
④	<p>県産材の利用拡大</p> <p>県内におけるB材の需要拡大に向けた大規模工場の誘致を進めるとともに、新たに国内外への販路を開拓することにより、県産材の需要を拡大します。</p> <p>また、『みんなでつかおう「ふくいの木」促進条例』に基づく機運醸成や民間・公共施設の木質化により、ふくいの木の利用を促進します。</p>	<p>(8成長・雇用)</p> 
⑤	<p>森林の多様な活用による山村の活性化</p> <p>福井の美しく豊かな森林を活用するトレイルや森林ヨガなどの森林体験を県内に広め、国内外からの誘客を促進します。</p> <p>また、県産ブランドきのこの「香福茸」や新たに開発する極上マイタケについて、生産・販売を拡大します。</p>	<p>(8成長・雇用)</p> 
⑥	<p>緑と花の県民運動を推進</p> <p>北陸新幹線福井・敦賀開業に向けて、県民が主体となって森林や木、花に関わる「緑と花の県民運動」を推進し、主要駅や観光地周辺を花で彩る運動の定着を目指します。</p>	<p>(11まちづくり)</p> 

政策5 農林水産業の力でふくいをブランドアップ

【施策5-5】ふくいの水産業のステップアップ




新技術を活かした養殖業による生産拡大と地魚の戦略的な販売促進により、ふくいの水産業を持続的に成長させ、豊かな浜の暮らしを実現します。

No.	主な取組み	SDGs
①	<p>養殖業の拡大と販路開拓</p> <p>ふくい水産振興センターを中心に産学官が連携し、IoTを活用した自動給餌システムなど新たな養殖技術を確立するとともに、嶺南の養殖魚を嶺北へ販売する体制を整備し、県産種苗でのマハタやふくいサーモン、サバなどの生産・販売を拡大します。</p>	<p>(14 海洋資源)</p> 
②	<p>漁船漁業の効率化と地魚の戦略的販売</p> <p>定置網の入網把握システムや底曳網のデジタル操業日誌など新技術を活用し漁船漁業の効率化を図るとともに、「越前がに」の稚ガニを保護します。</p> <p>また、「越前がに極」に相当するプレミアムブランドを「若狭ぐじ」や「越前がれい」にも創出するなど、本県水産物の認知度向上と販路の拡大を進めます。</p>	<p>(14 海洋資源)</p> 
③	<p>ふくいの海を担う人材育成</p> <p>水産カレッジにおいて、漁業の基礎的技術・知識を習得するほか、船舶や無線などの免許取得の支援を行い、次代を担う漁業者の育成と自立を促進します。</p> <p>また、県立大学や若狭高校と連携し、ふくい水産振興センターにおいて学生や民間企業向けの研修を行い、即戦力となる水産技術者を育成します。</p>	<p>(4 教育)</p> 
④	<p>漁村の活性化</p> <p>地曳網等の漁業体験、海辺や川床で地魚料理が楽しめるレストランなどの体験型観光を充実するとともに、市場のセリを間近で見学できるような施設や受入環境の整備を促進することにより、漁村への交流人口を増加させ、漁村を活性化します。</p>	<p>(8 成長・雇用)</p> 

政策5 農林水産業の力でふくいをブランドアップ

【施策5-6】農山漁村地域の基盤づくり

農林水産業の生産力を高める基盤の整備を進めるとともに、老朽化する既存インフラへの長寿命化対策や自然災害による被害防止対策など、農山漁村地域の防災・減災対策を推進します。



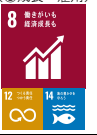
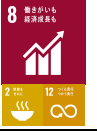

No.	主な取組み	SDGs
①	<p>農林水産業の生産力を高める基盤整備</p> <p>スマート農業の効果を最大限発揮する圃場の大区画化や用排水路・暗渠排水等の整備、林業の施業効率化に必要な林道等の整備、水産資源の回復や持続的利用のための藻場造成・海底作濡など、各分野の基盤整備を推進し、生産力の向上につなげます。</p>	<p>(②飢餓・食料)</p> 
②	<p>災害から農山漁村の暮らしを守る基盤整備</p> <p>老朽化した農業水利施設、治山施設、海岸・漁港施設などの機能強化や長寿命化対策に加え、事前防災・減災に向けた効果的な予防対策を推進し、災害に強い生産基盤をつくとともに、農山漁村の生活の安全・安心を確保します。</p>	<p>(⑪まちづくり)</p> 
③	<p>被害防止につながる地域活動の継続</p> <p>中山間地域等直接支払制度や多面的支払交付金等を活用した地域の共同活動に継続して取り組むことにより、耕作放棄地の増加の抑制や農地の適切な保全管理に基づく水田貯留機能の維持による洪水防止など、農業・農村の有する多面的機能の維持・発揮を図ります。</p>	<p>(⑪まちづくり)</p> 

政策5 農林水産業の力でふくいをブランドアップ

〔政策目標〕

- 最新のスマート技術の活用や都市と農村の交流により産出額が増加し、若者に魅力のある稼げる農林水産業にレベルアップしていること
- 小規模な農林漁家や農山漁村に暮らす女性・高齢者も生き活きと活躍していること

〔KPI（重要業績評価指標）〕

指標	現状	目標	SDGs
米・園芸産出額 （福井県調べ）	490 億円 （2018）	550 億円 （2024）	⑧成長・雇用 
林業産出額 （福井県調べ）	23 億円 （2018）	30 億円 （2024）	⑧成長・雇用 
漁業産出額 （福井県調べ）	100 億円 （2018）	110 億円 （2024）	⑧成長・雇用 
直売所販売額 （福井県調べ）	36 億円 （2018）	46 億円 （2024）	⑧成長・雇用 
新規就農・就業者数（※） （福井県調べ）	（農業） 413 人	600 人	④教育 
	（林業） 73 人	100 人	
	（水産） 94 人	100 人	

（※）現状は2014～2018年度の5年間累計、目標は2020～2024年度5年間累計

〔関連する主な計画等〕

- 新ふくいの農業基本計画、第3次ふくいの食育・地産地消推進計画
- 第2次いちほまれブランド戦略、ふくいの森林・林業基本計画
- ふくいの水産業基本計画、福井県国土強靱化地域計画

しあわせアクション ～目標達成への小さな行動（例）～

- 身近で採れる旬の食材を積極的に購入し、福井の農林漁家を応援
- 「ふくいの食」や農山漁村の魅力を全国に伝える
- 鳥獣の餌となる生ごみなどを庭先に放置せず、収穫しない柿の実は撤去するなど、鳥獣害対策に取り組む
- 森林・木工体験への参加、木製品の購入等を通じて、「ふくいの木」を利用
- 家庭や地域で木や花を育て、美しい緑の空間を創出

政策6 地域経済のイノベーション

創業や事業承継など地域内経済循環の新たな仕組みづくり、デザインの力による地域産業の発展、人を幸せにする働き方改革の推進などにより、安定した社会を支えてきた地域経済の基盤を強固にし、次世代産業へと飛躍させます。



【重点施策】

お金・人・技術の地域内循環・拡大プロジェクト

官民協働でのスタートアップ企業※への支援、意欲ある後継人材のマッチングなど、成長が期待できる有望ベンチャーの創出や事業創継等を推進し、地域内でお金・人・技術等の経営資源が循環する「福井型エコシステム」を構築します。

※スタートアップ企業：新しい事業モデルをつくり、短期間での成長を目指す企業

○スタートアップ企業の発掘・有望ベンチャーの育成

- ・投資型クラウドファンディング等の活用を支援し、創業や新商品開発の資金調達を促進
- ・先輩起業家やベンチャー創出支援機関との協働による助言、人脈形成、投資等の集中的なサポートにより、短期間での成長を支援
- ・ふくい未来企業支援ファンドによる有望ベンチャーへの投資
- ・民間のインキュベーション施設※整備を支援し、県内外の多彩な人材が出会う交流拠点を創出

※インキュベーション施設：創業間もない企業や起業家に対し、低賃料スペース提供、マーケティング支援などの経営ノウハウを提供し、その成長を促進させることを目的とした施設

○挑戦的な事業承継の推進

- ・後継者不在の小規模事業者の後継人材を全国から公募し、マッチング
- ・第三者への承継の際に必要な先代経営者からの技術承継等の支援
- ・企業の後継者による新分野展開や県外・国外への事業拡大、新会社設立等のステップアップを目指す「後継ぎベンチャー」の支援



ベンチャー企業の投資家向けプレゼンテーション



第三者への事業承継

政策6 地域経済のイノベーション

【施策6-1】「福井型エコシステム」の構築


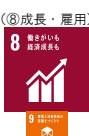
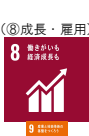

創業・新分野進出や有望ベンチャーの創出、事業創継等を推進し、地域内でお金・人・技術等の経営資源が循環する「福井型エコシステム」を構築します。

No.	主な取組み	SDGs
①	<p>クラウドファンディング等の活用促進 「ふるさと企業育成ファンド」による助成に加え、投資型クラウドファンディング等の活用により、スタートアップ企業等の資金調達を支援し、創業や新商品開発を促進します。</p>	
②	<p>起業家・ベンチャー企業の発掘・育成 学生・若者の起業家育成や、投資家への事業提案「福井ベンチャーピッチ」による投資家や協力事業者の獲得に加え、先輩起業家やベンチャー創出支援機関との協働による集中的な支援により、成長を支援します。</p>	
③	<p>有望ベンチャー企業への投資 県内金融機関等とともに組成した「ふくい未来企業支援ファンド」を活用し、有望ベンチャーへの投資を行い、将来の上場に向けた支援を行います。</p>	
④	<p>民間インキュベーション施設の整備促進 民間インキュベーション施設整備の支援による県内外の多彩な人材が会う交流拠点を創出します。</p>	
⑤	<p>次世代の経営者への円滑な事業承継 親族への円滑な承継に加え、後継者の全国公募や、起業を希望する若者とのマッチング、産地内の企業同士の統合の支援など、親族以外の第三者への承継支援を強化するとともに、第三者への承継の際に必要な先代経営者からの技術承継等を支援します。</p>	
⑥	<p>後継ぎベンチャーの推進 企業の後継者による新分野展開や県外・国外への事業拡大、新会社設立等のステップアップを目指す「後継ぎベンチャー」を支援します。</p>	

政策6 地域経済のイノベーション

【施策6-2】デザインの力で魅力あるものづくり産地を創出

デザインの力によりものづくり産地の魅力を向上し、国内外からの取引・就業・観光を促進します。

No.	主な取組み	SDGs
①	<p>デザインを活かした産地ブランディングの強化 デザインセンターふくいを核に、県内デザイナーのデータベース化に加え、ブランディングの段階や企業規模等に応じた支援など、「作りたいモノ」でなく「売れるモノ」を生み出すための支援を拡充します。</p>	<p>(8)成長・雇用</p> 
②	<p>繊維・眼鏡産業や伝統工芸の振興 他産地との連携による商品開発や新素材の開発、海外販路拡大などに加え、デザイン力の強化により、福井の誇るものづくりの持続的な発展を図ります。</p>	<p>(8)成長・雇用</p> 
③	<p>産業観光の拡大 RENEW、千年未来工芸祭など若手職人やデザイナーが中心となり開催するものづくりイベントを応援するほか、見学、販売、体験等を一度に楽しめる直営店の整備や外国人のニーズに沿った体験プログラムの開発等を支援し、産地の仕事や暮らしの魅力を国内外に発信します。</p>	<p>(8)成長・雇用</p> 
④	<p>人材育成の強化 産地の後継者を確保するため「伝統工芸職人塾」の充実を図るほか、企業での実習等を通じて学生などが繊維や眼鏡産業等を学ぶ機会を拡大し、全国からの産地への就労を促進します。</p>	<p>(4)教育</p> 

政策6 地域経済のイノベーション

【施策6-3】くらしに根差した小さな企業の応援

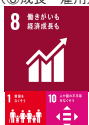

和菓子店や酒蔵、伝統工芸など、県民の豊かなくらしを支える小規模企業の持続的発展を、商工会・商工会議所等の支援機関と一体となって支援します。

No.	主な取組み	SDGs
①	プッシュ型の課題掘起しの強化 商工会・商工会議所や産業支援センターと協力し、窓口等での待ちの相談対応から、企業訪問による積極的な課題の掘起しに重点化します。	(8)成長・雇用 8 働きがいも経済成長も 9 産業革命も 17 パートナーシップ
②	課題解決のための支援充実 AI・IoT導入や働き方改革、事業承継、経営の多角化等、小規模企業が抱える様々な課題解決を応援する支援制度の充実を図ります。 また、小規模企業支援の中心的な役割を担う商工会・商工会議所の体制を強化します。	(8)成長・雇用 8 働きがいも経済成長も 9 産業革命も
③	支援機関の横断的ネットワークによる支援 商工会・商工会議所、中小企業団体中央会、産業支援センター、金融機関、土業等が横断的なネットワークを構築し、一体となって、小規模企業の経営革新に向けた支援を行います。	(8)成長・雇用 8 働きがいも経済成長も 9 産業革命も 17 パートナーシップ

【施策6-4】地域企業の生産性向上・人材確保

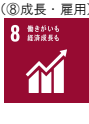
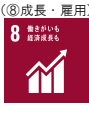

AI・IoT等の新技術による生産性の向上のほか、各産業における人材確保を支援します。

No.	主な取組み	SDGs
①	AI・IoT等の新技術導入による生産性の向上 ITコーディネーターなどの専門家による相談対応や現場への派遣などの導入支援を強化するとともに、県内製造業において、IoTによる企業間連携モデルの実証・構築を推進します。	(8)成長・雇用 8 働きがいも経済成長も 4 質の高い雇用も 9 産業革命も
②	IT人材の確保・育成 都市部からのUターン促進や「ふくいAIビジネス・オープンラボ」におけるIT活用専門家養成講座の開催など、AI・IoTを活用できるIT人材の確保・育成を推進します。	(8)成長・雇用 8 働きがいも経済成長も 4 質の高い雇用も 9 産業革命も
③	多様な人材が活躍できる就業環境の整備 年齢や性別、障がいの有無、国籍等に関わらず多様な人材がそれぞれの特性を活かし、働くことができる就業環境の整備を支援し、企業の人材確保を促進します。	(8)成長・雇用 8 働きがいも経済成長も 10 人や国を超えて公正な富と機会の共有も 16 平和と公正な法

④	<p>就職氷河期世代への就職支援 就職支援窓口の対象年齢上限を拡大し、人材マッチングの促進やアウトリーチ※型相談・支援体制を構築するなど、非正規労働者の正社員化や無業者の就労を推進します。 ※アウトリーチ：支援等を必要とする人のもとに出向く方式</p>	<p>⑧成長・雇用 </p>
⑤	<p>企業が求める産業人材の育成 企業の生産性をさらに向上させるため、生産現場で業務改善を進める高度人材を養成・活用するとともに、中小企業産業大学校に「リカレント教育総合支援センター」を開設するなどリカレント教育体制を強化します。</p>	<p>④教育 </p>

【施策6-5】働く人のための「しあわせ働き方改革」を実行

幸せと生産性を両立する働き方改革や勤務条件の改善を進め、日本一社員を大事にする県を目指します。

No.	主な取組み	SDGs
①	<p>社員ファースト企業の拡大 働きやすい職場環境づくりに取り組む企業を支援するとともに、実際に働き方改革を進め成果を上げている企業を認定するなど好事例として広く発信し、「社員ファースト企業」を拡大します。</p>	<p>⑧成長・雇用 </p>
②	<p>柔軟な働き方の促進 長時間労働の是正やテレワーク、テレビ会議の導入促進など、労働者のワークライフバランスの向上や多様な働き方の確保を推進します。</p>	<p>⑧成長・雇用 </p>
③	<p>仕事と妊娠・出産の両立支援の推進（再掲） 男性の育児休業や育児短時間勤務、不妊治療のための休暇制度等の取得を支援するなど、働きながら安心して妊娠・出産できる職場環境づくりに取り組む県内企業を拡大します。</p>	<p>⑤ジェンダー </p>

政策6 地域経済のイノベーション

〔政策目標〕

- 地域内のお金・人・技術等の経営資源が循環する「福井型エコシステム」が構築されていること
- デザインや経営革新により地域産業の稼ぐ力が向上するとともに、誰もが活躍できる就業環境が整備されること
- 持続的に地域産業が発展し、県民生活が向上していること

〔KPI（重要業績評価指標）〕

指標	現状	目標	SDGs
1人当たり県民所得 (福井県民経済計算)	316万円 (2016)	356万円 (2024)	(8)成長・雇用 
製造品出荷額 (工業統計)	2兆1,062億円 (2017)	2兆2,800億円 (2024)	(8)成長・雇用 
創業者数 (福井県調べ)	405人 (2015～2018計)	600人 (2020～2024計)	(8)成長・雇用 
小規模企業支援による売上 向上 (福井県調べ)	—	支援した企業全体で 3%増加 (2024)	(8)成長・雇用 
I o T導入率 (福井県調べ)	8.2% (2018)	27% (2024)	(8)成長・雇用 
就職氷河期世代の正規雇用 者 (就業構造基本調査から県推計)	—	2,000人増加 (2020～2024計)	(8)成長・雇用 

〔関連する主な計画等〕

福井経済新戦略

しあわせアクション ～目標達成への小さな行動(例)～

- 地元の商店街やお店に出かける機会を増やし、お薦めのお店はSNS等でPR
- 県内企業が行う新事業への挑戦に注目し、クラウドファンディングなどで応援
- 幸せに働ける職場をつくるため、従業員の意見をよく聞き、働き方を見直し
- 職場において新たな技術やデザインを積極的に導入

政策7 Society5.0時代の新産業創出

高いものづくり技術を活かした成長産業への進出、新技術を活かした高付加価値産業への転換、企業誘致による新たな分野の企業創出など、様々な可能性への挑戦を地域全体で応援し、魅力ある仕事を創出します。



【重点施策】

ものづくり産業の新市場挑戦プロジェクト

これまで培った繊維の加工技術（世界最薄の炭素繊維シート製造技術）や眼鏡の加工技術（チタン加工技術、金属3D成型技術）などを応用し、今後需要の増加が見込まれる航空・宇宙産業やヘルスケア産業などの分野で世界をリードする技術・製品開発を進め、県内産業の多様化や規模拡大を実現します。

○宇宙産業の拠点化

- ・ 県民衛星「すいせん」の製造、超小型人工衛星の生産・データ利活用の拡大、県内への宇宙産業人材の集積などを通じ、衛星ビジネスの国内拠点を形成

など

○航空機産業への参入支援

- ・ 工業技術センターの支援体制を強化し、県内企業の高いものづくり技術を活かした航空機産業への新規参入を促進
- ・ 航空機産業に携わる県内企業の認知度を向上させ、優秀な人材の県内流入を促進

など

○ヘルスケア産業の育成

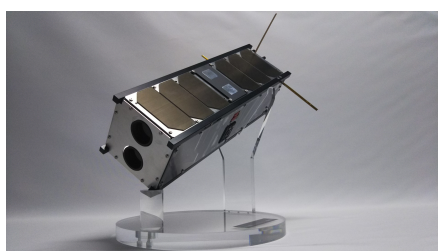
- ・ 生活の質の向上につながる、アスリートのトレーニングから高齢者の筋力維持まで活用できるスポーツロボット、介護ロボットの開発

など

○持続可能な社会を支える分散電源化と新素材の開発

- ・ 産業用から個人用まで幅広く社会を支える、次世代電池など未来型エネルギー技術の開発
- ・ 持続可能な資源有効利用に向けた、自然界で分解する新素材やリサイクル素材の開発

など



超小型人工衛星



航空機エンジン、ボディの部材

政策7 Society5.0時代の新産業創出

【施策7-1】成長産業へのチャレンジ応援





これまで培ったものづくり技術などを応用し、今後需要の増加が見込まれる航空・宇宙産業やヘルスケア産業などの成長分野への進出を応援します。

No.	主な取組み	SDGs
①	宇宙産業の拠点化 県民衛星「すいせん」の製造、超小型人工衛星の生産拡大や衛星データ利活用ソフトウェアの販売促進、県内への宇宙産業人材の集積、国内外の市場開拓等を通じ、新たな宇宙ビジネスの国内拠点を形成します。	(9)イノベーション 産業と技術革新の基盤をつくろう 8 持続可能な消費生活
②	航空機産業への参入促進 工業技術センターの支援体制を強化し、県内企業の高いものづくり技術を活かした航空機産業への新規参入を促進します。	(9)イノベーション 産業と技術革新の基盤をつくろう 8 持続可能な消費生活
③	航空・宇宙産業の人材育成拠点化 東京大学、宇宙航空研究開発機構（JAXA）、民間企業から高度人材を誘致するほか、県内大学において宇宙工学を学べる機会の提供、新興国等からの研修生受入れなど、国内外の人材育成を県内大学・研究機関等で実施します。	(4)教育 質の高い教育をみんなに 8 持続可能な消費生活 9 産業と技術革新の基盤をつくろう
④	ヘルスケア産業の育成 生活の質の向上につながる製品（アスリートのトレーニングから高齢者の筋力維持まで活用できるスポーツロボット、介護ロボット、医療機材等）や地域資源を活かした健康プログラムなどの開発・販路拡大を支援し、成長が見込まれるヘルスケア分野で稼ぐ企業を育てます。	(9)イノベーション 産業と技術革新の基盤をつくろう 3 健全な生活と福祉をすすめる 8 持続可能な消費生活
⑤	持続可能な社会に向けた技術開発の促進 産業用から個人用まで幅広く社会を支える次世代電池など未来型エネルギー技術の開発、持続可能な資源有効利用に向けた自然界で分解する新素材やリサイクル素材の開発など、社会の持続可能性を高める技術開発を推進します。	(9)イノベーション 産業と技術革新の基盤をつくろう 7 持続可能なエネルギー 12 持続可能な消費生活
⑥	オープンイノベーションによる稼ぐ力の強化 産学官金からなる「ふくいオープンイノベーション推進機構」のネットワークを活かし、共同研究プロジェクトを拡大するとともに、その開発成果の製品化や知的財産の保護・活用を推進し、県内企業の稼ぐ力を高めます。	(9)イノベーション 産業と技術革新の基盤をつくろう 8 持続可能な消費生活 17 持続可能な消費生活
⑦	観光の産業化促進 北陸新幹線福井・敦賀開業等による交流人口の拡大をチャンスに、高級ホテルの誘致や宿泊施設、飲食店、体験工房等の整備、まちなか商店街の活性化などを進めることにより県内消費を増やし、観光の産業化を進めます。	(8)成長・雇用 働きがいも経済成長も 9 産業と技術革新の基盤をつくろう 11 持続可能な消費生活

政策7 Society5.0時代の新産業創出

【施策7-2】AI・IoTなど技術革新を活かした新サービスの創出

AI・IoTなどの技術革新を踏まえ、産業の高付加価値化や関連ビジネスの集積を図ります。




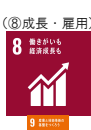
No.	主な取組み	SDGs
①	<p>企業の課題を解決するシステムの研究・開発</p> <p>「ふくいAIビジネス・オープンラボ」において、企業の課題解決のためのシステム開発研究会を設置するほか、IoTによる企業間連携のモデルを実証・構築するなど、ビジネス化を推進します。</p>	<p>(9)イノベーション</p> 
②	<p>Society5.0 関連ビジネスの集積促進</p> <p>電子・デバイス産業などのAI・IoT・ロボット等に関するビジネス拡大や企業誘致により、Society5.0 関連ビジネスの集積を促進します。</p>	<p>(9)イノベーション</p> 
③	<p>AI時代に対応できる人材の育成</p> <p>子どもたちがプログラミングやものづくりに親しむ場を創出し、未来技術に対応できる将来の産業人材を育成します。</p> <p>また、「ふくいAIビジネス・オープンラボ」や「リカレント教育総合支援センター」等において即戦力となる人材を育成します。</p>	<p>(4)教育</p> 
④	<p>未来技術の活用促進</p> <p>5Gを活用したIT環境整備によるテレワークの拡大、自動運転、遠隔診療など、地域課題解決に大きな可能性を持つ未来技術の活用（シビックテック）を推進します。</p>	<p>(9)イノベーション</p> 

政策7 Society5.0時代の新産業創出

【施策7-3】多様な企業誘致の推進

対話型トップセールスにより、高級ホテルやITサテライトオフィス、本社機能など多様な企業の県内立地を促進し、若者や女性を惹きつけるまちやしごとをつくりま




す。

No.	主な取組み	SDGs
①	<p>対話型トップセールスの推進</p> <p>年間1千件の企業訪問を行うとともに、東京、大阪、名古屋で開催する企業立地セミナーでは、知事自らが企業の役員に、向上する立地環境や全国トップレベルの優遇制度を説明し本県への立地を働きかけます。</p>	<p>(8)成長・雇用</p> 
②	<p>人と企業のセット誘致</p> <p>地域の新たな雇用創出を強めるとともに、県外に進学した若者や女性のUターンを促すことができるよう、企業進出にあわせ住環境や働きやすい職場環境の整備を支援するなど、人と企業のセット誘致を推進します。</p>	<p>(8)成長・雇用</p> 
③	<p>産業団地の整備促進</p> <p>テクノポート福井での産業用地の造成を新たに進めるほか、意欲のある市町の行う産業団地の造成事業を支援し、企業立地の受け皿となる産業用地の全県下への配置を進めます。</p>	<p>(9)イノベーション</p> 
④	<p>多様な業種の企業誘致</p> <p>北陸新幹線や中部縦貫自動車道の開通効果を最大限活かすことができるよう、製造業に加え、高級ホテルやITサテライトオフィス、本社機能、データセンター、植物工場など、誘致対象とする業種を拡大するほか、サプライチェーンの国内回帰を進める企業の誘致など、多様な企業の県内立地を推進します。</p>	<p>(8)成長・雇用</p> 

政策7 Society5.0時代の新産業創出

【施策7-4】嶺南Eコストの実現

スマートエリアの整備、廃炉関連産業の育成、試験研究炉を核とした研究・人材育成拠点の形成やイノベーションの創出を進め、人・企業・技術・資金が集まるエリアの形成を目指します。

No.	主な取組み	SDGs
①	<p>スマートエリアの整備や農林水産業のスマート化</p> <p>太陽光発電・蓄電池・HEMS※を搭載したスマートハウスが集まる住宅団地の開発や嶺南地域においてエネルギーを効率的に利用する仕組み(VPP※)の構築、ICT等を活用した農林水産業のスマート化などを促進します。</p> <p>※HEMS(Home Energy Management System): 家庭内のエネルギー使用状況を見える化し、エネルギー使用を制御して省エネ化するシステム</p> <p>※VPP(バーチャルパワープラント:仮想発電所): 多数の小規模な発電所や電力の需要抑制システムをまとめて制御すること。一つ一つは小規模なリソースでも、IT技術を活用・連動することで需給バランスを最適化できる。</p>	<p>(7)エネルギー</p> 
②	<p>デコミッショニング(廃炉)ビジネスの育成</p> <p>県内外の工事参入を目指して、地元企業による連合体の結成を支援するほか、元請企業との情報交換会や電力事業者との共同研究等を充実し、廃炉ビジネスに関する県内企業の技術力を向上します。</p>	<p>(9)イノベーション</p> 
③	<p>新たな試験研究炉の利活用促進</p> <p>県内外の企業が参画する利用推進協議会の設立、県内外の大学等のネットワークの形成、既存の試験研究炉を活用して研究開発を行う県内企業への支援などにより、新たに整備される試験研究炉の利活用を促進します。</p>	<p>(9)イノベーション</p> 

政策7 Society5.0時代の新産業創出

〔政策目標〕

- AI・IoTなどの新技術の導入が進むとともに、新市場を見据えた高付加価値なビジネスが多く生まれていること
- 県内外の若者や女性からも注目される、魅力的で多様な産業が集積する地域となっていること

〔KPI（重要業績評価指標）〕

指標	現状	目標	SDGs
製造業の1人当たり付加価値額 （工業統計から県推計）	1,020万円/人 （2017）	1,173万円/人 （2024）	(9)イノベーション 産業と技術革新の 芽生えをつくらせ 
宇宙産業における県内企業の売上額 （福井県調べ）	2億円 （2018）	23億円 （2024）	(9)イノベーション 産業と技術革新の 芽生えをつくらせ 
ヘルスケア産業売上額 （福井県調べ）	111億円 （2018）	155億円 （2024）	(9)イノベーション 産業と技術革新の 芽生えをつくらせ 
県内企業によるIoT・AI等 を活用したサービス提供数 （福井県調べ）	6件 （2018）	50件 （2020～2024計）	(9)イノベーション 産業と技術革新の 芽生えをつくらせ 
本社機能移転・拡充件数 （福井県調べ）	—	5件 （2020～2024計）	(8)成長・雇用 働きがいも 経済成長も 
嶺南地域においてVPPに 参加する箇所数 （福井県調べ）	—	100箇所 （2024）	(7)エネルギー エネルギーをみんなに そしてクリーンに 
廃止措置工事への県内企業 参入割合 （福井県調べ）	約4割 （2018）	5割 （2024）	(9)イノベーション 産業と技術革新の 芽生えをつくらせ 

政策7 Society5.0時代の新産業創出

〔関連する主な計画等〕

福井経済新戦略、嶺南Eコースト計画

しあわせアクション ～目標達成への小さな行動（例）～

- 家族みんなで福井の産業を紹介するイベントに参加し、優れた企業や技術を学ぶ
- 職場において、積極的に大学や研究機関と連携し、新しい技術や製品を開発
- 子どもたちに県内企業の魅力を伝え、県内就職への選択肢を広げる
- 県内に進出した企業やその社員と職場や地域活動において積極的に交流

政策8 拡大する世界市場をふくいの成長へ

成長する地域や分野など世界市場の動向を見極め、県内企業の新たな海外展開に向けた支援を強化します。また、食や伝統工芸など本物の魅力を海外に売り込むなど、世界市場の拡大を本県の成長につなげます。



【重点施策】

世界市場チャレンジプロジェクト

県海外事務所（上海・バンコク）を拠点に、環日本海諸国やアジアでのビジネス展開をさらに強化するとともに、世界市場において、テーマとターゲット地域、具体的な目標を定め、各種セールス活動を展開する拠点（ミッション型海外事務所）を設置すること等により、県産品の輸出や外国人客の消費拡大など、世界市場の拡大を本県経済の成長につなげます。

○「ミッション型海外事務所」の設置

- ・ 販路開拓など県民・企業のニーズに即した海外の特定地域にミッション型海外事務所を設置

〔設置候補〕 フランスに県産品等の販路拡大を目的とした事務所を設置 など
アメリカにクルーズ客船誘致を目的とした事務所を設置 など

○県産品の輸出拡大

- ・ 中国向け越境ECサイトに設置した「福井館」への参加促進、他国への設置拡大検討
- ・ 営業代行の設置や商談会の開催により福井の食や食文化を発信 など

○港を活かした貿易の拡大、海外クルーズ客船の誘致

- ・ 新規航路の開拓等による環日本海・アジアを結ぶ物流ネットワークの構築や、災害時の危機管理に対応するための利用の促進など、敦賀港・福井港の貿易を拡大
- ・ クルーズ展示会出展などプロモーション活動の継続・強化により、欧州の豪華客船や中国発着の超大型客船など、多様なクルーズ客船を段階的に誘致
- ・ クルーズターミナル機能の強化に必要なハード整備を検討 など

○インバウンドの拡大

- ・ キャッシュレス、Wi-Fi、免税店や案内標識の多言語化など受け入れ環境の充実
- ・ 新規市場を含め国・地域ごとのニーズに応じたSNS等によるプロモーションや外国人向けの体験プログラムの開発を促進 など



海外での商談会


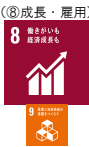



海外クルーズ客船へのおもてなし

政策8 拡大する世界市場をふくいの成長へ

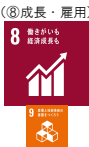
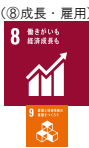
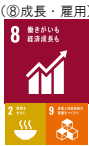
【施策8-1】海外ネットワークの新展開

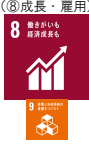



県海外事務所に加え、「ミッション型海外事務所」の設置やジェットロ等との連携により、世界市場につながる本県の海外ネットワークを充実・強化します。

No.	主な取組み	SDGs
①	<p>アジア・環日本海諸国でのビジネス展開の強化</p> <p>本県と経済的な結び付きの強いアジア・環日本海諸国において、経済交流をさらに発展させるため、県海外事務所（上海・バンコク）を拠点に、新分野での進出支援、農産物の販路開拓、インバウンド誘客、定期航路の誘致、人材の確保など、多方面でのビジネス展開を推進します。</p>	<p>⑧成長・雇用</p> 
②	<p>「ミッション型海外事務所」の設置</p> <p>販路開拓など県民・企業のニーズに即した海外の特定地域に、テーマとターゲット地域、具体的な目標を定め、各種セールス活動を展開する拠点「ミッション型海外事務所」を設置します。</p>	<p>⑧成長・雇用</p> 
③	<p>海外ネットワークの活用</p> <p>県内企業の海外ビジネス相談窓口「ふくいグローバルビジネスプラザ」を核として、県海外事務所、日本貿易振興機構（JETRO）等の海外ネットワークを活用し、東南アジア、インド、アフリカなど、今後、市場としての成長が見込まれる新興国の最新の現地情報を収集、県内企業に提供します。</p>	<p>⑧成長・雇用</p> 

【施策8-2】福井の文化や食を活かした海外売り込みの強化




食や伝統工芸など福井の本物の魅力を発信することにより、県内企業の販路開拓やインバウンド誘客を促進します。

No.	主な取組み	SDGs
①	<p>越境ECの活用</p> <p>中国向け越境ECサイトの福井県プラットフォーム「福井館」に加え、中国以外のサイトの状況を調査し、さらなる立ち上げを検討するなど、越境ECを通して、世界の様々な国で県産品を販売します。</p>	<p>⑧成長・雇用</p> 
②	<p>海外展開の支援強化</p> <p>現地販売拠点の設置や国内外の展示会への出展、商談会の開催など、海外との接点を充実し、伝統工芸・繊維・眼鏡など県産品の販路開拓や県内企業の海外進出等を推進します。</p>	<p>⑧成長・雇用</p> 
③	<p>「ふくいの食」の輸出拡大（再掲）</p> <p>県内事業者の輸出を拡大するため、営業代行の設置や商談会の開催により、アジア諸国を中心に福井の食や食文化を発信し、新たな販路を開拓します。</p>	<p>⑧成長・雇用</p> 

④	<p>港を活かした貿易拡大</p> <p>日本海側の中心にある地理的優位性を最大限活かし、新規航路の開拓等による環日本海・アジアを結ぶ物流ネットワークの構築や、災害時の危機管理に対応するための利用促進などを進め、敦賀港・福井港を活かした貿易を拡大します。</p>	<p>(8)成長・雇用</p> 
⑤	<p>海外クルーズ客船の誘致</p> <p>クルーズ展示会出展などプロモーション活動の継続・強化やクルーズターミナル機能の強化に必要なハード整備の検討を進め、豪華客船や超大型客船など、多様なクルーズ客船を段階的に誘致します。</p>	<p>(8)成長・雇用</p> 
⑥	<p>インバウンドの拡大</p> <p>Wi-Fi、キャッシュレス、多言語化など受入れ環境を充実するとともに、国・地域ごとのニーズに応じたSNS等によるプロモーションや外国人向け体験プログラムの開発などを促進し、インバウンドを拡大します。</p>	<p>(8)成長・雇用</p> 
⑦	<p>東京オリ・パラ等を活かした発信</p> <p>東京や関西の観光団体等と連携したPRを実施することにより、東京オリンピック・パラリンピックや関西ワールドマスターズゲームズ、大阪・関西万博などで増加するインバウンドを本県に誘客します。</p>	<p>(8)成長・雇用</p> 

【施策8-3】国際交流の推進

歴史的につながりの深い環日本海諸国や経済交流が進む東南アジア諸国、欧米諸国等と、地域や民間レベルでの交流を進め、グローバル化に対応した国際人材の育成等を図るとともに、交流の基盤を企業の海外展開や誘客に活かします。

No.	主な取組み	SDGs
①	<p>青少年交流や地域間交流の推進</p> <p>これまで交流を行ってきた中国浙江省、ドイツハールブルク郡ヴィンゼン市、米国フィンドレー市など各地域において、国や自治体国際化協会（CLAIR）の事業も活用し、次代を担う青少年の相互派遣や研修生の受入れなど人的交流や経済・教育・文化分野等における地域間交流を推進します。</p>	<p>(17)パートナーシップ</p> 
②	<p>留学生や県内企業に勤務する外国人等を通じた交流推進</p> <p>海外からの留学生や県内企業に勤務する外国人、海外在住経験を持つ県民に、その知識、経験等を各分野における交流の拡大に活かしてもらうとともに、帰国後もつながりを継続し、互いのメリットとなる交流を推進します。</p>	<p>(17)パートナーシップ</p> 
③	<p>国際協力の推進</p> <p>観光や食など、分野を絞った海外からの研修生の受入れや、国際協力機構（JICA）と連携した中小企業のアジア等開発途上国への進出支援など、経済交流を見据えた国際貢献・海外展開を推進します。</p>	<p>(17)パートナーシップ</p> 

政策8 拡大する世界市場をふくいの成長へ

〔政策目標〕

- 世界市場につながるネットワークが充実・強化され、海外との人・物・情報の往来が活発化していること
- 様々な分野でグローバル化に対応した国際人材が活躍して海外からの注目を集め、世界市場を取り込んでいること

〔KPI（重要業績評価指標）〕

指標	現状	目標	SDGs
県輸出額 （福井県の貿易）	1,861 億円 （2017）	2,000 億円 （2024）	(8)成長・雇用 
新規輸出件数 （福井県調べ）	50 件 （2014～2018 平均）	80 件 （2024）	(8)成長・雇用 
越境ECサイトへの出店企業 （福井県調べ）	— （2018）	60 社 （2024）	(8)成長・雇用 
海外機関等との交流や協力関係の構築 （福井県の国際化の現状）	253 件 （2018）	360 件 （2024）	(17)パートナーシップ 
アジアへの農林水産物・食品輸出額 （福井県調べ）	8 億円 （2017）	22 億円 （2024）	(8)成長・雇用 
クルーズ客船寄港回数 （福井県調べ）	5 回 （2018）	10 回 （2024）	(8)成長・雇用 

〔関連する主な計画等〕

福井経済新戦略、新ふくいの農業基本計画、ふくい観光ビジョン
FIRST291～北陸新幹線開業プラン～

しあわせアクション ～目標達成への小さな行動（例）～

- 自社の県産品の海外への売り込みに積極的にチャレンジ
- 海外クルーズ客船の乗船客など海外旅行者に対する心のこもったおもてなし
- 国際交流関連イベントや在住外国人との交流活動に積極的に参加

Ⅲ 楽しみを広げる（創造力）

～多彩な魅力で交流拡大。交通新時代の活力の創出～

北陸新幹線の福井・敦賀開業とその後続く大阪までの全線開業は、100年に一度のチャンスです。

高速交通網の整備やまちづくりなど交流基盤の整備を進めるとともに、都市圏でのプロモーションや観光地の磨き上げなど福井・敦賀開業に向けた準備を全力で実行します。

また、文化・スポーツを仕掛けとした交流拡大など、楽しくおもしろい、新時代のまちづくりを進めるとともに、「攻め」の移住政策への転換や「関係人口」を増やす新たな仕組みをつくり、移住・定住を拡大します。

〔実行する政策〕

政策9 100年に一度のまちづくり

- 【施策9-1】北陸新幹線など高速交通網の整備促進
- 【施策9-2】新幹線駅周辺のまちづくり
- 【施策9-3】地域の新交通システムの構築
- 【施策9-4】飛躍するふくいを支える基盤の整備・活用
- 【施策9-5】「WAKASAリフレッシュエリア」の形成

政策10 北陸新幹線開業効果を最大化

- 【施策10-1】観光客の心をつかむ魅力づくり
- 【施策10-2】ふくいブームの創出
- 【施策10-3】世界を魅了するインバウンド強化
- 【施策10-4】すべての人が満足できる観光環境づくり
- 【施策10-5】観光産業化の基盤づくり

政策11 人が人を呼ぶ、移住・定住新戦略

- 【施策11-1】産学官連携による学生の県内就職の促進
- 【施策11-2】都市部への「攻め」の移住政策
- 【施策11-3】関係人口の創出・拡大

政策12 文化・スポーツがふくいの活力

- 【施策12-1】歴史ミュージアムふくいの発信
- 【施策12-2】デザイン・アートなど「若者・よそ者」が集まるまちづくり
- 【施策12-3】スポーツによるまちづくり・交流人口拡大

政策9 100年に一度のまちづくり

北陸新幹線などの高速交通網の整備にあわせ、新幹線駅周辺のまちづくりや二次交通の整備を進めます。また、県内外との交流を拡大する県境フロンティア政策を推進します。



【重点施策】

新幹線ゲートウェイ開発プロジェクト

北陸新幹線福井・敦賀開業とその後の大阪までの全線開業は100年に一度のチャンス。福井・敦賀開業にあたって県内に4つの駅（福井駅、芦原温泉駅、南越（仮称）駅、敦賀駅）ができる機会を活かし、市町とともに人・モノ・資金が集まり活力に溢れるまちをつくりまします。

○芦原温泉駅

- ・東尋坊、あわら温泉など県北部の主要観光地等への二次交通の充実
- ・西口駅前広場にホール、広場、観光案内所・魅力体感施設を整備し、にぎわいを創出
- ・西口立体駐車場を整備し、周辺地域からの駅利用者や駅前広場でのイベント参加者等の利便性を向上
など

○福井駅

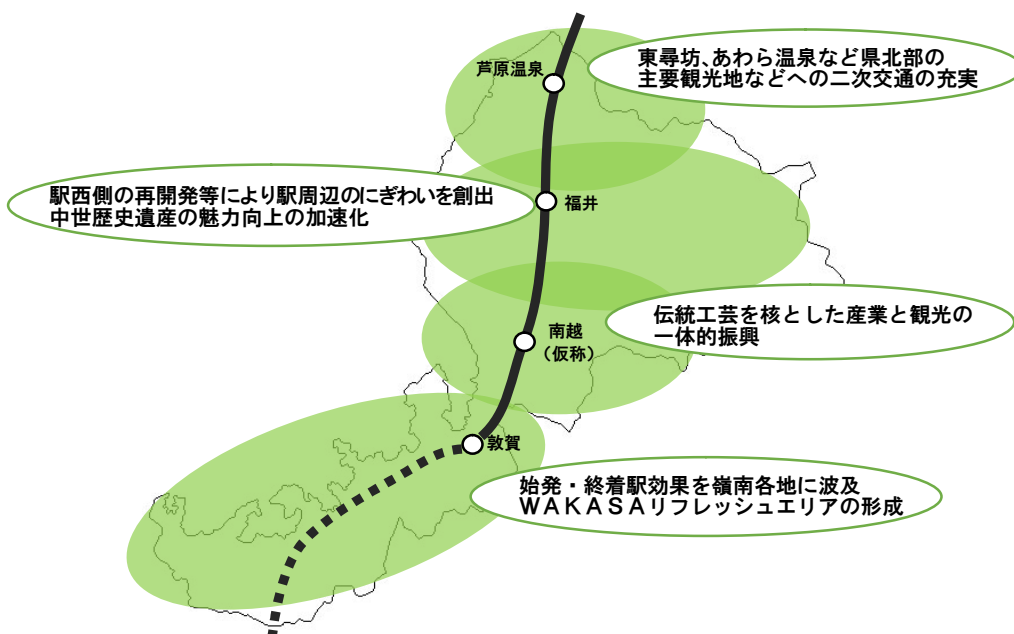
- ・駅西側の再開発を推進するとともに、福井市や経済界等と協働し、駅周辺のにぎわいを創出
- ・福井城址公園について県庁舎も含め将来のあり方を検討
- ・一乗谷朝倉氏遺跡など主要観光地等への二次交通を充実
- ・県内全域を対象とする観光案内所、カフェ・展示・交流スペース、レンタサイクル等からなる東口拡張施設を整備し「誰もが憩えるおもてなしの空間」を創出
など

○南越（仮称）駅

- ・伝統工芸を核とした産業と観光の一体的振興、観光地・周辺市町との交通ネットワークを整備
- ・北陸自動車道武生インターチェンジや国道8号に近接した立地特性を活かし、広域的な交通拠点、交流起点となるよう、「道の駅」や多目的広場、アクセス道路などを整備
など

○敦賀駅

- ・JR小浜線と主要観光地を結ぶバスの運行などにより、北陸新幹線の始発・終着駅効果を嶺南各地に波及
- ・関西至近の地の利を活かし、週末居住や微住を楽しむ「WAKASAリフレッシュエリア」を形成
- ・駅西地区に知育・啓発機能をはじめ、宿泊、飲食・物販、広場、子育て支援などの機能を導入した施設を官民連携により整備
- ・新幹線駅前広場に加え、緑化空間など快適な空間を整備
など



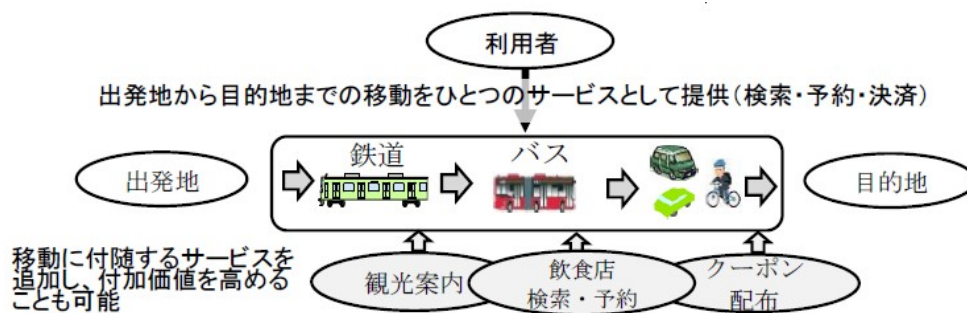
○県内公共交通機関の利便性向上

- ・新幹線開業に向け、地域の鉄道ダイヤを充実させるとともに、路線バスに加え、コミュニティバスやタクシーを活用し、交通網を充実
- ・JR北陸本線は地域に密着した県民鉄道へと一新し、生活や交流の基点としてサービスを提供
- ・公共交通機関のダイヤやルート等をオープンデータ化し、県外からも経路を検索できる環境を整備
- ・ICカードやQRコードなどによるキャッシュレス化を推進 など

○MaaSによる主要交通拠点と観光地のネットワーク化

- ・県外からの観光客に対して、鉄道やバスなど観光地までのルート検索、予約・決済のほか、観光施設、宿泊施設など地域と連携したサービスを一体的に提供する観光型MaaS[※]を構築 など

※MaaS (Mobility as a Service) : 一人ひとりの移動ニーズに応じて、複数の公共交通やそれ以外の移動サービスを最適に組み合わせ、検索・予約・決済等を一括で行うことを可能とするサービス



出典：国土交通省資料

政策9 100年に一度のまちづくり

【施策9-1】北陸新幹線など高速交通網の整備促進

北陸新幹線や中部縦貫自動車道など、高速交通網の整備を促進します。

No.	主な取組み	SDGs
①	北陸新幹線の整備促進 2022（令和4）年度末までの北陸新幹線福井・敦賀開業の確実な実現と、切れ目ない敦賀・新大阪間の工事着手による早期全線開業を、関西をはじめ沿線自治体と一体となって政府・与党に強く要請します。	⑪まちづくり 11 住み続けられるまちづくりを 9 産業と雇用を創出
②	福井・敦賀開業時の利便性確保 全線開業までの間、敦賀駅において新幹線と特急との乗換えが生じることから、敦賀駅発着のすべての新幹線と乗り継げる特急の確保などによる利用者の利便性確保を政府・与党、JR等に強く要請します。	⑪まちづくり 11 住み続けられるまちづくりを 9 産業と雇用を創出
③	高規格幹線道路の整備促進 北陸新幹線福井・敦賀開業と同時期に、中部縦貫自動車道大野油坂道路の開通が実現できるよう整備を促進します。 また、舞鶴若狭自動車道（舞鶴東～小浜西間）の付加車線整備を促進します。	⑪まちづくり 11 住み続けられるまちづくりを 9 産業と雇用を創出

【施策9-2】新幹線駅周辺のまちづくり







福井駅をはじめとする新幹線駅周辺のまちづくりを市町等と協働し推進します。

No.	主な取組み	SDGs
①	県都のまちづくり 北陸新幹線福井・敦賀開業に向けた県都の玄関口に必要な都市機能の集積や、まちなか居住の推進、商業施設の充実等を図る民間主導の再開発を支援するとともに、福井城址公園の将来のあり方や駅周辺のにぎわい創出に向けた方策を福井市や経済界などとともに検討します。	⑪まちづくり 11 住み続けられるまちづくりを 9 産業と雇用を創出
②	新幹線駅周辺の整備 バスやタクシーなど二次交通の出発拠点となる交通広場や駐車場などの整備に加え、各地域の特長を活かしたにぎわい空間の整備を進めます。（芦原温泉駅、南越（仮称）駅、敦賀駅） 北陸新幹線大阪延伸に伴う新駅設置を見据え、まちづくりの構想や計画を策定します。（小浜市（東小浜）附近駅）	⑪まちづくり 11 住み続けられるまちづくりを 9 産業と雇用を創出
③	新幹線駅のアクセス道路を整備 新たな新幹線駅へつながる道路整備を市町と連携して推進し、円滑な駅へのアクセスを確保します。 【芦原温泉駅】芦原温泉停車場北野線、芦原温泉停車場線 【南越（仮称）駅】南越駅線、武生インター線 【敦賀駅】敦賀駅東線	⑪まちづくり 11 住み続けられるまちづくりを 9 産業と雇用を創出

政策9 100年に一度のまちづくり

【施策9-3】地域の新交通システムの構築

二次交通を充実し、北陸新幹線福井・敦賀開業により訪れる人を県内全域に招き入れるとともに、拡大する人の流れを地域交通の維持・確保に活かします。

No.	主な取組み	SDGs
①	<p>主要交通拠点からの二次交通の充実 多言語案内標識など環境整備を進めるとともに、新幹線駅などと観光地をネットワーク化し、利便性向上を図ります。 また、鉄道、バス、レンタサイクルなどの様々な移動サービスを一体的に提供する観光型Maasを構築します。</p>	<p>⑪まちづくり</p> 
②	<p>持続可能な交通ネットワークの構築 路線バスやコミュニティバスに加え、地域住民が自ら行う独自のバス運行等をきめ細かく支援し、地域住民の移動手段の確保と来県者の利用を促進します。また、永平寺「参ろ一ど」における自動走行の早期実用化と安定した運行を支援するほか、シェアサイクルや「自転車の駅」など自転車利用の環境整備を進めます。</p>	<p>⑪まちづくり</p> 
③	<p>地域鉄道の運行への支援 地域鉄道事業者（福井鉄道・えちぜん鉄道）が実施する安全・安定運行に必要な設備更新や増強等について支援します。</p>	<p>⑪まちづくり</p> 
④	<p>並行在来線の開業・運営 2023（令和5）年春の開業に向け、安全・安定運行を確保するための体制や運営会社の経営を支えるスキームを構築します。開業後は、通勤・通学に配慮したダイヤ編成や新駅の設置など利便性を高め、地域に密着した県民鉄道へと一新するとともに、観光・イベント列車の運行などにより来県者の県内周遊を促します。</p>	<p>⑪まちづくり</p> 
⑤	<p>並行在来線会社と地域鉄道の連携 並行在来線会社と地域鉄道事業者（福井鉄道・えちぜん鉄道）が連携し、経営の効率化や利便性の向上に取り組みます。</p>	<p>⑪まちづくり</p> 
⑥	<p>JR小浜線・越美北線の利便性を向上 沿線市町やJR西日本とともに、小浜線・越美北線の利便性向上策を検討、実施し、持続可能性を高めるとともに新幹線の二次交通としての利用を促進します。</p>	<p>⑪まちづくり</p> 

政策9 100年に一度のまちづくり

【施策9-4】飛躍するふくいを支える基盤の整備・活用

大交流化時代の産業基盤を確固にし、くらしの質を高め、活力に満ちた地域をつくるため、幹線道路の整備や港湾機能の強化など社会インフラの構築とその活用を図ります。

No.	主な取組み	SDGs
①	主要幹線道路ネットワークの構築 国道8号や福井港丸岡インター連絡道路、国道417号冠山峠道路をはじめとする地域高規格道路や県境を越える国道など、産業経済活動や県内外の交流拡大につながる広域的な幹線道路ネットワークの整備を推進します。	(⑩まちづくり) 11 住み続けられるまちづくりを 9 産業と雇用を
②	地域をきずく道づくりの推進 観光・物流・産業等の交流拡大や地域間の連携促進のため、福井森田丸岡線（新九頭竜橋）や国道365号梅浦バイパス等の地域生活に直結する道路整備を推進し、物流・交流拠点へのアクセス機能を強化します。	(⑩まちづくり) 11 住み続けられるまちづくりを 9 産業と雇用を
③	道の駅等の整備促進 観光リゾートエリアの玄関口となり、周遊・滞在および情報発信の拠点となる「恐竜渓谷かつやま」、「越前おおの 荒島の郷」、「南越（仮称）駅」等の道の駅や、南条サービスエリアにおける地域振興施設の整備を促進します。	(⑧成長・雇用) 8 産出物も増やそう 9 産業と雇用を 11 住み続けられるまちづくりを
④	港湾機能の強化による物流・人流の活性化 敦賀港の鞠山南国際物流ターミナルの拡張や、福井港の北防砂堤の延伸等により港湾機能を強化するとともに、新たな企業進出の促進や新規航路の開拓、海外クルーズ客船の誘致を進め、物流・人流の拡大を図ります。	(⑩まちづくり) 11 住み続けられるまちづくりを 9 産業と雇用を
⑤	港のにぎわい創出 地域や観光地のにぎわいをもたらすため、地元市町や関係団体と協力し、海外クルーズ客船の受入れ環境整備やレクリエーション・イベント等での港湾施設の利活用を推進し、域内消費・交流人口の増加を目指します。	(⑩まちづくり) 11 住み続けられるまちづくりを 9 産業と雇用を
⑥	福井空港の活用 警察本部や防災航空隊、ドクターヘリの活動拠点としての利用に加え、宇宙航空研究開発機構（JAXA）等の航空技術の実証実験場としての活用を進めます。	(⑩まちづくり) 11 住み続けられるまちづくりを 9 産業と雇用を 13 気候変動に具体的な対策を
⑦	小松空港の利用促進 石川県と連携して、国際線の利用促進と新規需要の開拓を行うとともに、県民向けプロモーションを実施するなど県民の利用を促進し「福井の空の玄関口」である小松空港の利便性向上を図ります。	(⑩まちづくり) 11 住み続けられるまちづくりを 9 産業と雇用を 17 持続可能な開発を
⑧	コンパクトな都市づくりの推進 人口減少下でも快適な生活や持続可能な都市機能を確保するため、県都市計画マスタープランを改定するとともに、関係市町と協働し、実状に応じた都市機能の集約や居住の誘導により、都市のコンパクト化を促進します。	(⑩まちづくり) 11 住み続けられるまちづくりを
⑨	高速通信による超スマート社会の実現 誰もが等しく高速通信網を利用できるようにするため、光ファイバーなどの通信エリア拡大を通信事業者等に働き掛けるほか、県内における次世代通信の実証実験を行うなど、高速通信網を導入・活用できる環境を整備します。	(⑩まちづくり) 11 住み続けられるまちづくりを 9 産業と雇用を

政策9 100年に一度のまちづくり

〔施策9-4-①②関連（中長期的な道路の姿）〕

交通新時代の道路ネットワークの構築

北陸新幹線福井・敦賀開業による立地条件の向上にあわせ、産業経済活動の基盤となる道路の整備を推進し、物流、産業、観光等を拡大・活性化します。

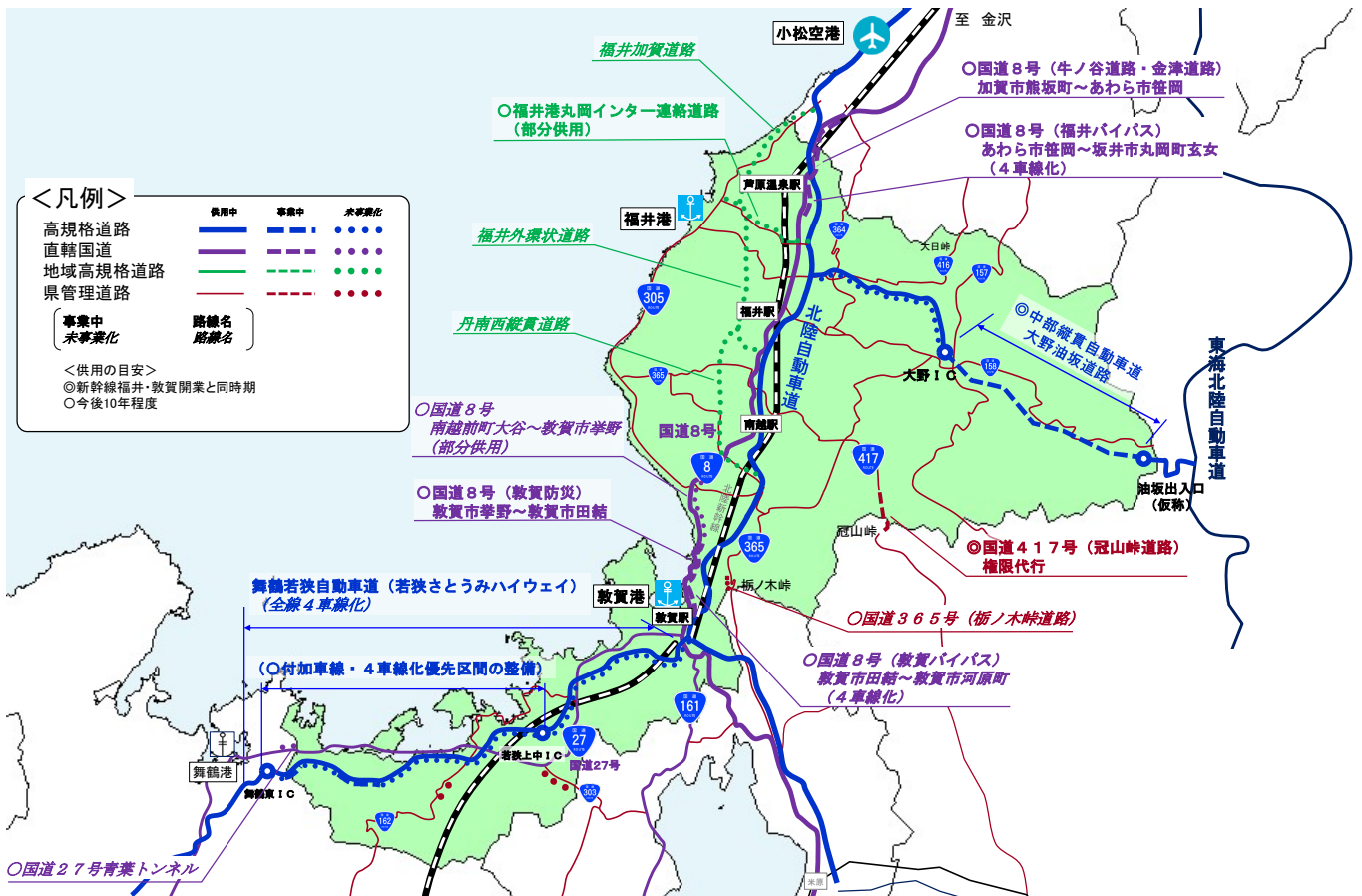
〇県土の骨格を形成する幹線道路ネットワークの構築

- ・ 中部縦貫自動車道の整備促進
- ・ 舞鶴若狭自動車道の全線4車線化
- ・ 福井港丸岡インター連絡道路などの地域高規格道路の整備促進
- ・ 国道8号など直轄国道や国道417号冠山峠道路など県境を越える広域道路の整備促進 など

〇地域間の拠点をつなぐ幹線道路や身近な生活道路の整備推進

- ・ 新幹線駅や港湾、主要観光地等へのアクセス道路の整備
- ・ 企業立地や立地企業の規模拡大による交通需要の拡大に対応する道路など、産業経済活動を支援する道路整備
- ・ 市街地の幹線道路の渋滞緩和につながる道路整備
- ・ 代表的観光地等を結び周遊・滞在型観光を促進する道路整備 など

県土の骨格を形成する幹線道路ネットワークの整備



※道路整備に係る計画については、2020年度に道路の将来ビジョンの改定および道路整備プログラムの策定を予定

政策9 100年に一度のまちづくり

〔施策9-4-④⑤関連（中長期的な港湾の姿）〕

産業基盤を支える港湾機能の強化

玄関口である港の整備により、新たな企業進出や交流拡大を生み出し、地域経済の活性化と好循環を実現します。

○【敦賀港】先端技術を導入した高効率な次世代の日本海側ターミナル港へ

- ・ 鞠山南国際物流ターミナルを拡張し、港湾機能を強化
- ・ 次世代型高規格ユニットロードターミナル化
- ・ 新規航路の開拓や海外クルーズ客船の誘致

など



※敦賀港の将来計画については、2021年度に港湾計画を改訂予定

○【福井港】中京圏とのアクセス向上を活かした地域経済の活力を生み出す拠点港へ





- ・ 大型船に対応できる航路の幅、水深の確保
- ・ 将来の港湾用地や産業用地の造成に浚渫砂を活用
- ・ 新たな企業進出の促進、防波堤等の多目的利用による誘客



政策9 100年に一度のまちづくり

【施策9-5】「WAKASAリフレッシュエリア」の形成

将来の北陸新幹線大阪開業に向け、関西への近接性を活かして、まちづくりや産業のプレイヤーを呼び込み、文化的・健康的に暮らせる生活エリアの形成を目指します。



No.	主な取組み	SDGs
①	<p>都市との近接性を活かしたライフスタイル先進地の形成 移住・定住や二地域居住に向けたスマートエリアづくりを進めるなど、関西に通勤し、または嶺南で創造的に働きながら、文化的・健康的に暮らせる生活エリアをつくります。</p>	
②	<p>まちづくりや産業のプレイヤーの育成・誘致 住まいと仕事をセットにした移住支援、チャレンジショップやシェアオフィス棟の整備、学生の長期滞在型キャンプの開催など、地域・住民とともに、新しい地域づくりやビジネスにチャレンジする人を育成・呼び込みます。</p>	
③	<p>リフレッシュコンテンツの充実 海湖や歴史等のWAKASAの魅力を楽しみ、リフレッシュできる施設・体験プログラムを充実します。</p>	
④	<p>玄関口の形成と地域交通ネットワークの強化 北陸新幹線の新大阪までの早期整備、Maasや自動運転バスなど先端技術を活用した二次交通の導入検討など、より短時間で近畿圏から往来・エリア内を移動できるインフラの整備を推進します。</p>	

政策9 100年に一度のまちづくり

〔政策目標〕

- 北陸新幹線福井・敦賀開業や中部縦貫自動車道の開通などにあわせ、新幹線駅周辺のまちづくりや道の駅等の交流拠点が整備されていること
- 観光型Ma a Sや並行在来線など地域の新交通システムが整備されていること
- 国内外からの交流が増加し、にぎわいにあふれるまちがつけられていること

〔KPI（重要業績評価指標）〕

指標	現状	目標	SDGs
公共交通機関利用者数 （福井県調べ）	2,038 万人 （2018）	2,119 万人 （2024）	 ⑪まちづくり 住み続けられるまちづくりを
道路改良済延長（県管理） （福井県調べ）	1,505 km （2018）	1,524 km （2024）	 ⑪まちづくり 住み続けられるまちづくりを
敦賀港の取扱貨物量 （港湾統計）	15,523 千トン （2014～2018 平均）	17,000 千トン （2024）	 ⑧成長・雇用 働きがいも経済成長も

〔関連する主な計画等〕

県都デザイン戦略、福井県高速交通開通アクション・プログラム
 嶺南地域公共交通網形成計画、福井県自転車活用推進計画
 道路の将来ビジョン、福井県都市計画マスタープラン
 敦賀港港湾計画、福井港港湾計画
 福井経済新戦略

しあわせアクション ～目標達成への小さな行動（例）～

- 通勤・通学など外出の際には、クルマをできるだけ使わず電車やバスなどの公共交通機関や自転車を利用
- 移動に困っている近所の高齢者を病院やスーパーまで送迎
- 中部縦貫自動車道や舞鶴若狭自動車道など高速道路を積極的に利用
- 玄関口となる新幹線駅周辺をきれいにし、来県者をおもてなし
- 道路の美化に協力するとともに、異変を見つけたら行政に速やかに連絡

政策10 北陸新幹線開業効果を最大化

北陸新幹線福井・敦賀開業や中部縦貫自動車道の県内全線開通に向け、誘客プロモーションによるふくいブームの創出や観光地の磨き上げ、インバウンド誘客などを集中的に実行し、新幹線開業効果を最大化します。



【重点施策】

観光リゾートエリア形成プロジェクト

国内外から多くの観光客を呼び込むため、恐竜、自然、食、伝統工芸など、本県の唯一無二の地域資源を磨き上げ、北陸新幹線の各駅や中部縦貫自動車道の各インターを玄関口としたリゾートエリアを形成します。

○恐竜博物館、東尋坊、丹南伝統的工芸品産地、三方五湖、若狭湾など、人を惹きつける観光地をさらにスケールアップ

- ・ 恐竜博物館をオールシーズン体験可能な施設にフルモデルチェンジし、映像やライブショーなど体感型の機能を強化
- ・ 長尾山総合公園内や県内・市内の観光地・体験施設との周遊券を設定
- ・ 恐竜ホテルや恐竜列車など恐竜を素材とした宿泊施設・二次交通の充実等
- ・ 東尋坊周辺において、絶景を楽しむ仕掛けやアクティビティの導入、エグゼクティブ層向けのリゾートホテルや厳選食材が楽しめるオーベルジュを誘致するなど、宿泊・滞在を促進
- ・ 丹南伝統的工芸品産地において、体感型マーケットや伝統工芸士による解説など、本物の伝統工芸を体験できるメニューを整備
- ・ 三方五湖周辺において、五湖を巡る遊覧船の整備、サイクルツーリズムの推進、民宿のおもてなし向上など、観光客の周遊・滞在を促進
- ・ 若狭湾沿岸において、海辺の体験プログラムの充実、飲食・宿泊施設等の受入環境の整備を進め、海や港に親しむリゾート空間を形成
など



恐竜博物館






東尋坊商店街

政策10 北陸新幹線開業効果を最大化

【施策10-1】観光客の心をつかむ魅力づくり






観光リゾートエリアの形成など本県の観光資源の魅力を高めるとともに、食の発信や観光列車の運行などを推進し、誘客を拡大します。

No.	主な取組み	SDGs
①	<p>恐竜博物館のフルモデルチェンジ 恐竜博物館をオールシーズン体験可能な施設にフルモデルチェンジし、映像やライブショーなど体感型の機能を強化するとともに、他の観光地・体験施設との周遊券設定、ホテルにおける恐竜ルームやロビーの改修、恐竜列車など新たなコンテンツ開発、県内各地への恐竜モニュメントの設置などにより、誘客を拡大します。</p>	
②	<p>東尋坊周辺のスケールアップ 絶景を楽しむ仕掛けや体験プログラムの導入、富裕層向けのリゾートホテルや厳選食材が楽しめるオーベルジュ※の誘致など、東尋坊周辺のスケールアップを図ります。 ※オーベルジュ：宿泊設備を備えたレストラン</p>	
③	<p>丹南伝統的工芸品産地の誘客拡大 5つの伝統的工芸品産地や眼鏡・繊維といった地場産業が集積する全国屈指のものづくり集積地の特徴を活かし、産業観光イベントの開催や本物の伝統工芸を体験できるメニューの充実を図るなど、クラフトツーリズムを拡大します。</p>	
④	<p>三方五湖周辺など嶺南地域の魅力拡大 三方五湖周辺において、五湖を巡る遊覧船の整備、サイクルツーリズムの推進など観光客の周遊・滞在を促進するほか、若狭湾沿岸において、海辺の体験プログラムの充実、飲食・宿泊施設等の受入環境の整備を進めるなど、嶺南地域の魅力を高めます。</p>	
⑤	<p>世界に通用する福井の食・食文化による誘客拡大 一流料理人等による地元食材を活かした質の高い食の提供、ターゲット層のニーズにあわせたメニューの充実、本県の食・食文化の奥深さを伝える体験プログラムの造成など、食を目的とする観光を推進します。</p>	
⑥	<p>移動を楽しむコンテンツの開発 「恐竜」、「戦国」、「食」などをテーマとした観光列車や観光バスの導入、景勝地を通るサイクリングコースの整備、車窓から眺める里山里海湖等の景観整備など、移動が楽しくなるコンテンツづくりを進めます。</p>	
⑦	<p>観光を楽しむ・滞在したくなる仕掛けづくり 戦国武将や伝統工芸、食等をテーマにしたストーリー性のある県内周遊ルート提案、自然等を活かした本県ならではの体験メニューの充実などにより、周遊・滞在を促進します。また、宿泊につながる「イルミネーションエリア」の創出や、自然を活かした体験プログラムの導入によるスキー場の通年活用など、ニーズに合った新たな取組みを進めます。</p>	
⑧	<p>MICE※、教育旅行の目的地としての魅力向上 会議と観光のパッケージ提案や、他では経験できない伝統工芸や自然と触れ合う体験プログラムの提供などにより、MICE、教育旅行の誘致を推進します。 ※MICE：Meeting(会議)、Incentive Tour(招待旅行)、Convention(学会)、Exhibition(展示会)の略</p>	

⑨	<p>開業・開通効果をも高める記念イベントの開催</p> <p>新幹線開業時の「ウエルカムイベント」、中部縦貫自動車道開通時の記念誘客イベント、恐竜博物館のフルモデルチェンジや一乗谷朝倉氏遺跡博物館（仮称）の開館を記念する特別展など、大型イベントを開催し、開業・開通効果を高めます。</p>	<p>⑧成長・雇用</p> 
⑩	<p>福井を舞台とした映画・ドラマ等の誘致</p> <p>本県を舞台とするNHK大河ドラマ・朝ドラ等の実現に向けて誘致活動を強化するとともに、フィルムコミッションを設立し、話題性のある映画やドラマ等を誘致し、本県の知名度向上や誘客拡大を推進します。</p>	<p>⑧成長・雇用</p> 
⑪	<p>多様な宿泊形態の充実</p> <p>あわら温泉の魅力向上、世界的な高級ホテルや地域の食材を提供するオーベルジュの誘致、ホテルにおける恐竜や伝統工芸をテーマにした客室やロビークーの改修、自然や食を体験できる農家・漁家民宿の充実など、観光客のニーズに沿った多様な宿泊環境を整備し、県内での宿泊旅行を促進します。</p>	<p>⑧成長・雇用</p> 

【施策10-2】ふくいブームの創出

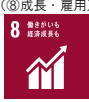
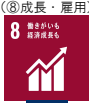

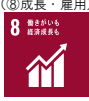
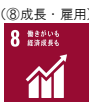
北陸新幹線福井・敦賀開業に向けた集中的なプロモーションやブランド力の強化などにより、ふくいブームを創出します。

No.	主な取組み	SDGs
①	<p>新幹線開業に向けた情報発信の強化</p> <p>新幹線開業をアピールするキャッチコピー・ロゴを新たに作成し、オールふくいでも統一的にアピールするほか、ふくいブランドを活用して、「本物」に触れるイベントを核に各種メディアで情報を拡散するプロモーションを展開するなど、ふくいファンを拡大するため、徹底的な情報発信を行います。</p>	<p>⑧成長・雇用</p> 
②	<p>個々の資源の付加価値・ブランド力の向上</p> <p>県民参加型プロジェクトの実施などを通じ、恐竜や永平寺、鯖街道などの地域資源一つ一つについて、知的好奇心を刺激するストーリーを発掘・発信します。</p>	<p>⑧成長・雇用</p> 
③	<p>デジタル情報の発信・拡散</p> <p>ウェブサイト上の観光情報の充実などデジタル化を推進するとともに、県民や事業者、観光客等の多様な主体によるユーチューブやインスタグラム等での情報発信・拡散を強化します。</p>	<p>⑧成長・雇用</p> 
④	<p>ターゲットを捉えた情報発信</p> <p>インスタグラマーを活用し写真映えする観光素材を首都圏若年層向けに発信するなど、観光客の居住地や年齢による本県への認識、距離感の違いなどを踏まえながら、戦略的なプロモーションを展開します。</p>	<p>⑧成長・雇用</p> 
⑤	<p>アンテナショップの機能充実</p> <p>首都圏において、県内の魅力的な個々の特産品のPRを進めるとともに、本県全体の産業・観光・文化の魅力についても積極的に発信します。</p>	<p>⑧成長・雇用</p> 

政策10 北陸新幹線開業効果を最大化

【施策10-3】世界を魅了するインバウンド強化

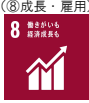
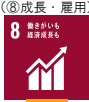



国・地域などターゲットに応じた情報発信やコンテンツの充実、キャッシュレスの促進など外国人目線の受入れ環境の整備を推進し、インバウンドを拡大します。

No.	主な取組み	SDGs
①	<p>国・地域に応じた情報発信 台湾からの教育旅行の誘致や小松空港を玄関口とした香港向け誘客、「ZEN」ブランドによる欧米向けプロモーションなど、国・地域の特徴に応じたデジタルマーケティングに基づく情報発信を展開します。</p>	<p>⑧成長・雇用</p> 
②	<p>近隣府県等からの誘客強化 京都事務所の新設や関西、東京などの観光団体と連携したプロモーション、広域観光ルートの構築、本県ゆかりの飲食店等を拠点とした情報発信などにより、東京オリンピック・パラリンピックなどで増加するインバウンドを本県に呼び込みます。</p>	<p>⑧成長・雇用</p>  <p>17持続可能な開発目標</p> 
③	<p>インバウンド向け観光コンテンツの充実 外国人専門家や在住外国人等の意見を取り入れながら、福井でしか体験できない職人の直接指導による伝統工芸体験プログラムなど、外国人観光客が求める観光コンテンツを充実します。</p>	<p>⑧成長・雇用</p> 
④	<p>世界基準の外国人受入れ環境の整備 外国人観光客を積極的に誘致する重点エリアを設定し、Wi-Fi、キャッシュレス、多言語化、免税店の増加など、外国人目線に立った受入れ環境の整備や、事業者の受入れ意識醸成等を推進します。</p>	<p>⑧成長・雇用</p> 

政策10 北陸新幹線開業効果を最大化

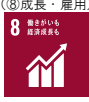


【施策10-4】すべての人が満足できる観光環境づくり

すべての観光客が快適で満足した旅行ができ、滞在・リピートしたくなる環境づくりを促進します。

No.	主な取組み	SDGs
①	<p>おもてなし環境の整備 県民・事業者・行政が一体となった「おもてなし県民運動」の展開や観光関連事業者のサービスレベルの向上、地域特産品を幅広く活用した土産品の開発を促進し、観光客の受入れ態勢を強化します。</p>	(8)成長・雇用 
②	<p>滞在・リピートしたくなる旅行インフラ整備 観光地のトイレ洋式化などのインフラ整備や飲食業・宿泊業等の店舗改修・設備導入、公共交通機関のキャッシュレス化、共通フリー切符の開発を進めるとともに、観光型Ma a Sの構築など二次交通の利便性向上を促進します。</p>	(8)成長・雇用  (11)持続可能な観光地づくり 
③	<p>観光の「見える化」の推進 県民への意識調査や意見交換等を通じて、観光が地域に及ぼす影響の「見える化」や観光に対する理解等を促進し、観光客に対しては、福井の文化や自然環境等の環境を保つためのルール・マナーの順守を促すなど、県民自身の快適なくらしにつながる持続可能な観光施策を展開します。</p>	(8)成長・雇用  (12)持続可能な消費と生産 

【施策10-5】観光産業化の基盤づくり

福井県版DMOを中心に地域の観光プレイヤーを発掘・育成し、宿泊・飲食など観光客に気持ちよい消費を促すことにより、地域の観光収入の増加を図ります。






No.	主な取組み	SDGs
①	<p>頑張る民間事業者の活動支援 新たに立ち上げる福井県版DMOが観光地域づくりの舵取り役となり、観光プレイヤーの発掘・支援やマーケティングデータ分析による観光商品の開発など、地域の稼ぐ力を引き出す取組みを展開します。</p>	(8)成長・雇用 
②	<p>観光のイノベーションを起こす人づくり 地域の観光をリードし次世代の観光を担う人材を育成するため、観光ビジネス講座の新設等による福井県観光アカデミーの充実など、観光を学ぶ機会の充実を図ります。</p>	(4)教育  (8)成長・雇用 

政策10 北陸新幹線開業効果を最大化

〔政策目標〕

- 県民一人ひとりが観光の将来性、自らが果たすべき役割等に対する理解を深め、観光客目線の情報発信やおもてなし等に取り組むこと
- 誰もが福井に魅力を感じて来県し満足する、ふくいブームが創出され、持続的に発展していること

〔KPI（重要業績評価指標）〕

指標	現状	目標	SDGs
観光客入込数 （福井県観光客入込数（推計））	1,697 万人 （2018）	2,000 万人 （2024）	⑧成長・雇用 
観光消費額 （福井県観光客入込数（推計））	1,313 億円 （2018）	1,700 億円 （2024）	⑧成長・雇用 
延べ宿泊者数 （宿泊旅行統計調査）	406 万人 （2018）	510 万人 （2024）	⑧成長・雇用 
外国人延べ宿泊者数 （宿泊旅行統計調査）	7.6 万人 （2018）	40 万人 （2024）	⑧成長・雇用 
来訪者満足度 （福井県調べ）	46% （2019）	60% （2024）	⑧成長・雇用 

〔関連する主な計画等〕

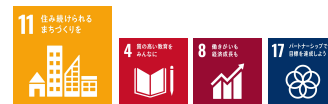
ふくい観光ビジョン、FIRST291～北陸新幹線開業プラン～
福井経済新戦略

しあわせアクション ～目標達成への小さな行動（例）～

- SNS等を活用して県内の観光地などを情報発信
- 観光を学ぶ講座などへ参加、地元の観光資源の知識を習得し、その魅力を友人に紹介
- 海外MICE開催時などの外国人へのおもてなしへ協力
- 道案内やあいさつなど観光客に積極的に声掛けを行う

政策1-1 人が人を呼ぶ、移住・定住新戦略

Uターン支援体制を強化するなど「待ち」から「攻め」の移住政策に転換するとともに、交流人口の拡大や多様な福井との「関わり」から移住・定住につながる新たな仕組みをつくりまします。



【重点施策】

関係人口拡大プロジェクト

学生の地域滞在や社会人のリモートワークなど、外から人を呼び込むローカルプロジェクトを実行し、「福井がおもしろい」を合言葉に若者・よそ者が集まる「ローカルチャレンジ先進地」を実現します。

○学生等の地域滞在を促進

- ・ 県外の学生が地域に長期滞在し、住民と交流しながら創作活動を行う「河和田アートキャンプ」、「竹田Tキャンプ」の活動を拡大するとともに、嶺南地域などに新たな活動地域を開拓
- ・ 県外の大学と連携し、県内の地域や企業等へのフィールドワークを通じて、福井について理解を深める「福井研修プログラム」を開発 など

○「テレワーク」、「ワーケーション」の実践

- ・ 都市部企業等と協定を締結して、県内のサテライトオフィス等において「テレワーク」や「ワーケーション」を実践する仕組みを構築
- ・ 都市圏の「テレワーカー」、「二地域居住」希望者を対象とした交流会を開催し、希望者を開拓 など

○地方兼業・副業の推進

- ・ 市町や企業等と連携して「地方兼業・副業プロジェクト」を開発し、都市人材を地域活性化の担い手として県内に呼び込み
- ・ すべての市町で、都市人材が微住しながら地域や県内企業において活躍 など



ワーケーションの体験風景



越廼サテライトオフィス

政策11 人が人を呼ぶ、移住・定住新戦略

【施策11-1】産学官連携による学生の県内就職の促進

産業界と教育機関、県や市町が一体となって、地域に根差した教育や県内外の学生と県内企業との接点を拡大するなど、学生の県内進学・就職を促進します。

No.	主な取組み	SDGs
①	<p>魅力的な大学づくりによる県内進学促進</p> <p>地方の若者の人口流出を抑制するため、都市部の大学定員を削減し、地方の定員を拡大するよう、大学定員の偏在是正を国に働きかけます。また、県内大学に、福井の特色を生かした新学部・学科を創設し、各大学の強みを磨き上げるとともに、「FAA ふくいアカデミックアライアンス」を中核として、県内大学と高校等との連携を強化するなど、県内進学を促進します。</p>	
②	<p>地域に根差した教育の推進</p> <p>県内大学における産業界・市町と協働したPBL※・共同研究や地元定着につながるリカレント教育、県内職業系高校における地元企業の技術者を招き最先端技術を学ぶ授業など、地域や社会を担う人材育成に向けた教育を推進します。</p> <p>※PBL（Project-Based Learning）：学生が地域や企業に関わる課題解決型学習</p>	
③	<p>県内外の大学と県内企業等とのつながり強化による県内就職促進</p> <p>企業現場での大学生の実習機会や県外大学との就職支援協定の拡大、協定校でのUターン就職イベントの開催など、大学生に県内企業の魅力を伝える機会を拡大します。</p>	
④	<p>県外学生による福井応援</p> <p>福井出身の県外学生の組織化やネットワークの拡大、県内企業の魅力発信など福井を応援する学生の活動を応援、県外進学者が福井との関係構築に主体的に関わる仕掛けをつくり、将来的なUターンを促進します。</p>	
⑤	<p>理系人材のUターン促進</p> <p>県外大学等で理系の専門分野を履修した学生等が県内就職した場合の奨学金返還支援制度を拡充します。</p> <p>また、理系の県外学生に対して、県内企業の優れた技術や製品についての理解を促進する学内セミナーなどを開催し、学生Uターンを拡大します。</p>	

政策11 人が人を呼ぶ、移住・定住新戦略

【施策11-2】都市部への「攻め」の移住政策

関西（京都、大阪）からの移住促進体制を強化するとともに、都市部の地方転職希望者等に対し、県内企業への就職をはじめ、就農や事業承継など、多様な就業とのマッチングを促進し、移住を拡大します。

No.	主な取組み	SDGs
①	<p>「ふるさと福井移住定住促進機構」の体制強化</p> <p>京都にUターンセンターを新設するほか、大阪Uターンセンターに新たに人材开拓員を配置するなど、関西圏の移住希望者の开拓やスカウト業務を強化するとともに、中京圏からのUターン拡大に向けた体制強化を検討します。</p>	<p>⑪まちづくり</p> 
②	<p>Uターン移住就職等支援の強化</p> <p>都市圏でのセミナーの開催やUターン就職サイトの運用により、移住希望者や学生と県内企業のマッチングを強化するとともに、東京圏からの移住就職・起業等に対して移住支援金を支給するなど、移住定住を促進します。</p>	<p>⑪まちづくり</p> 
③	<p>福井の産業力を活かした移住促進</p> <p>「園芸・林業・水産カレッジ」、「伝統工芸職人塾」など福井の特色ある産業を学ぶ場を拡充し、移住を促進します。</p> <p>また、都市部の学生、若者に対し、県内企業や地場産業の工房などを見学、体験実習する機会を提供し、県内就職への関心を高めます。</p>	<p>⑪まちづくり</p> 
④	<p>産業人材の呼び込み</p> <p>人と企業のセット誘致や事業承継のための後継者の全国公募、高度人材のUターン就職促進、働きやすい職場環境づくりなどを推進し、外から人を呼び込み地域経済を活性化します。また、地方に従業員を配置することが企業のメリットとなるような税制改正等を国に求めます。</p>	<p>⑪まちづくり</p> 
⑤	<p>市町・企業と連携した移住の促進</p> <p>市町や企業とともに、「仕事」・「住まい」・「定着支援」を組み合わせた「移住応援パック」を開発し、都市部人材とのマッチングを推進するなど、Uターンを促進します。</p>	<p>⑪まちづくり</p> 
⑥	<p>移住者のネットワークづくり</p> <p>交流会の開催など移住者のネットワークづくりを応援し、新たな移住者が福井になじめるよう支援するとともに、外から見た福井の魅力を発信するなど、人が人を呼ぶ戦略を実行します。</p>	<p>⑪まちづくり</p> 

政策11 人が人を呼ぶ、移住・定住新戦略

【施策11-3】関係人口の創出・拡大

都市部の学生や社会人に向けて、地域との「関わりしろ」となるプロジェクトや交流の機会を提供するなど福井に呼び込む仕掛けをつくり、地域の活性化やUターンにつなげます。



No.	主な取組み	SDGs
①	学生の地域滞在型キャンプの拡大 県外から学生を呼び込む案内所機能を京都に開設し、県外の学生や若者が地域に滞在して、住民と交流しながら地域活動を行う「河和田アートキャンプ」、「竹田Tキャンプ」の活動を支援するとともに、嶺南地域などの新規地域におけるプロジェクトを展開します。	⑪まちづくり 11 住み続けられるまちづくりを
②	県外大学の学生を対象とした「福井研修プログラム」の開発 県外大学と連携して、県内の地域や企業等へのフィールドワークを通して、福井について理解を深める「福井研修プログラム」を開発し、学生の参加を促進します。	⑪まちづくり 11 住み続けられるまちづくりを 8 持続可能な消費を
③	「テレワーク」、「ワーケーション」の実践 都市部企業等と協定を締結して、県内のサテライトオフィス等において「テレワーク」や「ワーケーション」を実践する仕組みを構築するとともに、都市圏の「テレワーカー」、「二地域居住」希望者を対象とした交流会を開催し、希望者を開拓します。	⑪まちづくり 11 住み続けられるまちづくりを 8 持続可能な消費を 17 持続可能な開発を
④	「地方兼業・副業」の推進 「地方兼業・副業」により都市人材の高度な知識・知見を県政に活用するとともに、市町や企業等と連携して「地方兼業・副業プロジェクト」を開発するなど、都市人材を地域活性化の担い手として県内に呼び込みます。	⑪まちづくり 11 住み続けられるまちづくりを 8 持続可能な消費を 17 持続可能な開発を
⑤	市町と連携した「微住」の促進 「地域のしごと」・「宿泊」・「滞在支援」を組み合わせた「微住応援パック」を市町とともに開発するなど、国内外から福井を訪れ短期滞在する「微住」を通じた地域との関わりづくりを促進します。	⑪まちづくり 11 住み続けられるまちづくりを 8 持続可能な消費を
⑥	移住者による地域との関わりづくりの推進 県外在住者と県内各地との関わりづくりを促進するため、福井へ移住した若者等に、地域の魅力を伝えるコーディネーターとなってもらい、県外からの招致や関係人口の拡大を推進します。	⑪まちづくり 11 住み続けられるまちづくりを 8 持続可能な消費を
⑦	ふるさと納税を活用した交流人口の拡大 用途を明示したプロジェクト応援型の推進などにより、ふるさと納税を拡大するとともに、納税者に県内の企画会社や旅行会社等と協力して造成した着地型ツアーや体験プログラムを提供、寄付者の来県を促進し、交流人口を拡大します。	⑪まちづくり 11 住み続けられるまちづくりを 8 持続可能な消費を

政策11 人が人を呼ぶ、移住・定住新戦略

〔政策目標〕

- 都市部の社会人や学生など、多様な形で福井と関わる人が増え、県内各地でにぎわいや活力が生まれていること
- 福井への移住や県内定着が増加し、社会増が実現すること

〔KPI（重要業績評価指標）〕

指標	現状	目標	SDGs
社会増減 （住民基本台帳人口移動報告）	△2,159人 （2018）	社会増 （2024）	⑪まちづくり 
新ふくい人（社会人Uターン者） （福井県調べ）	719人 （2018）	1,200人 （2024）	⑪まちづくり 
学生Uターン率 （福井県調べ）	32.1% （2018）	35% （2024）	⑪まちづくり 
県内学生（理工系）の県内就職者数 （福井県調べ）	176人 （2018）	200人 （2024）	⑪まちづくり 
関係人口プロジェクト （福井県調べ）	172件 （2018）	210件 （2024）	⑪まちづくり 

〔関連する主な計画等〕

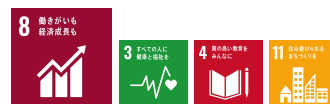
ふくい創生・人口減少対策戦略、福井県立大学第3期中期計画

しあわせアクション ～目標達成への小さな行動（例）～

- 県外の大学等に進学した家族に、福井の企業の魅力や暮らやすさを発信
- 高い技術など自社の魅力を県内外の学生や社会人に広くPR
- 県外出身の学生をサークル活動に誘うなど、進学等で福井に移り住んでいる人と積極的に交流
- 移住者や来県者との交流会や体験活動などに積極的に参加
- 県外在住の家族や知人に、福井への帰省・旅行時の体験活動への参加を勧める
- 県外の学生や若者が地域で活動する場や機会の提供に協力

政策12 文化・スポーツがふくいの活力

長い歴史・生活が培った文化力や芸術文化への関心の高まり、福井国体・障スポ等を通して高まったスポーツ熱を活力に、デザイン・アートの充実やフェスの開催など若者に魅力あるイベントを拡充し、楽しみにあふれるまちづくりを進めます。



【重点施策】

文化・スポーツによる「エンタメ福井」実現プロジェクト

まちなかにおける文化芸術を活かしたにぎわいの創出、地域スポーツコミッション（県スポーツまちづくり推進機構）による全国大会・イベントの誘致、国内外から人を呼び込む世界大会の開催など、文化芸術やスポーツ、エンターテインメント等を活かした交流を拡大し、訪れる人も県民も楽しみ合える「エンタメ福井」を実現し、県民生活に「楽しみ」をプラスします。

○「県スポーツまちづくり推進機構」による交流拡大

- ・ 県、市町、スポーツ団体、経済団体等が一体となった「県スポーツまちづくり推進機構」により、スポーツを通じ新たな観光客を呼び込み、交流人口を拡大 など

○「フルマラソン」の開催

- ・ 北陸新幹線福井・敦賀開業に向けた「フルマラソン」の開催を検討 など

○ワクワクする大規模スポーツ大会・イベントの誘致・開催

- ・ 有名選手が参加する「アスリートナイトゲームズ」など、国内外から多くの観戦者を呼び込めるような魅力あるスポーツ大会・イベントを誘致・開催 など

○ドキドキする参加型スポーツイベントの企画・開催

- ・ 「三方五湖一周サイクリング大会」など、県内外から多くの参加者を呼び込めるよう、福井の自然を活かしたスポーツイベントの企画・開催 など

○県内スポーツチームをみんなで応援

- ・ 県内スポーツチームがプロにステップアップする等、県民が一体となって応援するチームとなるよう、地域活動への参加やチームのPRなどの広報活動を推進 など



アスリートナイトゲームズ
(2019. 8. 17)



サイクリング大会（イメージ）

○デザインやアートに親しむ機会の充実

- ・駅の待合室などに誰もが自由に弾ける「まちかど幸福ピアノ」を設置するなど、まちなかに交流の場を作り、にぎわいを創出
- ・地域において、出張美術館や音楽イベント等を開催するほか、地域文化を発信する美術・伝統工芸の展示等を開催 など



まちかど幸福ピアノ



出張美術館（イメージ）

○「若者・よそ者」が集まるまちづくり

- ・野外フェスティバルの開催など、福井城址等を活用した「にぎわい」を創出するまちなかイベントの拡大
- ・学生が制作したアート作品を商店街の営業店舗などに展示する「まちかどヤングアートカレッジ」を開催
- ・同人誌販売会の開催、eスポーツ大会の開催など、サブカルチャーやポップカルチャーなどの若者文化を応援
- ・「国際音楽祭」のほか「アートフェスティバル」の開催などを支援し、国際交流を推進
- ・「インターナショナル小倉百人一首かるたフェスティバル」の開催など福井の文化を通じた国際大会を拡大 など



ワンパークフェスティバル 2019


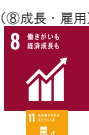

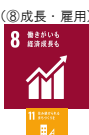



競技かるたの全国大会

政策12 文化・スポーツがふくいの活力

【施策12-1】歴史ミュージアムふくいの発信

千年を超える歴史・文化遺産等を大切に保存・継承するとともに、それらをネットワーク化し発信するなど、本県の歴史・文化を活かし地域の活力を高めます。

No.	主な取組み	SDGs
①	<p>様々な博物館等のネットワーク・ストーリー化による発信強化 県内各地の質の高い博物館・美術館について、各館の特徴や見どころを活かし、周辺情報等とともに、魅力あるストーリーなどでまとめて発信し、博物館・美術館を核とする県内周遊を促進します。</p>	(8)成長・雇用 
②	<p>博物館・美術館の魅力向上 県内博物館・美術館において、学芸員同士の交流や、県内外の各館所蔵資料の相互貸借を促進することにより、話題性のある展覧会を実施するなど、本県の歴史や文化を学べる施設としての魅力をより一層向上します。</p>	(8)成長・雇用 
③	<p>一乗谷ミュージアムの発信 戦国期の城下町跡がそのまま残る他に類例のない特別史跡「一乗谷朝倉氏遺跡」の価値や魅力を全国に発信するとともに、中世の歴史を楽しみながら学べる施設として、一乗谷朝倉氏遺跡博物館（仮称）を整備します。</p>	(11)まちづくり 
④	<p>歴史遺産の活用 一乗谷朝倉氏遺跡とともに日本遺産に認定された「白山平泉寺」や国の重要文化財に指定されている「大本山永平寺」、「丸岡城」のほか、「越前大野城」、「大安禅寺」、「金ヶ崎宮」、「国吉城」など歴史・文化遺産をつなげ周遊観光ルートを構築します。</p>	(8)成長・雇用 
⑤	<p>文化財の保存・継承 文化財保護を図るため国指定等を推進し、観光振興・地域づくりに活用するとともに、文化財の修理・整備や価値を伝える講座の開催等により、適正な維持管理や県民の文化財保護への意識醸成を促進します。</p>	(11)まちづくり 

政策12 文化・スポーツがふくいの活力

【施策12-2】デザイン・アートなど「若者・よそ者」が集まるまちづくり

デザインやアートに親しむ機会を充実するほか、フェス等のにぎわいイベントを拡大し、多彩な楽しみにあふれる、おもしろいまちづくりを推進します。

No.	主な取組み	SDGs
①	<p>デザインやアートに親しむ機会の充実</p> <p>駅の待合室などへの誰もが自由に弾ける「まちかど幸福ピアノ」の設置や地域における出張美術館や音楽イベント等の開催など、気軽に楽しみ親しむことができる多様な芸術文化活動を支援し、交流を拡大します。</p>	<p>⑪まちづくり</p> 
②	<p>サブカルチャーやポップカルチャーを含め多様な芸術文化活動を応援</p> <p>「野外フェスティバル」や「同人誌販売会」、「e スポーツ大会」など、サブカルチャーやポップカルチャーを含めた若者・よそ者が集まる芸術文化活動を応援し、交流人口拡大、まちなかの活性化につなげます。</p>	<p>⑪まちづくり</p> 
③	<p>国際音楽祭等による国際交流を推進</p> <p>各国からアーティストを招いた国際音楽祭やアートフェスティバルのほか、かるたなど福井の文化を通じた国際大会の開催を支援し、身近に優れた芸術文化に触れる機会を創出することにより、まちの活性化を推進します。</p>	<p>⑪まちづくり</p> 
④	<p>地域におけるアート活動の拡大</p> <p>学生のアート作品を商店街の店舗などに展示する「まちかどヤングアートカレッジ」の開催や、国内外のアーティストが県内各地に滞在して行う創作活動への支援など、地域に密着したアート活動を拡大します。</p>	<p>⑪まちづくり</p> 
⑤	<p>デザインとものづくりの融合</p> <p>デザインセンターふくいによるブランディング支援のほか、若手職人やデザイナーが中心となり開催するものづくりイベントの開催や体験プログラムの開発等を支援し、ものづくりを核とした交流を拡大します。</p>	<p>⑧成長・雇用</p> 
⑥	<p>まちなか商店街の活性化</p> <p>ネット社会の中で「買い物」本来の楽しさを提供する人が集まる魅力的なリアル店舗づくりを応援し、まちなかの商店街の活性化を推進します。</p>	<p>⑧成長・雇用</p> 

政策12 文化・スポーツがふくいの活力

【施策12-3】スポーツによるまちづくり・交流人口拡大

スポーツ大会の連続開催や県内のトップスポーツチームの活躍応援など、スポーツをまちづくりや交流人口の拡大に活かします。

No.	主な取組み	SDGs
①	国体・障スポレガシーを活かしたスポーツイベントの持続的な開催 県、市町、スポーツ団体、経済団体等が一体となった「県スポーツまちづくり推進機構」により、国内外から人を呼び込む全国大会・世界大会やスポーツイベントを持続的に開催し、交流人口の拡大を図ります。	(⑧成長・雇用) 8 働きがいも経済成長も 3 気候変動に具体的な対策を
②	「ワールドマスターズゲームズ 2021 関西」の福井県開催 「ワールドマスターズゲームズ 2021 関西」の競技大会を県内市町で開催し、その成果を交流人口の増加につなげるなど、世界大会等を契機にスポーツを活かしたまちづくりを進めます。	(⑧成長・雇用) 8 働きがいも経済成長も 3 気候変動に具体的な対策を
③	スポーツツーリズムの推進 北陸新幹線福井・敦賀開業に向けた「フルマラソン」の開催検討や「三方五湖一周サイクリング大会」の開催など、福井の自然を活かしたスポーツツーリズムを推進します。	(⑧成長・雇用) 8 働きがいも経済成長も 3 気候変動に具体的な対策を
④	県内トップスポーツチーム・選手を県民一体でサポート・応援 県内スポーツチームのプロへのステップアップや、県民が一体となって応援するチームとなるよう、「県スポーツまちづくり推進機構」が中心となって、スポーツ教室の開催や地域活動への参加等をサポート・応援します。	(⑧成長・雇用) 8 働きがいも経済成長も 3 気候変動に具体的な対策を
⑤	1県民1スポーツの推進 県民の誰もが自分に合ったスポーツに親しみ、健康で生きがいのある生活を送ることができるよう、スポーツ体験会や参加型イベントの開催、クラブや指導者の育成など、環境づくりを進めます。	(③健康・福祉) 3 持続可能な生活と健康増進
⑥	トップアスリートの養成 小・中学生の競技特性に沿った体験会による有望選手発掘やオリンピックに挑戦する選手の雇用支援、地域に根差したお家芸競技の育成など、トップアスリートの養成を通じ本県のスポーツ熱を高めます。	(④教育) 4 質の高い教育をみんなに 8 働きがいも経済成長も 3 気候変動に具体的な対策を

政策12 文化・スポーツがふくいの活力

〔政策目標〕

- 感動とにぎわいが生まれる文化・スポーツのイベント・大会が持続的に開催されること
- 国内外から多くの参加者が福井を訪れ県民と交流するとともに、日頃から文化芸術やスポーツを楽しむ県民が増えていること

〔KPI（重要業績評価指標）〕

指標	現状	目標	SDGs
成人のスポーツ実施率 （週1回以上スポーツを実施） （全国体力・運動能力調査）	54.1% （2018）	65% （2024）	(3)健康・福祉 
総合型地域スポーツクラブ 会員数 （福井県調べ）	6,619人 （2018）	7,500人 （2024）	(3)健康・福祉 
文化活動を行う若者グループ （福井県調べ）	—	30グループ （2024）	(11)まちづくり 
若者の大規模文化活動の数 （福井県調べ）	—	5回 （2024）	(11)まちづくり 
文化国際交流イベントの数 （福井県調べ）	3回 （2018）	10回 （2024）	(11)まちづくり 

〔関連する主な計画等〕

福井県スポーツ推進計画、福井県文化財保存活用大綱、福井経済新戦略

しあわせアクション ～目標達成への小さな行動（例）～

- スポーツイベントや県民交流イベントに参加
- スポーツ大会開催時におけるボランティア、応援に参加
- 日ごろからスポーツ・運動に取り組む
- 文化施設を定期的に観覧するほか、文化・芸術イベントへ参加
- サブカルチャー、ポップカルチャーなど若者文化へ関心を持ち体験する

IV 安心を高める（地域力）

～人生100年時代をリードする「健康文化」の創造。暮らしを守る安全・安心～

長寿命化時代に向け、生涯にわたり、健康に安心して暮らせる福井を未来へつなぐ必要があります。

暮らしの中で、世代に応じて健康づくりをし、高齢者観を変える「健康文化」を創造するとともに、医療・介護・福祉の融合を進めるなど、誰もが安心して暮らせる環境を整備します。

また、地域コミュニティの活力維持や地域防災・防犯対策、県土の強靱化、自然環境の保全・活用、安全最優先の原子力政策など、県民の安全安心を地域全体で守ります。

〔実行する政策〕

政策13 人生100年時代の健康ライフスタイル

- 【施策13-1】100歳までの「健活力」の向上
- 【施策13-2】日常生活の中に仕掛ける健康づくりを促進
- 【施策13-3】地域の健康づくりに専門家を活用し住民サポートを強化

政策14 いつでもどこでも安心の医療・介護・福祉

- 【施策14-1】「地域完結型」の医療体制の確立
- 【施策14-2】「スマート医療」の推進
- 【施策14-3】「次世代包括ケアシステム」の推進
- 【施策14-4】包括的な福祉相談体制の構築

政策15 ふるさとの暮らしと風景の維持

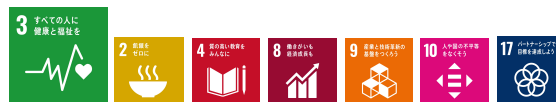
- 【施策15-1】「住みやすさ改革」による豊かな地域コミュニティづくり
- 【施策15-2】美しい景観の保全・形成
- 【施策15-3】里山里海湖の保全・活用
- 【施策15-4】エネルギーと資源の循環型社会の構築

政策16 防災・治安先進県ふくいの実現

- 【施策16-1】人と技術による地域防災力の向上
- 【施策16-2】災害に強く、安心して暮らせる福井の基盤を構築
- 【施策16-3】県民を守る犯罪・事故等の対策
- 【施策16-4】県民の安全最優先の原子力政策
- 【施策16-5】拉致問題への対応

政策13 人生100年時代の健康ライフスタイル

一定の年齢をもって“支えられる”存在とする考え方を見直し、何歳になっても元気なうちは社会を“支える”役割を担うという新しい高齢者観を共有します。人生100年を健康に過ごすための「ふくい型健幸サポートシステム」を構築し、世界の範となる福井発の「健康文化」を創造します。



【重点施策】

ふくい発「健康文化」創造プロジェクト

長寿命化社会の福井において、県民が100歳まで幸せに生きることを目標とする新しい「健康文化」を創造するため、子どもから働く世代、高齢者まで全世代にわたる疾病予防や就労促進など社会の仕組みを人生100年時代型に転換していきます。

○社会の支え手として活躍できる「いきがい寿命」の延長

- ・高齢者に対する短時間勤務や人生経験を活かした就労「ハイシルバーク」の促進、有償ボランティアによる社会参加の仕組みづくりなど、活躍する機会を拡充 など

○80～90歳代のための疾病・介護予防体制

- ・一滴がん検診の導入や「オーラル（口腔）フレイル」を加えたフレイル予防の新展開などにより、高齢者の疾病・要介護化を防止 など

○現役世代からの健康づくり

- ・スニーカービズなど“プラス1000歩”を目指した歩く県民運動、福井の食文化を活かした「ふくい100彩ごはん」による食生活の改善など、県民の生活習慣を改善 など

○健康リテラシー教育の実践

- ・100歳まで生きる力を学ぶための「ふくい型健康リテラシープログラム」を開発、全世代に対して保険者等を通じた健康リテラシー教育を実践 など



介護現場での高齢者の短時間勤務







がん出前講座

政策13 人生100年時代の健康ライフスタイル

【施策13-1】100歳までの「健活力」の向上

「いきがい寿命」の延伸に向け、一滴がん検診の導入やフレイル予防等の促進により、疾病・要介護化を徹底防止するとともに、元気な高齢者の社会参加を通じて、県民みんなが100歳まで健康に活躍できる社会をめざします。

No.	主な取組み	SDGs
①	<p>一滴がん検診の導入</p> <p>特定健診時に採取した血液や尿でがん検診を行う一滴がん検診により、検診に対する高齢者の身体的負担を軽減し、受診促進と疾病の早期発見・治療を進めます。</p>	<p>(③健康・福祉)</p> 
②	<p>フレイル予防・認知症予防の強化</p> <p>「通いの場」を拠点としたフレイル予防・認知症予防の地域への浸透を図るとともに、フレイルチェックの結果分析を通じ、地域ごとの特性を反映した予防活動を展開します。</p>	<p>(③健康・福祉)</p> 
③	<p>オーラルフレイル予防の拡大</p> <p>高齢者に対する訪問歯科健診や通いの場等における口腔体操の実施に加え、歯科医師会と連携した口腔機能チェックなどにより、「食べる力・話す力」を維持・向上させるオーラルフレイル予防を拡大します。</p>	<p>(③健康・福祉)</p> 
④	<p>社会の支え手として活躍できる環境の整備</p> <p>短時間勤務や就労「ハイシルバーワーク」など多様な働き方を普及するとともに、有償ボランティアによる生活支援や子育て支援など社会参加を促す仕組みを整えるなど、高齢者が活躍できる環境を整備します。</p>	<p>(⑩平等)</p> 

政策13 人生100年時代の健康ライフスタイル

【施策13-2】日常生活の中に仕掛ける健康づくりを促進



通勤や買い物での歩く習慣づくり、健康的な食生活など、日常生活の中で健康に配慮した活動が実践できる環境整備を進め、県民の健康づくりを促進します。

No.	主な取組み	SDGs
①	歩く県民運動を推進 スニーカービズ、ショッピングセンターウォーキングや企業等での歩数チャレンジ大会など“プラス1000歩”を目指し、歩く県民運動を推進します。	(3)健康・福祉 3 すべての人に健康と福祉を 
②	1県民1スポーツの推進（再掲） 県民の誰もが自分に合ったスポーツに親しみ、健康で生きがいのある生活を送ることができるよう、スポーツ体験会や参加型イベントの開催、クラブや指導者の育成など、環境づくりを進めます。	(3)健康・福祉 3 すべての人に健康と福祉を 
③	「ふくい100彩(さい)ごはん」を開発・普及 食品事業者等と連携したメタボ対策やフレイル予防のメニュー認証に加え、本県の食文化を活かした健康長寿食メニューを「ふくい100彩ごはん」として、外食から家庭料理まですべてを通じ県民の食生活改善を促進します。	(3)健康・福祉 3 すべての人に健康と福祉を 2 質の高い教育をみんなに 
④	健康リテラシー教育の実践 100歳まで生きる力を学ぶための「ふくい型健康リテラシープログラム」を開発、全世代に対して保険者等を通じた健康リテラシー教育を実践します。	(4)教育 4 質の高い教育をみんなに 3 すべての人に健康と福祉を 
⑤	たばこ対策の強化 未成年者の喫煙防止に加え、禁煙外来や禁煙サポート薬局と連携した禁煙支援を推進するとともに、公共施設等における受動喫煙対策を強化します。	(3)健康・福祉 3 すべての人に健康と福祉を 
⑥	職域における生活習慣病の予防促進 特定健診等の受診促進、健康づくり実践事業所の拡大、禁煙外来の受診促進、食生活改善推進員による減塩等の普及など、働く世代の生活習慣病予防を促進します。	(3)健康・福祉 3 すべての人に健康と福祉を 
⑦	健康改善の見える化 市町の健康づくり活動において、地域住民の健康改善の効果を「見える化」する取組みを支援するとともに、わがまち健康推進員の活動を強化して健康無関心層の参加を促進します。	(3)健康・福祉 3 すべての人に健康と福祉を 17 持続可能な開発を 

政策13 人生100年時代の健康ライフスタイル

【施策13-3】地域の健康づくりに専門家を活用し住民サポートを強化

わがまち健康推進員やフレイルサポーターの活動を強化するとともに、専門家と連携して健康コミュニティを形成し、地域住民の健康をきめ細やかにサポートします。







No.	主な取組み	SDGs
①	<p>健康づくりの担い手の育成強化 各地域の健康づくりの担い手であるわがまち健康推進員やフレイルサポーター等に対して研修会や情報共有の場を提供するなど、さらなる資質の向上や地域活動を強化します。</p>	<p>(④教育)</p> 
②	<p>専門人材との連携強化 保健師や管理栄養士等の専門職が退職後も地域において活躍できるよう、OBを登録する人材バンク制度をつくり、わがまち健康推進員等と連携して地域住民の健康づくり活動をサポートする体制を強化します。</p>	<p>(③健康・福祉)</p> 

政策13 人生100年時代の健康ライフスタイル

〔政策目標〕

- 県民が100歳まで幸せに生きることを目標とした「ふくい型健幸サポートシステム」に基づき、健康リテラシー教育の実践や健康づくり、運動習慣等に関する県民行動が改善されること
- 何歳になっても支え手として活躍できる社会の実現に向けた第一歩が踏み出せていること

〔KPI（重要業績評価指標）〕

指標	現状	目標	SDGs
生活習慣病（脳血管疾患、心疾患、悪性新生物）による死亡数（人口10万人当たり）（人口動態調査）	185.8人 (2017)	162.0人 (2024)	(③健康・福祉) 3 全ての人に健康と福祉を 
歩数の増加（20～64歳）（県民健康・栄養調査）	男性 7,703 歩 女性 6,805 歩 (2016)	男性 9,000 歩 女性 8,000 歩 (2024)	(③健康・福祉) 3 全ての人に健康と福祉を 
食塩摂取量（県民健康・栄養調査）	男性 10.5 g 女性 9.1 g (2016)	男性 7.5 g 未満 女性 6.5 g 未満 (2024)	(③健康・福祉) 3 全ての人に健康と福祉を 
成人喫煙率（県民健康・栄養調査）	20.9% (2016)	12.0% (2024)	(③健康・福祉) 3 全ての人に健康と福祉を 
特定健診受診率（福井県調べ）	54.0% (2018)	70% (2024)	(③健康・福祉) 3 全ての人に健康と福祉を 
フレイルチェック参加者数（福井県調べ）	延べ 498 人 (2018)	延べ 2,000 人 (2024)	(③健康・福祉) 3 全ての人に健康と福祉を 

〔関連する主な計画等〕

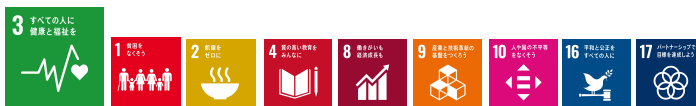
- 第4次元気な福井の健康づくり応援計画、第7次福井県医療計画
- 第3次福井県医療費適正化計画、第3次福井県がん対策推進計画

しあわせアクション ～目標達成への小さな行動（例）～

- スニーカービズの実践や公共交通機関を利用するなど、移動の際には歩くことを心掛ける
- 塩分控え目や野菜をたっぷり摂るなどバランスの良い食事に努める
- 年1回、特定健診やがん検診、歯科健診を受診
- 体操教室や健康づくり教室、趣味や娯楽などの集まりに積極的に参加

政策14 いつでもどこでも安心の医療・介護・福祉

医療、介護、予防、生活支援がトータルで提供される「次世代包括ケアシステム」を展開するとともに、ICTやAI等の先端技術を活用した遠隔医療の導入などを進め、誰もが住み慣れた地域で安心して医療や介護、福祉サービスを受けられる環境をつくりまします。



【重点施策】

次世代包括ケアシステム推進プロジェクト

本県が先進的に進めてきた医療と介護の融合による在宅ケア体制の整備をさらに進め、フレイル予防や生活支援など、医療や介護の必要がない高齢者へのアプローチも含めて、高齢者が状態に応じた適切な支援を受けながら住み慣れた地域で暮らすことのできる「次世代包括ケアシステム」を作り上げます。

○東大との「ジェロントロジー4.0」共同研究の展開

- ・東京大学と進めてきたジェロントロジー共同研究について、高齢者がより安心して暮らせる社会づくりに向け、第4期となる新たな研究を始動 など

○回復型フレイルの導入

- ・フレイル状態の高齢者を早期に発見し、重点的な保健指導を通じて健康な状態への回復を図る「回復型」フレイル予防を新たに導入
- ・フレイル予防活動の拡大をツールとして、公民館などの身近な「通いの場」に多くの高齢者が集う地域づくりを推進 など

○医療・介護に生活支援を融合

- ・有償ボランティアの仕組みやフレイルチェックの運営を担うフレイルサポーターを活用し、簡易な生活支援を地域で受けられる体制を整備
- ・在宅等での療養生活を安心して選択できるよう、在宅で受けられる医療・介護サービスをわかりやすく周知
- ・人生の最終段階で自身が望むケアについて、家族や専門職と前もって話し合う「ACP」（アドバンス・ケア・プランニング）の普及啓発を推進 など



「通いの場」でのフレイル予防活動







在宅での医療

政策14 いつでもどこでも安心の医療・介護・福祉



【施策14-1】「地域完結型」の医療体制の確立

急性期医療からリハビリ、在宅医療まで、症状に応じた医療サービスを県内どの地域においても安心して受けられる医療体制を整備します。

No.	主な取組み	SDGs
①	医師の偏在是正 Uターン医師等を登録し地域の医療機関とマッチングするほか、県が医師を採用して派遣するドクタープール制度などにより、医師の地域・診療科偏在を是正します。	③健康・福祉 3 すべての人に健康と福祉を 
②	ドクターヘリの単独運航 ドクターヘリの単独運航や近隣県との相互応援運航を実現し、現場での早期治療と迅速な患者搬送により、県全体の救急医療体制を強化します。	③健康・福祉 3 すべての人に健康と福祉を 17 持続可能な開発を 
③	医療ニーズに応じた体制づくり 医療機関の役割分担と連携を進め、救急医療を担う中核病院の施設・設備の充実やリハビリを行う回復期病床の整備等により、地域ごとの医療ニーズに応じた診療体制や病床配置を実現します。また、検査・医療体制の充実や予防策の徹底など、新たな感染症への対策を強化します。	③健康・福祉 3 すべての人に健康と福祉を 
④	医療人材の確保・育成 医師や看護職員、薬剤師等の医療人材を、県内外での病院合同説明会の開催やインターンシップの実施等により確保するとともに、研修会の開催や出張指導等により資質向上を図ります。	③健康・福祉 3 すべての人に健康と福祉を 4 質の高い教育をみんなに 

【施策14-2】「スマート医療」の推進

ICTやAI、ロボット等の先端技術を活用した「スマート医療」を推進します。

No.	主な取組み	SDGs
①	ICTやAI等による医療水準の向上 専門医による診断を遠隔でも行えるシステムの整備やAI等による診療支援のほか、診療・健診情報を共有するネットワークの拡大等を進めることにより、医療の質を向上します。	③健康・福祉 3 すべての人に健康と福祉を 9 産業と雇用 
②	一滴がん検診の導入（再掲） 特定健診時に採取した血液や尿でがん検診を行う一滴がん検診により、検診に対する高齢者の身体的負担を軽減し、受診促進と疾病の早期発見・治療を進めます。	③健康・福祉 3 すべての人に健康と福祉を 9 産業と雇用 

政策14 いつでもどこでも安心の医療・介護・福祉

【施策14-3】「次世代包括ケアシステム」の推進



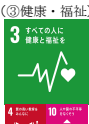
医療と介護の融合のみならず、フレイル予防、生活支援も含め、高齢者が状態に応じた適切な支援を受けながら住み慣れた地域で暮らすことのできる体制を構築するとともに、それを支える医療や介護、福祉に従事する人材を確保します。

No.	主な取組み	SDGs
①	東京大学とのジェロントロジー共同研究 東京大学と進めてきたジェロントロジー共同研究について、高齢者がより安心して暮らせる社会づくりに向け第4期となる新たな研究を始動します。	③健康・福祉 3 すべての人に健康と福祉を 9 持続可能な消費と生産 17 パートナリシップ
②	回復型フレイルの導入 フレイル状態の高齢者を早期に発見し、健康な状態への回復を図る「回復型」フレイル予防を新たに導入するとともに、その活動の場となる公民館などの身近な場所に多くの高齢者が集う地域づくりを推進します。	③健康・福祉 3 すべての人に健康と福祉を
③	生活支援体制の整備 買い物やゴミ出しなどの生活支援を地域の有償ボランティアやフレイルサポーターから受けられる体制を整備します。	③健康・福祉 3 すべての人に健康と福祉を
④	在宅ケア提供体制の充実 在宅医や訪問看護師等の人材の確保・育成や在宅ケアにおいて中心的な役割を担う訪問看護の提供体制の充実を図るとともに、療養生活を安心して選択できるよう、在宅で受けられる医療・介護サービスを分かりやすく周知します。	③健康・福祉 3 すべての人に健康と福祉を 4 質の高い保健医療サービス
⑤	「ACP」の普及啓発 人生の最終段階で自身が望むケアについて、家族や専門職と前もって話し合う「ACP」（アドバンス・ケア・プランニング）の普及啓発を推進します。	③健康・福祉 3 すべての人に健康と福祉を
⑥	外国人介護人材の活用促進 海外の機関と提携し、本県に受け入れる介護人材を現地で育成するとともに、外国人介護留学生や技能実習生等が福井で安心して学習・実習できるよう、受入れ環境の整備を進めます。	③健康・福祉 3 すべての人に健康と福祉を 4 質の高い保健医療サービス 10 持続可能な消費と生産
⑦	介護職の魅力向上 高校生や教員等を対象に、出前授業、現場見学を通じた介護の魅力発信を行います。また、介護事業所への介護ロボット・ICT等の導入や高齢者の「ちょこっと就労」の促進等による負担軽減を図るとともに、賃金をはじめとした処遇改善を進め、介護職が選ばれる環境づくりを進めます。	③健康・福祉 3 すべての人に健康と福祉を 4 質の高い保健医療サービス 8 持続可能な産業と雇用
⑧	地域のニーズに応える介護施設の整備 一人暮らしで重度の要介護者や認知症の人等、在宅での介護が困難な高齢者を支えるため、地域密着型を中心とした介護施設を計画的に整備します。	③健康・福祉 3 すべての人に健康と福祉を

政策14 いつでもどこでも安心の医療・介護・福祉

【施策14-4】包括的な福祉相談体制の構築

県民や世帯が抱える複合化した課題をワンストップで受け止める福祉相談体制を構築するなど各種支援機関と連携して、自立した生活の実現とくらしの安心を確保します。

No.	主な取組み	SDGs
①	<p>包括的な支援体制の整備</p> <p>8050問題※や育児と介護のダブルケアなど、複合的な課題を抱える世帯への支援や制度の狭間にある課題への対応のため、市町におけるワンストップの相談窓口を整備するとともに、相談支援包括化推進員を育成します。</p> <p>※8050問題：50代の引きこもりの子を80代の親が養っている状態</p>	<p>③健康・福祉</p> 
②	<p>困難事例への対応強化</p> <p>貧困や虐待、DV、ひきこもり、自殺対策など、高い専門的スキルが必要な事例や環境の変化への対応のため、県が設置している各相談所や一時保護所の機能を強化するなど、様々な課題への対策を充実します。</p>	<p>③健康・福祉</p> 
③	<p>医療的ケア体制の充実</p> <p>学校等への看護職員の配置、医療的ケアを必要とする障がい者や介護者への支援、難病へのきめ細やかな対策など、安心して生活できる環境を整備します。</p>	<p>③健康・福祉</p> 

政策14 いつでもどこでも安心の医療・介護・福祉

〔政策目標〕

- 施設や地域における医療、介護等を担う人材が確保されていること
- 「次世代包括ケアシステム」が構築され、症状や本人の希望に応じた医療・介護サービス等を県内どこでも受けられる体制が整備されていること

〔KPI（重要業績評価指標）〕

指標	現状	目標	SDGs
在宅で医療・介護を受ける人の数（訪問看護の利用者数） （福井県調べ）	5,820人 (2018)	6,150人 (2024)	(3)健康・福祉 3 すべての人に健康と福祉を 
ドクタープール制度等を活用して県が医療機関へ派遣した医師数 （福井県調べ）	49人 (2019年4月)	81人 (2024)	(3)健康・福祉 3 すべての人に健康と福祉を 
介護従事者数 （福井県調べ）	11,184人 (2018)	12,400人 (2024)	(3)健康・福祉 3 すべての人に健康と福祉を 8 持続可能な消費と生産 
「ちょこっと就労」の新規参加者数 （福井県調べ）	48人 (2018)	550人 (2020～2024計)	(3)健康・福祉 3 すべての人に健康と福祉を 8 持続可能な消費と生産 
地域住民による生活支援実施市町数 （福井県調べ）	3市町 (2018)	17市町 (2024)	(3)健康・福祉 3 すべての人に健康と福祉を 17 持続可能な都市と地域 

〔関連する主な計画等〕

第7次福井県医療計画、第7期福井県老人福祉計画および介護保険事業支援計画
福井県地域福祉支援計画
配偶者暴力防止および被害者保護のための福井県基本計画（第3次改定版）

しあわせアクション ～目標達成への小さな行動（例）～

- 普段の健康管理を任せる身近な「かかりつけ医」を決め、体調が悪くなった時、まずはかかりつけ医を受診
- 買い物やゴミ出しなど日常生活で困っている高齢者を、近所ぐるみで支え合う
- 困ったことがあったら、個人や家族だけで抱え込まず、地域の民生委員や市町の窓口相談

政策15 ふるさとの暮らしと風景の維持

人口減少・高齢化が進む中、新たな技術や有償ボランティアなどの新たな共助の仕組みを活用し、いつまでも安心して暮らすことができる地域をつくります。また、豊かな自然環境を保全し、自然とともに生きる福井を引き継いでいきます。



【重点施策】

持続可能な次世代コミュニティ創出プロジェクト

人口減少、高齢化集落の増加、集落機能の低下が懸念される中、少ない人員でも持続可能な地域運営を実現するため、新たな技術、民間サービス等の活用や有償ボランティア等の新たな共助の仕組みを導入し、次世代コミュニティを創出します。

特に人口減少や高齢化が著しい地域では、将来にわたって暮らし続けていくことが危ぶまれるため、生活に必要なサービスを備えた集落生活圏の形成を目指します。

○安心して暮らせる集落生活圏の形成

- ・地域住民自らによる主体的な地域の将来プランの策定を支援し、地域課題の解決に向けた取組みを持続的に行う地域運営組織の形成を促進
- ・商店、診療所等の日常生活のサービス機能を一定のエリア内に集約して、周辺集落とコミュニティバス等の交通ネットワークでつなぐ集落生活圏の形成
- ・子育て世帯等による空き家の取得やリフォーム・旧耐震住宅の建替え等への支援により、空き家の活用や既存の生活圏への誘導を促進 など

○地域の力を最大活用

- ・地域に根差した民間のサービスや乗り合いタクシー事業と連携した地域の見守り活動や配食・配達の仕組みづくり
- ・農作業や除雪等に、地域外の方の力を借りる有償ボランティアの仕組みを構築
- ・地域住民が民間サービスのラストワンマイル※配送を請け負うなど、新たな地域ビジネスの創出 など

※ラストワンマイル：地区内の拠点施設から自宅までの道のり

○新技術の活用による課題解決

- ・ライドシェアによる移動手段の確保などICTやスマホを使ったシェアサービス等の活用
- ・人口減少などの地域課題解決に5Gを活用し、自動走行による地域住民の移動手段の確保、除雪車の遠隔運行支援等を検討 など

モデル地区における実施成果をもとにノウハウを構築し、課題解決の仕組みとして他地域に展開



政策15 ふるさとの暮らしと風景の維持

【施策15-1】「住みやすさ改革」による豊かな地域コミュニティづくり

集落機能の維持・活性化に対する支援やICTの活用や民間サービスとの連携による新たな共助の仕組みづくりなどを進め、地域社会の活力を維持します。

No.	主な取組み	SDGs
①	<p>将来にわたる集落機能の維持・活性化 地域住民自らによる将来プランの策定を支援し、地域課題の解決に向けた取組みを持続的に行う地域運営組織の形成を促進します。 また、市町が「集落活性化計画」に基づき実施する、複数集落による防災・除雪・祭事等の活動や集落支援員の設置などの施策を支援します。</p>	(⑪まちづくり)  
②	<p>安心して暮らせる集落生活圏の形成 商店、診療所等の日常生活のサービス機能を一定のエリア内に集約して、周辺集落とコミュニティバス等の交通ネットワークでつなぐ集落生活圏を形成します。集落機能の維持・活性化に必要となる市街化調整区域などの土地利用については、市町と協働し地域の実情に応じた取組みを進めます。</p>	(⑪まちづくり)  
③	<p>小さな拠点による「つながり力」の強化 空き家等を活用し、地域の住民が寄り合う拠点「ふるさと茶屋」の整備や住民協同で実施するコミュニティ・ビジネス等の活動経費を支援し、地域の「つながり力」を強化します。</p>	(⑪まちづくり)  
④	<p>空き家の活用や取り壊しの促進 地域の住環境を持続的に維持していくため、子育て世帯等による空き家の取得やリフォーム・旧耐震住宅の建替え等への支援による空き家の活用や既存の生活圏への誘導に加え、老朽空き家やその予備軍の取り壊しを市町と連携して促進します。</p>	(⑪まちづくり)  
⑤	<p>人口減少時代に対応した仕組みづくり 民間の配送サービスや乗り合いタクシー事業と連携した高齢者等の見守り活動、通院・買い物支援、配食・配達などの仕組みや、農作業や除雪など有償ボランティアによる生活支援など、新たな仕組みづくりを進めます。</p>	(⑪まちづくり)  
⑥	<p>次世代型コミュニティの実現 ICTを活用したシェアサービスや5Gなどの新技術、地域に根差した民間サービス、有償ボランティア等を組み合わせた、地域住民による持続可能な次世代型コミュニティ活動を行うモデル事業を実施し、ノウハウを構築して他の地域に展開していきます。</p>	(⑪まちづくり)   
⑦	<p>快適な暮らしを支えるインフラ施設の構築 これまでの車中心から歩行者を中心とした道路空間への再整備や、河川の親水空間としての維持・保全、污水处理施設の整備・維持等、快適な生活基盤を整備します。</p>	(⑪まちづくり)  
⑧	<p>鳥獣害に負けない体制づくりの強化（再掲） 農作物の鳥獣被害を減らすとともに、高齢化や人口減少が著しい地域においては、侵入防止柵の設置や維持管理について、複数集落が連携して取り組む地域をモデル地区とするなど、共助による集落を越える広域的な取組みを推進・拡大します。</p>	(⑪まちづくり)   

政策15 ふるさとの暮らしと風景の維持

【施策15-2】美しい景観の保全・形成





歴史的まちなみや優れた自然景観など、美しい福井の風景を保全・形成します。

No.	主な取組み	SDGs
①	<p>景観の保全・活用</p> <p>越前海岸の水仙畑など重要文化的景観の選定を目指す地域の景観づくり、「福井ふるさと百景」や伝統的民家の保全・活用など様々な団体と連携した地域活動等を市町とともに支援します。</p>	<p>⑪まちづくり</p> 
②	<p>広域景観の形成</p> <p>北陸新幹線沿線や若狭里山里海湖など6の広域景観軸について、視点場整備や植樹・植栽等を支援し、魅力ある景観を創出します。</p>	<p>⑪まちづくり</p> 
③	<p>美しい田園や森林風景の維持</p> <p>ひまわりやコスモス等の景観植物の植栽、若狭牛の放牧などにより魅力のある田園風景を維持するとともに、山ぎわでの計画的な間伐のほか、里山への花木等の広葉樹の植栽などにより美しい森林を保全します。</p>	<p>⑮陸上資源</p> 
④	<p>緑と花の県民運動を推進（再掲）</p> <p>北陸新幹線福井・敦賀開業に向けて、県民が主体となって森林や木、花に関わる「緑と花の県民運動」を推進し、主要駅や観光地周辺を花で彩る運動の定着を目指します。</p>	<p>⑪まちづくり</p> 
⑤	<p>クリーンアップふくい推進</p> <p>美しい海岸や河川、まちなみなどを守るため、地域住民や企業、団体、行政が協働して清掃活動を行う「クリーンアップふくい大作戦」を実施し、環境美化活動とともに海洋プラスチックごみの流出防止を進めます。</p>	<p>⑫生産・消費</p> 
⑥	<p>環境保全対策の推進</p> <p>身近な水辺や清流を保全するため、河川、湖沼、海などの水質監視を行うとともに、事業者等への指導を徹底します。</p>	<p>⑥水・衛生</p> 

政策15 ふるさとの暮らしと風景の維持

【施策15-3】里山里海湖の保全・活用

暮らしの中で守られてきた豊かな自然環境を保全し、その魅力をまちづくりや交流人口の拡大に活用します。

No.	主な取組み	SDGs
①	<p>自然再生の推進</p> <p>三方五湖、北潟湖の自然再生事業を、漁業者、農業者、地域の団体等と協働して進めます。また、里山の保全、外来生物対策、希少な動植物の保全などに取り組む県内各地の団体を支援します。</p>	<p>⑪まちづくり</p> 
②	<p>自然体験拠点の形成</p> <p>ふくいの自然を体験する機会を充実させるため、日本一の星空を持つ六呂師高原の自然保護センターなど自然公園内の自然体験施設の再整備を進めます。</p>	<p>⑪まちづくり</p> 
③	<p>年縞博物館の魅力充実</p> <p>年縞博物館において、里山里海湖研究所と立命館大学等による世界トップレベルの共同研究を進めるとともに、特別企画展の開催や縄文博物館と連携したPRなど誘客を促進します。</p>	<p>⑪まちづくり</p> 
④	<p>コウノトリが生息できる自然環境の創出</p> <p>コウノトリの舞う豊かな自然環境を保全・再生し、県内での定着を進めるため、水田などで環境配慮型農業に取り組む農業者や、巣塔の設置を希望する地域を支援します。</p>	<p>⑮陸上資源</p> 
⑤	<p>自然と触れ合う機会の充実</p> <p>自然保護センター、海浜自然センターにおいて自然観察会を開催するなど、自然を体験する機会を提供するとともに、「学びの森」などの里山で自然体験を提供する活動を支援します。</p>	<p>⑪まちづくり</p> 

政策15 ふるさとの暮らしと風景の維持

【施策15-4】エネルギーと資源の循環型社会の構築

2050年に二酸化炭素排出量を実質ゼロにすることを目指して、再生可能エネルギーの導入等を進めるとともに、食品廃棄物やプラスチックごみ削減などの環境対策を推進します。







No.	主な取組み	SDGs
①	<p>未来を守るストップ温暖化</p> <p>温暖化対策の重要性への理解を深め、県民や事業者の自主的な省エネ行動を促す「エコチャレの日」を実践するとともに、省エネ性能の高い住宅や水素ステーションの整備等による次世代自動車の普及など、地球温暖化の防止につながる取組みを進めます。</p>	<p>(13 気候変動)</p> 
②	<p>企業の省エネ対策の推進</p> <p>省エネに向けた業種ごとのガイドライン策定による中小企業の省エネ対策への支援など、企業における地球温暖化対策を強化します。</p>	<p>(13 気候変動)</p> 
③	<p>再生可能エネルギーの導入拡大</p> <p>温室効果ガスの削減や災害時のエネルギー確保を図るため、小水力発電や風力発電など地域資源を活かした再生可能エネルギーについて、県民・事業者の理解を得ながら導入拡大を進めます。</p>	<p>(7 エネルギー)</p> 
④	<p>嶺南スマートエリアの整備</p> <p>嶺南地域において、太陽光発電・蓄電池・HEMS※を搭載したスマートハウスが集まる住宅団地の開発やエネルギーを効率的に利用する仕組み（VPP※）の構築を推進します。</p> <p>※HEMS(Home Energy Management System)： 家庭内のエネルギー使用状況を見える化し、エネルギー使用を制御して省エネ化するシステム</p> <p>※VPP（バーチャルパワープラント：仮想発電所）： 多数の小規模な発電所や電力の需要抑制システムをまとめて制御すること。一つ一つは小規模なリソースでも、IT技術を活用・連動することで需給バランスを最適化できる。</p>	<p>(7 エネルギー)</p> 
⑤	<p>循環型社会の推進</p> <p>環境への負荷をできるだけ低減し、限りある資源の有効活用を進めるため、プラスチックごみの削減や、おいしいふくい食べきり運動、雑がみの分別回収強化などにより、ごみの減量化とリサイクルを推進します。</p>	<p>(12 生産・消費)</p> 

政策15 ふるさとの暮らしと風景の維持

〔政策目標〕

- 都市部との交流の増加やシェアサービス、有償ボランティア等の新たな共助の仕組みの構築などにより、地域コミュニティが持続して運営されていること
- 県民一人ひとりの環境を守り、活かす行動が進み、豊かな自然環境や美しい景観が磨かれていること

〔KPI（重要業績評価指標）〕

指標	現状	目標	SDGs
地域運営組織の数 （地域課題解決に向けた取組みを持続的に行う住民組織） （福井県調べ）	46 組織 (2018)	60 組織 (2024)	(11)まちづくり 
次世代コミュニティ創出モデルの取組地区数・導入サービス件数 （福井県調べ）	—	3 地区 6 サービス (2024)	(11)まちづくり 
汚水処理人口普及率 （福井県調べ）	96.1% (2018)	98% (2024)	(6)水・衛生 
自然再生取組地域数 （福井県調べ）	9 地域 (2018)	14 地域 (2024)	(6)水・衛生 
温暖化対策を意識し節電等に積極的に取り組む県民の割合 （福井県調べ）	29% (2016)	50% (2022)	(13)気候変動 
県内中小企業の省エネを推進するためのガイドライン策定業種数（福井県調べ）	—	14 業種 (2024)	(13)気候変動 

政策15 ふるさとの暮らしと風景の維持

〔関連する主な計画等〕

福井県環境基本計画、福井県廃棄物処理計画、新ふくいの農業基本計画

しあわせアクション ～目標達成への小さな行動（例）～

- 地域の行事や祭り、自治会活動に積極的に参加
- 地域外からの人材をおもてなしの心で積極的に受け入れ
- マイボトルの活用によるプラスチックごみの削減や、食べきりによる食品ロスの削減などに取り組む
- エコマーク付き商品など環境に配慮した商品を積極的に購入する
- 学びの森などで自然体験活動に参加し、自然と触れ合う機会を増やす
- 植樹ますなど道路空間での花の植栽や清掃などの美化を行う道守活動に参加
- 河川の清掃、草刈などを行う川守活動に積極的に参加
- 家庭における節電や公共交通機関の利用など手軽にできる省エネ活動「エコチャレふくい」に取り組む

政策16 防災・治安先進県ふくいの実現

頻発・激甚化する自然災害に対し、県土強靱化の推進や地域防災力の向上により備えを万全にするとともに、子どもや女性、高齢者などが犯罪等に巻き込まれない安心して暮らせる社会を実現します。



【重点施策】

安心の防災基盤強化プロジェクト

様々な自然災害から県民の生命や財産を守るため、地域の住民、企業などが一体となって災害に備える体制を整えるとともに、情報通信技術の活用、治水対策やインフラ老朽化対策を進め、ソフト・ハード両面から災害に強い基盤を形成します。

○地域一体で進める防災力の強化

- ・大規模災害時に情報収集、避難誘導・安否確認、避難所運営などを行う大規模災害団員の確保支援
- ・地域と防災協定を締結した企業に対する防災資機材購入の支援
- ・住民参加による地域防災マップの作成、マップを使用した防災訓練の支援
- ・防災士の養成や防災意識の醸成に向けた防災教育の充実 など

○情報通信技術を活かした災害対応の充実

- ・県災害情報システムを見直し、災害時の情報収集・伝達手段を多重化、多言語化
- ・IT機器を活用した避難所運営支援 など

○県土強靱化の推進

- ・河川やダムを整備、農地の適切な保水管理による水田貯留機能の維持等の治水対策、砂防堰堤等の整備による土砂災害対策の推進
- ・生活・社会基盤の耐震化や雪に強いみちづくりの推進
- ・「予防保全」の考え方にに基づき、橋梁やトンネル、ダム、下水道等のインフラを計画的に補修 など



防災訓練



河川拡幅工事（天王川）

政策16 防災・治安先進県ふくいの実現

【施策16-1】人と技術による地域防災力の向上

県と市町の連携・協力の強化のほか、地域の自助・共助による防災力と新技術の力を融合し、自然災害などへの対応力を向上します。

No.	主な取組み	SDGs
①	<p>地域の防災力を多面的に強化</p> <p>地域と連携して防災活動を行う企業の支援、大規模災害団員の確保、地域防災マップやタイムラインの作成・訓練への支援、外国人の防災訓練への参加などを総合的に実施し、地域における共助の力を高めます。</p>	<p>⑪まちづくり</p> 
②	<p>「自分の命は自分で守る」防災意識の醸成</p> <p>若者対象の防災キャンプ、現役世代対象の企業内での防災研修など、世代ごとに切れ目なく防災教育を実施し、一人ひとりの防災意識の変革を促すとともに、各地域において防災士の養成を進めます。</p>	<p>④教育</p> 
③	<p>行政による防災対応・支援機能の強化</p> <p>道路や河川への監視カメラの設置や県民衛星などのデータ等により防災情報提供を充実し、行政の防災対応力を強化します。</p> <p>また、県災害情報インターネットシステムの見直しにより、情報伝達手段を多重化・多言語化するとともに、市町の避難情報発令やIT機器を活用した避難所運営などを支援します。</p>	<p>⑪まちづくり</p> 
④	<p>行政の連携による防災体制強化</p> <p>県、市町、消防職員の人事交流を進め、職員の災害対応力を強化します。</p> <p>また、国・県・市町による減災対策協議会において水害対策を一体的に進めるとともに、市町の洪水ハザードマップ作成を支援します。</p>	<p>⑪まちづくり</p> 
⑤	<p>企業の防災・減災対応力を強化</p> <p>企業の事業継続計画(BCP)の策定を支援し、災害や感染症の発生等の緊急時における県内企業の被害の最小化および早期復旧の体制を構築します。</p> <p>また、商工会・商工会議所が市町と共同して小規模な企業の事業継続力強化を支援する取組みを後押しします。</p>	<p>⑪まちづくり</p> 
⑥	<p>新たな感染症への対応強化</p> <p>感染症の発生に備え検査・医療体制を充実させるとともに、手洗い、マスク着用等の予防策の徹底を図るなど、感染拡大を防ぐための対策を局面に応じ適切に講じます。また、災害時の避難所運営における感染症対策を徹底します。</p>	<p>③健康・福祉</p> 

政策16 防災・治安先進県ふくいの実現

【施策16-2】災害に強く、安心して暮らせる福井の基盤を構築

自然災害による被害を最小限に抑え、県民の命や財産を守るため、県土の強靱化を推進するとともに、地域防災力維持のため、建設産業の担い手確保に取り組み、将来にわたり誰もが安心して暮らせるための基盤を構築します。

No.	主な取組み	SDGs
①	事前防災対策による「県土強靱化」の推進 自然災害に対し、人命を守り、救命・救急活動を迅速に行い、生活・経済活動を早期に回復させるため、橋梁、下水道施設等の耐震化、治水・土砂災害防止施設の整備、総合治水の推進、道路斜面对策、道路雪対策、住宅の耐震化などの事前防災対策を強化し、県土の強靱化を推進します。	⑪まちづくり 11 住み続けられるまちづくりを 9 産業・インフラの持続可能な発展を 13 気候変動に具体的な対策を
②	予防保全に基づいた老朽化対策によるインフラ施設の安全確保 予防保全の考え方による計画的な補修を行い、橋梁等の公共インフラ施設の老朽化に対応するとともに、県・市町で共有したインフラ管理システムを運用し、効率的な維持管理によるコスト縮減、予算の平準化および施設の長寿命化を図ります。	⑪まちづくり 11 住み続けられるまちづくりを 9 産業・インフラの持続可能な発展を 13 気候変動に具体的な対策を
③	誰もが安心して暮らせるための環境・基盤づくり 無電柱化やブロック塀の安全対策等を実施し、災害時における通行空間の確保や電力・情報通信ネットワークの安全性・信頼性を確保します。 また、空き家の取得・リフォームへの支援等による活用や老朽空き家等の除却を進め、安全・安心な暮らしの確保を進めます。	⑪まちづくり 11 住み続けられるまちづくりを 13 気候変動に具体的な対策を 17 持続可能な開発を
④	建設産業の担い手確保による地域防災力の維持 地域防災力を維持するためには、建設産業の担い手確保が必要不可欠であることから、建設産業への関心を高め、イメージアップを図るとともに、建設産業における働き方改革や就業環境の改善、多様な人材活用を推進します。	⑪まちづくり 11 住み続けられるまちづくりを 8 持続可能な開発を 13 気候変動に具体的な対策を
⑤	災害から農山漁村のくらしを守る基盤整備（再掲） 老朽化した農業水利施設、治山施設、海岸・漁港施設などの機能強化や長寿命化対策に加え、事前防災・減災に向けた効果的な予防対策を推進し、災害に強い生産基盤をつくとともに、農山漁村の生活の安全・安心を確保します。	⑪まちづくり 11 住み続けられるまちづくりを 2 質の高い雇用を 13 気候変動に具体的な対策を
⑥	被害防止につながる地域活動の継続（再掲） 中山間地域等直接支払制度や多面的支払交付金等を活用した地域の共同活動に継続して取り組むことにより、耕作放棄地の増加の抑制や農地の適切な保全管理に基づく水田貯留機能の維持による洪水防止など、農業・農村の有する多面的機能の維持・発揮を図ります。	⑪まちづくり 11 住み続けられるまちづくりを 2 質の高い雇用を 13 気候変動に具体的な対策を
⑦	国土強靱化地域計画の策定支援 大規模災害が発生した際の被害を最小化するため、市町による国土強靱化地域計画の早期策定を支援します。	⑪まちづくり 11 住み続けられるまちづくりを 13 気候変動に具体的な対策を 17 持続可能な開発を

政策16 防災・治安先進県ふくいの実現

〔施策16-2-①関連（中長期的な河川の姿）〕

「県土強靱化」を推進し、安全・安心を確保

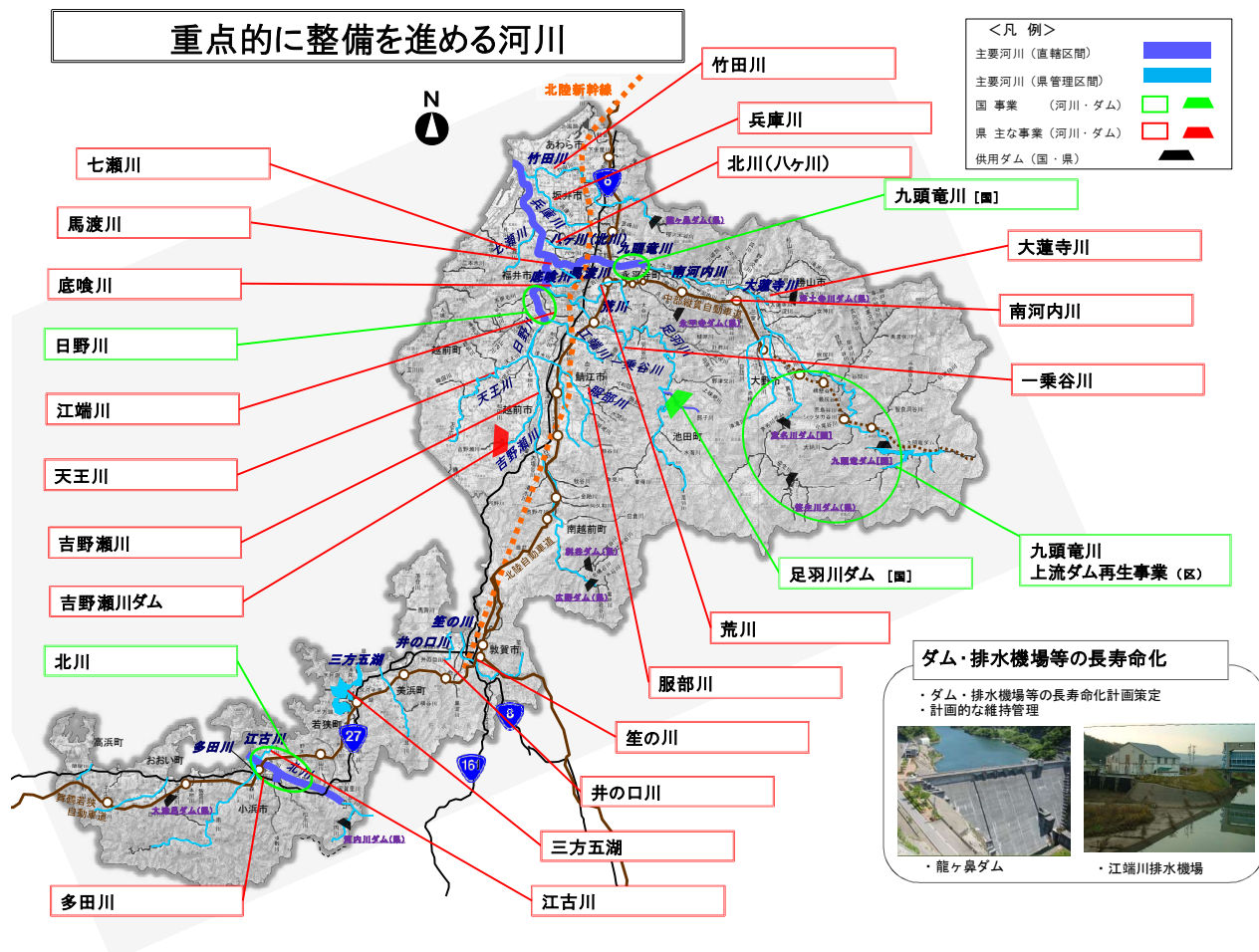
頻発化・激甚化する水害に対する治水安全度の向上を図るため、河川改修やダム等の事前防災対策を重点的に実施し、県民の命と財産を守ります。

○過去に家屋浸水被害の発生した河川、想定氾濫区域に資産が集中する河川の着実な整備

- ・九頭竜川、日野川、北川の河道掘削、堤防強化の促進
- ・底喰川、竹田川、兵庫川、大蓮寺川、笙の川、三方五湖の整備推進 など

○洪水被害の軽減のため、ダム建設事業・ダム再生事業の推進

- ・足羽川ダムの整備促進
- ・九頭竜川上流ダム再生事業の整備促進
- ・吉野瀬川ダムの整備推進 など



政策16 防災・治安先進県ふくいの実現

【施策16-3】県民を守る犯罪・事故等の対策





子ども、女性、高齢者をはじめ県民を犯罪や事故から守る対策を推進し、治安の維持・向上を図ります。

No.	主な取組み	SDGs
①	子ども、女性、高齢者を守る対策の推進 ICTを活用した子どもの見守り強化、女性向けの防犯研修の実施、青少年のインターネット被害や高齢者の消費者トラブルの未然防止対策を進め、声掛け・児童虐待、ストーカー・DV、特殊詐欺等の犯罪から子ども、女性、高齢者を守るとともに、犯罪被害者等への支援を強化します。	(16) 平和・公正 16 平和と公正をすべての人に 5 性別平等
②	犯罪の起きにくい社会づくり 地域安全情報を提供するなど、地域みんなで力を合わせて犯罪の起きにくい社会づくりを推進します。また、刑務所出所者等をサポートする総合窓口への支援や就労支援を行い、再犯の防止に取り組むなど、安全安心な地域づくりを進めます。	(16) 平和・公正 16 平和と公正をすべての人に 10 人や国の不平等をなくす
③	犯罪の取締り強化 殺人・強盗等の重要犯罪や県民が身近に不安を感じる窃盗犯罪の取締り、特殊詐欺や暴力団等反社会的勢力の壊滅に向けた組織犯罪等の取締りを強化します。	(16) 平和・公正 16 平和と公正をすべての人に
④	交通事故防止対策の推進 歩道整備や路面カラー化、横断歩道の安全対策など道路の安全性を確保します。また、高齢歩行者の反射材着用や高齢運転者の限定運転促進等の高齢者安全対策、シートベルト全席着用徹底等の安全意識向上、飲酒・あおり運転等の悪質・危険運転者の取締りなど、総合的な対策を進めます。	(3) 健康・福祉 3 全ての人が健康と福祉を 11 持続可能な都市とコミュニティ A&B 100%
⑤	テロ・大規模災害対策の推進 原子力関連施設をはじめとする重要施設等に対する警戒警備を強化するとともに、大規模災害に的確に対処するための危機管理体制を構築し、テロ、大規模災害等から県民を守ります。	(16) 平和・公正 16 平和と公正をすべての人に 13 気候変動に具体的な対策を
⑥	治安基盤の強化 治安環境の変化に的確に対応し、現場執行力の強化や警察施設・装備の充実整備を進め、治安基盤の強化を図ります。	(16) 平和・公正 16 平和と公正をすべての人に

政策16 防災・治安先進県ふくいの実現


【施策16-4】県民の安全最優先の原子力政策

廃炉、40年超運転、使用済燃料の中間貯蔵など、原子力の様々な課題に対して、県民の安全を最優先し対応します。

No.	主な取組み	SDGs
①	<p>責任ある原子力・エネルギー政策の実行を国に要請 原子力の将来像を明確にするとともに、廃炉、40年超運転、使用済み燃料の中間貯蔵、放射性廃棄物の処分、核燃料サイクルなど、原子力の様々な課題について、責任ある政策の実行を国に求めています。</p>	(7) エネルギー 
②	<p>原子力発電所の運転、もんじゅをはじめとする廃炉作業等を安全最優先で対応 原子力発電所の運転や廃炉作業等の安全性については、県原子力安全専門委員会の審議を通じて厳正に確認し、県民の安全最優先で対応します。</p>	(11) まちづくり 
③	<p>原子力防災対策の充実・強化 市町と協力して原子力防災対策を強化し、地域住民や関係機関とともに実践的な原子力防災訓練などを継続的に実施します。</p>	(11) まちづくり 
④	<p>嶺南地域への自衛隊誘致 地域住民の安全・安心を確保するため、嶺南地域への自衛隊の配備を国に求めます。</p>	(11) まちづくり 

【施策16-5】拉致問題への対応

北朝鮮による拉致問題の解決のための確に対応します。

No.	主な取組み	SDGs
①	<p>拉致問題の啓発と国への要請 北朝鮮による拉致問題を風化させないよう、市町や関係団体と連携し啓発に努めるとともに、国に対し、あらゆる機会を捉え、解決に向けた取組みを要請します。</p>	(16) 平和と公正 

政策16 防災・治安先進県ふくいの実現

〔政策目標〕

- 災害から県民を守るための施設や情報基盤が整備されていること
- 日ごろから県民が災害に備える意識を持ち、地域で対応する力を高めて、万一の災害に対し総合力により被害を最小限にする体制が構築されていること
- 犯罪や事故が減少し、安心して暮らせる社会が実現していること

〔KPI（重要業績評価指標）〕

指標	現状	目標	SDGs
防災士数 （日本防災士機構調べ）	3,150人 （2019）	4,150人 （2024）	⑪まちづくり 
想定最大規模の降雨に対応したハザードマップを作成する市町数 （福井県調べ）	—	17市町 （2024）	⑪まちづくり 
緊急輸送道路における道路斜面对策率 （福井県調べ）	29.7% （2018）	41.0% （2024）	⑪まちづくり 
河川の整備延長（県管理） （福井県調べ）	55.0 km （2018）	59.6 km （2024）	⑪まちづくり 
土砂災害対策施設の整備 （福井県調べ）	988箇所 （2018）	1,019箇所 （2024）	⑪まちづくり 
防犯カメラ設置支援地区数 （地域全体で犯罪抑止に取り組むためカメラを設置する地区） （福井県調べ）	—	50地区 （2024）	⑯平和・公正 

政策16 防災・治安先進県ふくいの実現

〔関連する主な計画等〕

福井県地域防災計画、福井県国土強靱化地域計画、河川整備基本方針
河川整備計画、福井県総合雪対策計画、道路雪対策基本計画、
福井県住宅・宅地マスタープラン
第10次福井県交通安全計画、福井県消費者教育推進計画
福井県再犯防止推進計画

しあわせアクション ～目標達成への小さな行動（例）～

- 災害に備え、日頃から3日分の飲料水、食料等を備蓄
- 家族みんなで地域の防災訓練へ積極的に参加
- 住宅の耐震化、危険なブロック塀の除去、家具の固定を進める
- 地域住民に声かけし、ともに地域防災マップを作成
- 災害に備えBCPを策定するとともに、定期的に社内で防災研修を実施
- 夜間に出かける際には反射材グッズを身に着ける

V ともに進める（総合力）

～協働による県民主役の県政。外に開き連携強化～

目指す将来像を実現するためには、県民・企業・団体・市町が力を合わせ、「チームふくい」一丸となり、行動することが必要です。

そのため、徹底現場主義の考え方のもと、広報広聴機能の強化や県民参加の機会を増やすなど県民の皆さんの声を県政に反映させるとともに、市町とのコミュニケーションを充実させ、新たな協働関係を構築します。

また、県境を越えた周辺の関係自治体との広域連携を強化し、人・モノ・情報の活発な交流を促し、より効果的な施策の展開や共通の課題の解決につなげます。

〔実行する政策〕

政策17 「チームふくい」の行政運営

- 【施策17-1】 県民主役の県政推進
- 【施策17-2】 市町との協働強化
- 【施策17-3】 未来をデザインする政策イノベーション
- 【施策17-4】 仕事の進め方改革と人材の育成
- 【施策17-5】 健全財政の堅持

政策18 広域パートナーシップの強化

- 【施策18-1】 広域連携による高速交通網の整備促進
- 【施策18-2】 広域連携による交流の拡大
- 【施策18-3】 広域連携による防災・医療体制の強化
- 【施策18-4】 自治体ネットワークによる政策立案と提言

政策17 「チームふくい」の行政運営

徹底現場主義の考え方に基づき、県民・企業・団体・市町との協働を進めるとともに、新たな政策形成システムの構築や安定した行財政運営など、将来像の実現に向けた県民主役の県政を推進します。



【重点施策】

市町協働による行政サービス向上プロジェクト

人口減少や地域ごとの課題に対応するため、県と市町が協働で課題解決に取り組み、新時代における住民サービスの向上と行財政運営の効率化を実現します。

○協働による課題解決

- 行政システムや公共施設管理など県・市町共通の課題に関し、県・市町協働の課題解決チームにより解決

[テーマ]

- 財務会計システムなどの行政システムの共同化、物品・役務の共同調達による運営コスト削減
 - 県・市町共通の図書館カードとして利用できるようにするなど、マイナンバーカードの活用による住民の利便性向上
 - 水道の広域連携、下水道等汚水処理の共同化や庁舎など公共施設管理の適正化
 - RPA※業務の市町への展開による業務負担の軽減・効率化 など
- ※RPA（Robotic Process Automation）：ロボット等による業務の自動化

○市町職員の確保支援、県・市町の人事交流促進

- 市町において確保が難しくなっている土木、建築、保健師等の技術職員について、県の採用に上乘せし、確保・育成して市町に派遣
- 消防や災害対応の経験がある市町の消防・防災担当職員等と県の危機対策・防災部局との人事交流を促進
- 災害発生時に、土木職、保健師等の専門チームや必要な人員を派遣する体制を強化 など

○予算編成の協働

- 県・市町若手職員による施策立案チームにより、市町の提案を反映した施策を立案
- 知事と市町長との政策ディスカッションを予算編成前に実施し、事業の方向性を等しくすることにより事業効果を増大 など



市町首長との意見交換会






課題解決チームによる検討

政策17 「チームふくい」の行政運営

【施策17-1】県民主役の県政推進






職員の行動規範となる「クレド」を策定し、職員の自主的な行動を促進するとともに、県民参加により既存事業をゼロベースで見直すなど、県民の声を県政に反映させます。

No.	主な取組み	SDGs
①	<p>クレド（行動規範）の策定・活用</p> <p>職員の行動規範となるクレドを、職員が仕事を進めていくうえで、共通の価値観や考えを持つツールとし、職員の自主的な行動を促進することにより、県民主役の県政を推進します。</p>	<p>⑩パートナーシップ</p> <p>17 パートナリプで目標を達成しよう</p> 
②	<p>徹底現場主義による県政推進</p> <p>既存事業について、現場目線での効果を再確認するとともに、「県民会議」の開催など、県民参加により、ゼロベースで見直しを行います。また、県民と県政をつなぐ広報広聴、県外情報発信を強化します。</p>	<p>⑩パートナーシップ</p> <p>17 パートナリプで目標を達成しよう</p> 
③	<p>現場機能の強化・効率化</p> <p>嶺南振興局長の判断で執行できる枠予算を設定するなど嶺南振興局の機能強化や、道路整備による交通利便性の向上や利用状況の変化、庁舎の老朽化等を踏まえた小規模出先機関の再編などを進めます。</p>	<p>⑩パートナーシップ</p> <p>17 パートナリプで目標を達成しよう</p> 

政策17 「チームふくい」の行政運営

【施策17-2】市町との協働強化





人口減少や地域ごとの課題に対応するため、県と市町が協働して課題解決に取り組み、住民サービスの向上と行財政運営の効率化を目指します。

No.	主な取組み	SDGs
①	県・市町の共通課題への協働対応 財務会計システムなどの行政システムの共同化や公共施設管理の適正化など県・市町共通の課題に関し、県・市町協働の課題解決チームにより解決を進めます。	(17) パートナリーシップ 17 パートナリーシップで目標を達成しよう 
②	市町職員の確保支援 市町において確保が難しくなっている土木、建築、保健師等の技術職員について、県の採用に上乘せし、確保・育成して市町に派遣します。	(17) パートナリーシップ 17 パートナリーシップで目標を達成しよう 
③	防災力の強化 県・市町の防災力強化に向け、消防や災害対応の経験がある市町の消防・防災担当職員等と県の危機対策・防災部局との人事交流を促進します。	(11) まちづくり 11 住み続けられるまちづくりを 13 気候変動に具体的な対策を 17 パートナリーシップで目標を達成しよう 
④	県と市町の行政サービスの一元化推進 県・市町共通の図書館カードとして利用できるようにするなどマイナンバーカードの活用による住民の利便性向上や、電子入札など県・市町の行政システムの共同化を検討します。	(17) パートナリーシップ 17 パートナリーシップで目標を達成しよう 
⑤	予算編成の協働 県・市町若手職員による施策立案チームにより市町の提案を反映した施策を立案するとともに、知事と市町長との政策ディスカッションを予算編成前に実施し、事業の方向性を等しくすることにより事業効果を増大します。	(17) パートナリーシップ 17 パートナリーシップで目標を達成しよう 

政策17 「チームふくい」の行政運営

【施策17-3】未来をデザインする政策イノベーション

SDGsの理念に基づく県政運営や、「デザイン思考」による「課題解決型」から「価値創造型」への政策のモデルチェンジなど、新たな政策形成システムを構築します。

No.	主な取組み	SDGs
①	<p>SDGsの推進</p> <p>SDGsの目標に沿って県政を推進するとともに、SDGsの理念を普及させるためのセミナー・フォーラムの開催、行政・企業等のネットワーク構築による先進事例や導入効果の周知など、あらゆる機関や県民のSDGs達成に向けた取組みを促進します。</p>	
②	<p>デザイナーのアイデアを政策に反映する仕組みの構築</p> <p>県政における重要課題に対し、県内デザイナー等から、これまでとは異なる発想や新たなアイデアを得る相談会をワークショップ形式で実施し、創造的な政策の立案につなげます。</p>	
③	<p>デザインの視点を浸透</p> <p>デザイン思考の考え方を習得する職員研修により、職員のレベルアップを図るとともに、国内トップクラスのデザイナーやコピーライター等を招聘したセミナーを開催し、デザイン思考やデザイナー活用の県内普及に努めます。</p>	
④	<p>OODAループによる政策形成</p> <p>徹底現場主義による課題の発見（Observe）から、県民の皆さんと問題意識を共有（Orient）し、迅速に政策の方向性を決め（Decide）、実行（Act）するOODAループによる政策形成を推進し、社会環境の変化に柔軟かつ迅速に対応します。</p>	

政策17 「チームふくい」の行政運営

【施策17-4】仕事の進め方改革と人材の育成





業務の効率化や多様な働き方を推進し、現場に出向き県民の声を聴く機会を生み出すとともに、職員の能力や意欲を高めるため、人事制度の見直しなどを進めます。

No.	主な取組み	SDGs
①	<p>A I等の積極活用</p> <p>会議録作成等の定型業務や県民等からの問合せ対応の自動化、ペーパーレス会議やWeb会議の導入による情報共有など、A I・RPA※等の新技術を積極的に活用し、事務処理を効率化します。</p> <p>※RPA（Robotic Process Automation）：ロボット等による業務の自動化</p>	<p>⑧成長・雇用</p> 
②	<p>効率的な働き方・多様な働き方の推進</p> <p>超過勤務の上限時間の適正管理や従来の行政事務・ルールの見直し、テレワークやフレックスタイム制の検討などにより、効率的・多様な働き方を推進します。</p>	<p>⑧成長・雇用</p> 
③	<p>手続におけるオンライン化の推進</p> <p>電子決裁やキャッシュレスの導入を推進するとともに、電子申請の拡大、マイナンバーカードの多機能化を進めます。</p>	<p>⑧成長・雇用</p> 
④	<p>適正な人員配置と能力・多様性の向上</p> <p>全国最少水準の職員数を基本としつつ、新幹線開業対策などの重点分野等に必要な人員を配置するとともに、県内中小企業との人事交流や地域のプレイヤーとして活躍するための兼業の推奨、職員の意欲を高める人事制度の見直しなどを進め、職員の能力・多様性を向上します。</p>	<p>④教育</p> 
⑤	<p>女性職員の活躍推進</p> <p>仕事と家庭が両立できる環境づくり、管理職を担う人材の育成、意欲と能力に応じた適材適所への配置など、女性職員が一層活躍できる職場づくりを進め、女性管理職の割合を引き上げます。</p>	<p>⑤ジェンダー</p> 
⑥	<p>グローバル人材の育成・活躍推進</p> <p>海外機関等に職員を派遣し、インバウンド拡大や食の輸出促進等の業務に活かすとともに、留学生等の外国人材による福井の魅力の海外発信等を推進します。</p>	<p>④教育</p> 

政策17 「チームふくい」の行政運営

【施策17-5】健全財政の堅持

北陸新幹線など大型プロジェクトの財源を安定して確保するとともに、歳出の合理化・重点化を進め、健全な財政運営を行います。

No.	主な取組み	SDGs
①	歳入の確保 北陸新幹線等の整備財源を安定して確保するため、超長期債の発行等による公債費の平準化や県債管理基金の債券運用の拡大等を進めます。	(17) パートナリーシップ 17 パートナリーシップで目標を達成しよう 
②	歳出の合理化・重点化 北陸新幹線福井・敦賀開業の効果を最大化させるための事業を重点的に実施するとともに、部局長権限で執行できる「政策トライアル枠予算」により、試行結果をもとに機動的に新規事業を立案します。	(17) パートナリーシップ 17 パートナリーシップで目標を達成しよう 
③	県有資産のマネジメント強化 県有資産の長寿命化や国土強靱化に向けて、公共施設の維持管理、修繕、更新等を計画的に行うことにより予算を平準化するとともに、国交付金を十分活用し、長期的な財政負担の軽減を図ります。	(11) まちづくり 11 住み続けられるまちづくりを 9 産業と雇用 13 気候変動 
④	収支見通しに基づく健全な財政運営 予算編成とあわせて今後10年間の財政収支見通しを毎年度策定・公表するとともに、財政調整基金残高の確保、県債残高の適正管理に努め、健全財政を堅持します。	(17) パートナリーシップ 17 パートナリーシップで目標を達成しよう 

政策17 「チームふくい」の行政運営

〔政策目標〕

- 職員一人ひとりがクレドに基づき自らの判断で責任を持って行動し、徹底現場主義による県民主役の県政が推進されていること
- 健全財政が堅持されていること

〔KPI（重要業績評価指標）〕

指標	現状	目標	SDGs
市町との協働により新たに課題解決できた数 （福井県調べ）	—	7件 （2020～2023計）	⑩パートナーシップ 17 パートナーシップで 目標を達成しよう 
職員一人あたりの年間超過勤務時間 （福井県調べ）	177時間 （2018）	125時間 （2023）	⑧成長・雇用 8 働きがいも 経済成長も 
県職員の女性管理職割合 （福井県調べ）	14.7% （2019）	20.0% （2023）	⑤ジェンダー 5 ジェンダー平等を 実現しよう 8 働きがいも 経済成長も 10 気候変動に 適応しよう 
財政調整基金残高 （福井県調べ）	147億円 （2018）	100億円以上 （2023）	⑩パートナーシップ 17 パートナーシップで 目標を達成しよう 
将来負担比率 （福井県調べ）	169.7% （2018）	200%未満 （2023）	⑩パートナーシップ 17 パートナーシップで 目標を達成しよう 
県債残高 （福井県調べ）	4,792億円 （2018）	6,000億円未満 （2023）	⑩パートナーシップ 17 パートナーシップで 目標を達成しよう 

（※）行財政改革アクションプランの計画期間である2023年度までの目標とする。

〔関連する主な計画等〕

行財政改革アクションプラン

しあわせアクション ～目標達成への小さな行動（例）～

- 県政に関心を持ち、県の広報誌等により県政に関する情報を収集
- 広聴の機会等を通じ、県政に対して積極的に意見
- マイナンバーカードを積極的に活用
- これまで紙により申請していた行政手続を電子申請により実施

政策18 広域パートナーシップの強化

北陸新幹線や中部縦貫自動車道などの高速交通網の整備に伴い、増大が見込まれる人・モノ・情報の活発な交流を促進するとともに、大規模化する災害等に迅速かつ的確に対応するため、県境を越えた連携体制を構築します。



【重点施策】

地方連携による基盤整備・交流拡大プロジェクト

広域連携の強化により、北陸新幹線や中部縦貫自動車道、舞鶴若狭自動車道などの高速交通網や県境道路を着実に整備し、より近くなる沿線自治体との相互交流を活発化します。

○北陸新幹線、中部縦貫自動車道など高速交通網の整備促進

- ・2022(令和4)年度末までの北陸新幹線福井・敦賀開業の確実な実現と、切れ目ない敦賀・新大阪間の工事着手による早期全線開業を、関西をはじめ沿線自治体と一体となって政府・与党に強く要請
- ・北陸新幹線福井・敦賀開業と同時期に、中部縦貫自動車道大野油坂道路や国道417号冠山峠道路の開通が実現できるよう、沿線自治体と一体となって政府・与党に強く要請
- ・舞鶴若狭自動車道の早期全線4車線化や国道8号石川県境部の整備などを促進するため、県境を越えた沿線自治体と一体となって政府・与党に強く要請 など

○「県境フロンティア」観光の推進

- ・首都圏から、北陸・甲信越・東海を巡る「ぐるっと一周コース」を確立し、沿線自治体が一体となって誘客促進
- ・中部縦貫自動車道の開通により、奥越地域と中京圏を結ぶ「越美線」沿線の観光地や「道の駅」をつなぐモデルコースの提案
- ・冠山峠道路の整備により、池田町の森林体験や丹南地域のものづくりを活かした新たな観光ルートの構築
- ・ワールドマスタースゲームズ2021関西や大阪・関西万博を契機とした、関西のDMO等との連携によるインバウンド呼び込みの強化
- ・兵庫や京都との連携による外国人向けの観光素材の磨き上げと北近畿の周遊ツアーの開発 など



関西、北陸の自治体や経済団体が交流






整備が進む北陸新幹線
(九頭竜川橋梁)

政策18 広域パートナーシップの強化

【施策18-1】広域連携による高速交通網の整備促進





関西・中部・北陸の各府県と足並みを揃えた国への要請等により、県境フロンティア政策の基盤となる北陸新幹線や中部縦貫自動車道といった高速交通網の整備を促進します。

No.	主な取組み	SDGs
①	<p>北陸新幹線の整備促進（再掲）</p> <p>2022（令和4）年度末までの北陸新幹線福井・敦賀開業の確実な実現と、切れ目ない敦賀・新大阪間の工事着手による早期全線開業を、関西をはじめ沿線自治体と一体となって政府・与党に強く要請します。</p>	<p>⑪まちづくり</p> 
②	<p>中部縦貫自動車道の整備促進</p> <p>北陸新幹線福井・敦賀開業と同時期に、中部縦貫自動車道大野油坂道路の開通が実現できるよう、沿線自治体との連携を強化し一体となって政府・与党に強く要請します。</p>	<p>⑪まちづくり</p> 
③	<p>県際道路の整備促進</p> <p>広域ネットワークの基盤となる県際道路について、隣接府県と連携した建設や政府・与党への要請により、未開通区間の早期整備を促進します。</p>	<p>⑪まちづくり</p> 

政策18 広域パートナーシップの強化

【施策18-2】広域連携による交流の拡大

高速交通網の整備により近くなる近隣都府県との連携を強化し、人・モノ・情報の交流を拡大します。

No.	主な取組み	SDGs
①	<p>国内外からの広域観光</p> <p>文化、自然、食に共通点のある北陸地域や中部圏が連携し、都市圏や海外に対して観光情報の発信を行います。</p> <p>また、北陸新幹線や県際道路沿線の観光地・道の駅をつなぐモデルコースにより、広域圏全体の人の交流を活発化させます。</p>	<p>(8)成長・雇用</p> 
②	<p>インバウンドの拡大</p> <p>他県との連携による海外旅行展示会への共同出展、学校交流を伴う海外からの教育旅行やアジア企業の報奨旅行の誘致などにより、インバウンドをさらに拡大します。</p> <p>また、ワールドマスターズゲームズ 2021 関西や大阪・関西万博を契機とした、関西のDMO等との連携によるインバウンド呼び込みを強化します。</p>	<p>(8)成長・雇用</p> 
③	<p>港湾の利活用</p> <p>近隣府県と連携し、大規模災害発生時の海上ルートの確保というBCPの観点から関西・中京圏企業の利用拡大を図り、敦賀港の物流を拡大します。</p> <p>また、海外クルーズ船社に対する広域観光ルートの提案を強化し、海外クルーズ客船をさらに誘致します。</p>	<p>(8)成長・雇用</p> 
④	<p>小松空港の利活用</p> <p>石川県とともに小松空港の羽田便や上海便など既存路線のさらなる利用促進、新規需要の開拓を行います。</p>	<p>(8)成長・雇用</p> 

政策18 広域パートナーシップの強化

【施策18-3】広域連携による防災・医療体制の強化

自然災害や疾病等に備えた情報共有や広域的な訓練、災害発生時の迅速な対応に向け、広域連携を強化します。

No.	主な取組み	SDGs
①	行政の連携による防災体制強化 地震や水害、大雪などの大規模な自然災害への備えとして、広域防災訓練の実施や、近隣県と応援手順や資機材等の情報の共有を行います。	(①まちづくり) 11 安全な都市づくり 13 気候変動 17 パートナーシップ
②	災害からの復旧・復興 災害対応により一時期に業務量が増え、人員確保が困難となる土木、建築、保健師等の技術職員や行政職員について、被災地自治体の要望により派遣を行うとともに、速やかな住民生活の復旧のため、災害ボランティアを派遣します。	(①まちづくり) 11 安全な都市づくり 13 気候変動 17 パートナーシップ
③	家畜の疾病対策 近隣県や関係県が連携し、速やかな情報共有と県を跨いだ対策により、CSF（豚熱）やASF（アフリカ豚熱）、口蹄疫、鳥インフルエンザなどの家畜の疾病の感染拡大を防止します。	(②飢餓・食料) 2 飢餓をゼロに 17 パートナーシップ
④	広域医療体制の整備 2021（令和3）年度に予定している本県単独のドクターヘリ導入にあわせ、隣接県と連携した新たな運航体制を構築します。	(③健康・福祉) 3 すべての人に健康と福祉を 17 パートナーシップ

【施策18-4】自治体ネットワークによる政策立案と提言

全国規模で共通の課題を持つ関係自治体が連携し、地域の実情を踏まえた施策を立案するほか、国等に対しても提言を行います。

No.	主な取組み	SDGs
①	都道府県連携の推進 全国知事会、ブロック知事会、近隣県知事との懇談会を通じ、地方発の課題を共有し、解決のための先進的な施策を集約して、国へ提言します。	(⑩パートナーシップ) 17 パートナーシップで目標を達成しよう
②	共通意識をもつ自治体の広域連携 将来世代応援知事同盟などの共通課題を持つ自治体との連携や、ふるさと納税の健全な発展を目指す自治体連合などの全国ネットワークにより、新たな地方自治モデルを立案・実施するとともに、国へ提言します。	(⑩パートナーシップ) 17 パートナーシップで目標を達成しよう

政策18 広域パートナーシップの強化

〔政策目標〕

- ブロック知事会等を通じた国への要望など近隣県との連携により、北陸新幹線や中部縦貫自動車道など高速交通網の整備が促進されること
- 人・モノ・情報の活発な県際交流が拡大していること

〔KPI（重要業績評価指標）〕

指標	現状	目標	SDGs
他都府県等と新たに連携して実施するプロジェクト数	10 (2015～2019計)	15 (2020～2024計)	(17)パートナーシップ 17 国連持続可能な開発目標 

〔関連する主な計画等〕

福井県高速交通開通アクション・プログラム、道路の将来ビジョン
 ふくい観光ビジョン、FIRST291～北陸新幹線開業プラン～
 福井経済新戦略

参考

〔目指す姿および将来イメージ（第1部 2040年の将来構想）と分野ごとの政策との関係〕

分野	政策	3つの目指す姿			6つの将来イメージ					
		自信と誇りのふくい	誰もが主役のふくい	飛躍するふくい	国土強化の新ネットワーク	ともに楽しむ千年文化	全世代の快適人生	WAKASARIフレッシュエリア	夢がかなう農林水産業	感動につなぐ価値づくり産業
学びを伸ばす （人材力）	1 夢と希望を持ち、 ふくいを愛する子どもの育成	◎	○	○		◎	◎		○	○
	2 ふくいの産業・社会を支える 人づくり		◎	○		○	○		◎	◎
	3 多様な価値観を認め合う 「共生社会」の実現		◎			○	◎			
	4 希望が叶う 「結婚・出産・子育て」応援		◎				◎			
成長を創る （産業力）	5 農林水産業の力で ふくいをブランドアップ	○		◎		○		○	◎	○
	6 地域経済のイノベーション	○		◎		○		○		◎
	7 Society5.0 時代の新産業創出			◎				○	◎	◎
	8 拡大する世界市場を ふくいの成長へ			◎	○	○			◎	◎
楽しみを 広げる （創造力）	9 100年に一度のまちづくり	○		◎	◎	○	○	◎		
	10 北陸新幹線開業効果を最大化	○		◎		◎		○	○	
	11 人が人を呼ぶ、移住・定住新戦略	◎	○	○		○	◎	○	○	○
	12 文化・スポーツがふくいの活力	◎	○	○		◎		○		○
安心を高める （地域力）	13 人生100年時代の 健康ライフスタイル		◎				◎	○		
	14 いつでもどこでも 安心の医療・介護・福祉		◎				◎			
	15 ふるさとの暮らしと風景の維持	◎				○	◎	○	○	
	16 防災・治安先進県ふくいの実現		◎		◎		◎			
ともに進める （総合力）	17 「チームふくい」の行政運営	○	◎	○	○	○	○	○	○	○
	18 広域パートナーシップの強化	○	○	◎	◎	○	○			


4 SDGsの各ゴールに向けた主な取組みとKPI


<p>(貧困)</p>  <p>あらゆる場所のあらゆる形態の貧困を終わらせる</p>	<p>主な取組み（4）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・家庭環境や地域に左右されない教育環境の確保〔1-2-⑦〕 ・ひとり親家庭等が自立して暮らすことができる環境づくり〔4-4-⑤〕 ・就職氷河期世代への就職支援〔6-4-④〕 ・困難事例への対応強化〔14-4-②〕 	<p>KPI（2）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ひとり親家庭等の児童向け学習支援箇所数 60箇所（2024） ・就職氷河期世代の正規雇用者 2,000人増加（2020～2024計）
<p>(飢餓・食料)</p>  <p>飢餓を終わらせ、食料安全保障及び栄養改善を実現し、持続可能な農業を促進する</p>	<p>主な取組み（30）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域産業を担う人材の育成〔2-2-④〕 ・子育てにやさしい地域づくり〔4-4-③〕 ・水田経営の大規模法人の育成〔5-1-①〕 ・大規模水田園芸の推進〔5-1-②〕 ・次世代の農業を担う人材育成〔5-1-⑥〕 ・「知る」、「つくる」、「買う」による食育・地産地消の推進〔5-3-②〕 ・小規模農家等の生産意欲とチャレンジ活動を応援〔5-3-③〕 ・農林水産業の生産力を高める基盤整備〔5-6-①〕 ・「ふくい100彩(さい)ごはん」を開発・普及〔13-2-③〕 ・家畜の疾病対策〔18-3-③〕 	<p>KPI（4）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域の子育てを応援する高齢者やシニア世代の養成数 2,000人（2020～2024計） ・米・園芸産出額 550億円（2024） ・直売所販売額 46億円（2024） ・アジアへの農林水産物・食品輸出額 22億円（2024）
<p>(健康・福祉)</p>  <p>あらゆる年齢のすべての人々の健康的な生活を確保し、福祉を促進する</p>	<p>主な取組み（62）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・若い世代のニーズに合った婚活サポートの充実〔4-1-②〕 ・人の手によるあたたかな出会いのサポート〔4-1-④〕 ・2人目からの経済的支援〔4-2-④〕 ・一滴がん検診の導入〔13-1-①〕 ・フレイル予防・認知症予防の強化〔13-1-②〕 ・歩く県民運動を推進〔13-2-①〕 ・医師の偏在是正〔14-1-①〕 ・医療ニーズに応じた体制づくり〔14-1-③〕 ・回復型フレイルの導入〔14-3-②〕 ・新たな感染症への対応強化〔16-1-⑥〕 ・交通事故防止対策の推進〔16-3-④〕 	<p>KPI（18）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・合計特殊出生率 1.80（2030） ・成人のスポーツ実施率 65%（2024） ・歩数の増加（20～64歳） <ul style="list-style-type: none"> 男性 9,000歩 女性 8,000歩 （2024） ・特定健診受診率 70%（2024） ・フレイルチェック参加者数 延べ2,000人（2024） ・介護従事者数 12,400人（2024）
<p>(教育)</p>  <p>すべての人に包摂的かつ公正な質の高い教育を確保し、生涯学習の機会を促進する</p>	<p>主な取組み（72）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・確かな学力の育成〔1-1-①〕 ・魅力ある県立学校づくりの推進〔1-1-②〕 ・幼児教育の推進〔1-1-③〕 ・たくましく健やかな体を育む教育の推進〔1-2-②〕 ・特別支援教育の推進〔1-2-④〕 ・外国人児童生徒等に対する教育環境の整備〔1-2-⑥〕 ・私立高校の授業料無償化〔1-5-②〕 ・県立大学にシンクタンク機能を整備〔2-1-③〕 ・リカレント教育の充実〔2-3-②〕 ・児童の健全育成〔4-4-⑥〕 	<p>KPI（15）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・課題の解決に向け、自分で考え、自分から取り組む小学生の割合 85.0%（2024） ・地域や社会をよくするために何をすべきかを考えることがある小学生の割合 60.0%（2024） ・PBL・学生が参加する共同研究数 100件（2024） ・県内大学の学部・学科・コースの見直し 7件（2020～2024） ・Fスクエアにおける社会人受講者数 150人（2024）

<p>(ジェンダー)</p>  <p>ジェンダー平等を達成し、すべての女性及び女児の能力強化を行う</p>	<p>主な取組み（14）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・お互いを尊重し豊かな心を育む教育の推進〔1-2-①〕 ・「共家事（トモカジ）」の促進〔3-1-①〕 ・働く女性の活躍支援〔3-1-②〕 ・女性のキャリアアップ支援〔3-1-③〕 ・女性が福井で多様な夢を実現できる環境づくり〔3-1-④〕 ・人権意識の啓発〔3-4-⑧〕 ・仕事と妊娠・出産の両立支援の推進〔4-2-①〕 ・不妊検査・治療への支援〔4-2-②〕 ・妊娠期から子育て期までの切れ目ない支援体制の強化〔4-2-③〕 ・育児での男性活躍社会〔4-4-①〕 	<p>KPI（3）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・有業者における男女の家事・育児時間の差 2時間（2021） ・企業における女性管理職の割合 20.0%（2024） ・県職員の女性管理職割合 20%（2023）
<p>(水・衛生)</p>  <p>すべての人々の水と衛生の利用可能性と持続可能な管理を確保する</p>	<p>主な取組み（2）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・快適な暮らしを支えるインフラ施設の構築〔15-1-⑦〕 ・環境保全対策の推進〔15-2-⑥〕 	<p>KPI（2）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・汚水処理人口普及率 98%（2024） ・自然再生取組地域数 14地域（2024）
<p>(エネルギー)</p>  <p>すべての人々の、安価かつ信頼できる持続可能な近代的エネルギーへのアクセスを確保する</p>	<p>主な取組み（10）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・持続可能な社会に向けた技術開発の促進〔7-1-⑤〕 ・スマートエリアの整備や農林水産業のスマート化〔7-4-①〕 ・新たな試験研究炉の利活用促進〔7-4-③〕 ・都市との近接性を活かしたライフスタイル先進地の形成〔9-5-①〕 ・未来を守るストップ温暖化〔15-4-①〕 ・企業の省エネ対策の推進〔15-4-②〕 ・再生可能エネルギーの導入拡大〔15-4-③〕 ・嶺南スマートエリアの整備〔15-4-④〕 ・責任ある原子力・エネルギー政策の実行を国に要請〔16-4-①〕 	<p>KPI（3）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・嶺南地域においてVPPに参加する箇所数 100箇所（2024） ・温暖化対策を意識し節電等に積極的に取り組む県民の割合 50%（2022） ・県内中小企業の省エネを推進するためのガイドライン策定業種数 14業種（2024）
<p>(成長・雇用)</p>  <p>包摂的かつ持続可能な経済成長及びすべての人々の完全かつ生産的な雇用と働きがいのある人間らしい雇用（ディーセント・ワーク）を促進する</p>	<p>主な取組み（176）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・儲かる畜産経営の展開〔5-1-④〕 ・起業家・ベンチャー企業の発掘・育成〔6-1-②〕 ・次世代の経営者への円滑な事業承継〔6-1-⑤〕 ・デザインを活かした産地ブランディングの強化〔6-2-①〕 ・繊維・眼鏡産業や伝統工芸の振興〔6-2-②〕 ・プッシュ型の課題掘起しの強化〔6-3-①〕 ・IT人材の確保・育成〔6-4-②〕 ・社員ファースト企業の拡大〔6-5-①〕 ・観光を楽しむ・滞在したくなる仕掛けづくり〔10-1-⑦〕 ・まちなか商店街の活性化〔12-2-⑥〕 	<p>KPI（46）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・1人当たり県民所得 356万円（2024） ・製造品出荷額 2兆2,800億円（2024） ・創業者数 600人（2020～2024計） ・県輸出額 2,000億円（2024） ・クルーズ客船寄港回数 10回（2024） ・観光客入込数 2,000万人（2024）

第2部 実行プラン（2020～2024年度）

<p>(イノベーション)</p>  <p>強靱（レジリエント）なインフラ構築、包摂的かつ持続可能な産業化の促進及びイノベーションの推進を図る</p>	<p>主な取組み（87）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・大規模施設園芸の全県展開〔5-1-③〕 ・植物工場の拡大〔5-1-⑤〕 ・生産・販売の拡大を目指した試験研究の推進〔5-1-⑦〕 ・宇宙産業の拠点化〔7-1-①〕 ・航空・宇宙産業の人材育成拠点化〔7-1-③〕 ・ヘルスケア産業の育成〔7-1-④〕 ・オープンイノベーションによる稼ぐ力の強化〔7-1-⑥〕 ・未来技術の活用促進〔7-2-④〕 ・産業団地の整備促進〔7-3-③〕 ・デコミッショニング（廃炉）ビジネスの育成〔7-4-②〕 ・新たな試験研究炉の利活用促進（再掲）〔7-4-③〕 	<p>KPI（27）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・IoT導入率 27%（2024） ・製造業の1人当たり付加価値額 1,173万円/人（2024） ・宇宙産業における県内企業の売上額 23億円（2024） ・ヘルスケア産業売上額 155億円（2024） ・県内企業によるIoT・AI等を活用したサービス提供数 50件（2020～2024計） ・廃止措置工事への県内企業参入割合 5割（2024）
<p>(不平等)</p>  <p>各国内及び各国間の不平等を是正する</p>	<p>主な取組み（40）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・若者の交流拡大〔3-2-①〕 ・社会参加を通じた「生涯活躍」の推進〔3-2-⑤〕 ・シニア人材活躍支援センターによる就業促進〔3-2-⑥〕 ・障がい者スポーツ・アートの推進〔3-4-③〕 ・外国人が安心して快適に暮らし、働くことができる環境の構築〔3-4-④〕 ・認知症フレンドリー社会の実現〔3-5-①〕 ・がん患者の社会活躍を応援〔3-5-④〕 ・多様な人材が活躍できる就業環境の整備〔6-4-③〕 ・就職氷河期世代への就職支援〔6-4-④〕 ・社会の支え手として活躍できる環境の整備〔13-1-④〕 	<p>KPI（11）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域活性化に取り組む若者グループ数 160グループ（2024） ・働く意欲のある高齢者の有業率 全国1位（2022） ・障がい者雇用率 2.50%（2024） ・カーポートパーキングの整備箇所数 100箇所（2024） ・外国人コミュニティリーダーの設置人数 60人（2024） ・企業・職域型の認知症サポーター養成数 34,000人（2024）
<p>(まちづくり)</p>  <p>包括的で安全かつ強靱（レジリエント）で持続可能な都市及び人間居住を実現する</p>	<p>主な取組み（120）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・農業で魅力のある田園風景を維持〔5-3-④〕 ・鳥獣害に負けない体制づくりの強化〔5-3-⑤〕 ・観光の産業化促進〔7-1-⑦〕 ・北陸新幹線の整備促進〔9-1-①〕 ・県都のまちづくり〔9-2-①〕 ・主要交通拠点からの二次交通の充実〔9-3-①〕 ・主要幹線道路ネットワークの構築〔9-4-①〕 ・玄関口の形成と地域交通ネットワークの強化〔9-5-④〕 ・福井の産業力を活かした移住促進〔11-2-③〕 ・将来にわたる集落機能の維持・活性化〔15-1-①〕 	<p>KPI（22）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・公共交通機関利用者数 2,119万人（2024） ・道路改良済延長（県管理） 1,524km（2024） ・新ふくい人（社会人UIターン者） 1,200人（2024） ・関係人口プロジェクト 210件（2024） ・文化活動を行う若者グループ 30グループ（2024） ・地域運営組織の数 60組織（2024）
<p>(生産・消費)</p>  <p>持続可能な生産消費形態を確保する</p>	<p>主な取組み（35）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・いちほまれを全国トップのブランドに確立〔5-2-①〕 ・「ふくいそば」のブランド確立〔5-2-②〕 ・ふくいの畜産ブランドの確立〔5-2-⑤〕 ・美味しい「ふくいの食」の認知度向上で販売拡大〔5-2-⑥〕 ・「ふくいの食」の輸出拡大〔5-2-⑦〕 ・小規模農家等の生産意欲とチャレンジ活動を応援（再掲）〔5-3-③〕 ・養殖業の拡大と販路開拓〔5-5-①〕 ・持続可能な社会に向けた技術開発の促進（再掲）〔7-1-⑤〕 ・クリーンアップふくいの推進〔15-2-⑤〕 ・循環型社会の推進〔15-4-⑤〕 	<p>KPI（7）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・米・園芸産出額（再掲） 550億円（2024） ・林業産出額 30億円（2024） ・漁業産出額 110億円（2024） ・直売所販売額（再掲） 46億円（2024） ・新規就農・就業者数（農業） 600人（2020～2024計） ・温暖化対策を意識し節電等に積極的に取り組む県民の割合（再掲） 50%（2022）

<p>(気候変動)</p>  <p>気候変動及びその影響を軽減するための緊急対策を講じる</p>	<p>主な取組み（30）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・災害から農山漁村のくらしを守る基盤整備〔5-6-②〕 ・被害防止につながる地域活動の継続〔5-6-③〕 ・未来を守るストップ温暖化（再掲）〔15-4-①〕 ・企業の省エネ対策の推進（再掲）〔15-4-②〕 ・再生可能エネルギーの導入拡大（再掲）〔15-4-③〕 ・循環型社会の推進（再掲）〔15-4-⑤〕 ・「自分の命は自分で守る」防災意識の醸成〔16-1-②〕 ・事前防災対策による「県土強靱化」の推進〔16-2-①〕 ・予防保全に基づいた老朽化対策によるインフラ施設の安全確保〔16-2-②〕 ・災害からの復旧・復興〔18-3-②〕 	<p>KPI（7）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・温暖化対策を意識し節電等に積極的に取り組む県民の割合（再掲）50%（2022） ・防災士数 4,150人（2024） ・想定最大規模の降雨に対応したハザードマップを作成する市町数 17市町（2024） ・緊急輸送道路における道路斜面对策率 41.0%（2024） ・河川の整備延長（県管理）59.6km（2024） ・土砂災害対策施設の整備 1,019箇所（2024）
<p>(海洋資源)</p>  <p>持続可能な開発のために海洋・海洋資源を保全し、持続可能な形で利用する</p>	<p>主な取組み（12）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地魚の戦略的販売〔5-2-③〕 ・養殖業の拡大と販路開拓（再掲）〔5-5-①〕 ・漁船漁業の効率化と地魚の戦略的販売〔5-5-②〕 ・ふくいの海を担う人材育成〔5-5-③〕 ・漁村の活性化〔5-5-④〕 ・クリーンアップふくいの推進（再掲）〔15-2-⑤〕 ・環境保全対策の推進（再掲）〔15-2-⑥〕 ・自然再生の推進〔15-3-①〕 ・自然体験拠点の形成〔15-3-②〕 ・自然と触れ合う機会の充実〔15-3-⑤〕 	<p>KPI（3）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・漁業産出額（再掲）110億円（2024） ・汚水処理人口普及率（再掲）98%（2024） ・自然再生取組地域数（再掲）14地域（2024）
<p>(陸上資源)</p>  <p>陸域生態系の保護、回復、持続可能な利用の推進、持続可能な森林の経営、砂漠化への対処ならびに土地の劣化の阻止・回復及び生物多様性の損失を阻止する</p>	<p>主な取組み（17）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・間伐の加速化と主伐の促進による循環型林業経営を推進〔5-4-①〕 ・新たな手法の導入による施業集約化の促進〔5-4-②〕 ・森林経営・管理を担う人材育成〔5-4-③〕 ・県産材の利用拡大〔5-4-④〕 ・森林の多様な活用による山村の活性化〔5-4-⑤〕 ・緑と花の県民運動を推進〔5-4-⑥〕 ・クリーンアップふくいの推進（再掲）〔15-2-⑤〕 ・自然体験拠点の形成（再掲）〔15-3-②〕 ・コウノトリが生息できる自然環境の創出〔15-3-④〕 ・自然と触れ合う機会の充実（再掲）〔15-3-⑤〕 	<p>KPI（2）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・林業産出額（再掲）30億円（2024） ・自然再生取組地域数（再掲）14地域（2024）
<p>(平和・公正)</p>  <p>持続可能な開発のための平和で包摂的な社会を促進し、すべての人々に司法へのアクセスを提供し、あらゆるレベルにおいて効果的で説明責任のある包摂的な制度を構築する</p>	<p>主な取組み（21）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・いじめ・不登校対策の充実〔1-2-⑤〕 ・外国人児童生徒等に対する教育環境の整備（再掲）〔1-2-⑥〕 ・県民の共生社会への意識の醸成〔3-4-①〕 ・障がい者の就労支援〔3-4-②〕 ・認知症サポーターの養成促進〔3-5-②〕 ・困難な環境にある子どもへの支援〔4-4-④〕 ・子ども、女性、高齢者を守る対策の推進〔16-3-①〕 ・犯罪の起きにくい社会づくり〔16-3-②〕 ・犯罪の取締り強化〔16-3-③〕 ・テロ・大規模災害対策の推進〔16-3-⑤〕 ・治安基盤の強化〔16-3-⑥〕 ・拉致問題の啓発と国への要請〔16-5-①〕 	<p>KPI（5）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・障がい者雇用率（再掲）2.50%（2024） ・カーポートパーキングの整備箇所数（再掲）100箇所（2024） ・外国人コミュニティリーダーの設置人数（再掲）60人（2024） ・企業・職域型の認知症サポーター養成数（再掲）34,000人（2024） ・防犯カメラ設置支援地区数 50地区（2024）

(パートナーシップ)	主な取組み（86）	KPI（11）
<p data-bbox="204 226 347 264">17 パートナーシップで 目標を達成しよう</p>  <p data-bbox="188 389 363 524">持続可能な開発のための実施手段を強化し、グローバル・パートナーシップを活性化する</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・若者の主体的な活動を応援〔3-2-③〕 ・社会貢献活動に参加しやすい環境づくり〔3-3-①〕 ・留学生や県内企業に勤務する外国人等を通じた交流推進〔8-3-②〕 ・徹底現場主義による県政推進〔17-1-②〕 ・県・市町の共通課題への協働対応〔17-2-①〕 ・SDGsの推進〔17-3-①〕 ・デザイナーのアイデアを政策に反映する仕組みの構築〔17-3-②〕 ・OODAループによる政策形成〔17-3-④〕 ・歳出の合理化・重点化〔17-5-②〕 ・共通意識をもつ自治体の広域連携〔18-4-②〕 	<ul style="list-style-type: none"> ・海外機関等との交流や協力関係の構築 360件（2024） ・市町との協働により新たに課題解決できた数 7件（2020～2023計） ・財政調整基金残高 100億円以上（2023） ・将来負担比率 200%未満（2023） ・県債残高 6,000億円未満（2023） ・他都府県等と新たに連携して実施するプロジェクト数 15件（2020～2024計）